

---

いみず地域共生プラン中間見直しに係る  
市民アンケート調査  
【結果報告書】

---

令和7年6月

射 水 市

社会福祉法人 射水市社会福祉協議会



# 目 次

---

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 報告書の見方.....	2
II. 調査結果.....	5
1. 回答者について.....	6
2. 地域との関わりについて.....	13
3. 地域活動・ボランティアなどへの参加について.....	24
4. 福祉サービス情報の入手先について.....	32
5. 日常生活上の困りごとについて.....	35
6. 地域福祉にかかわる機関や団体について.....	51
7. 権利擁護について.....	60
8. ダブルケアについて.....	67
9. ひきこもりについて.....	71
10. 更生保護について.....	74
11. 災害時の備えについて.....	82
12. 認知症に関する意識について.....	88
13. 今後の市政運営について.....	100
III. 調査結果のまとめ.....	105
1. 回答者の基本事項の概要.....	106
2. 調査結果の概要.....	106



# I . 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

射水市と射水市社会福祉協議会は、令和3年3月に本市における地域福祉を推進する指針として「いみず地域共生プラン」を策定いたしました。このプランは令和3年度から12年度までを計画期間としており、現在、中間見直しに係る計画を策定する作業を進めていることから、計画見直しの基礎資料とするため、地域福祉に関する住民意識調査を実施しました。

本調査では、住民の皆さまの考え方や意見を聞かせていただき、本市の地域福祉を推進するための貴重な資料とさせていただくものです。

## 2. 調査概要

- 調査地域：射水市全域
- 調査対象：射水市在住で18歳以上の市民2,000人を無作為抽出
- 調査期間：令和7年3月27日～4月14日
- 調査方法：郵送発送により郵送回答、またはWEB回答
- 回収数：855件（回収率42.8%、うちWEB回答162件(回収率18.9%)）

## 3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 複数回答の全体の調査結果を示した横棒グラフについては、「不明・無回答」を除いた降順（割合が大きい順）としています。そのため、調査票の選択肢順とは異なっています。また、経年比較をしている場合、今回の調査結果の降順としています。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と2番目に割合の高い項目を表しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は順位の表記を省略し、読取文の対象外としています。
- 今回の調査結果を前回調査結果と比較し、市民の意識等の変化等について比較分析を行いました。前回調査結果の概要は下記のとおりです。なお、比較にあたって、今回の調査結果は「R7 調査」と表記しています。

報告書中の表記	R2 調査
資料名等	地域福祉アンケート調査（結果報告書） （令和2年6月、射水市・射水市社会福祉協議会）
調査対象	18歳以上の一般市民
調査期間・方法	令和2年3月～4月調査、郵送配布・郵送回収
配布数	2,000人を無作為抽出
有効回収	977件（有効回収率48.9%）



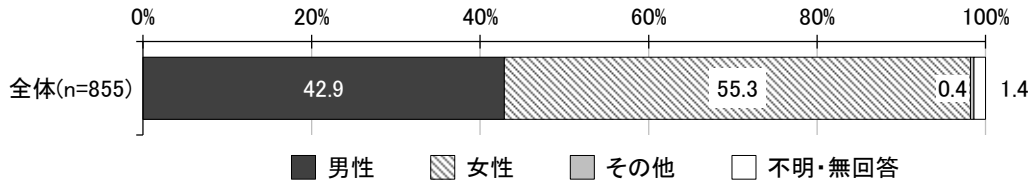
## II. 調查結果

---

# 1. 回答者について

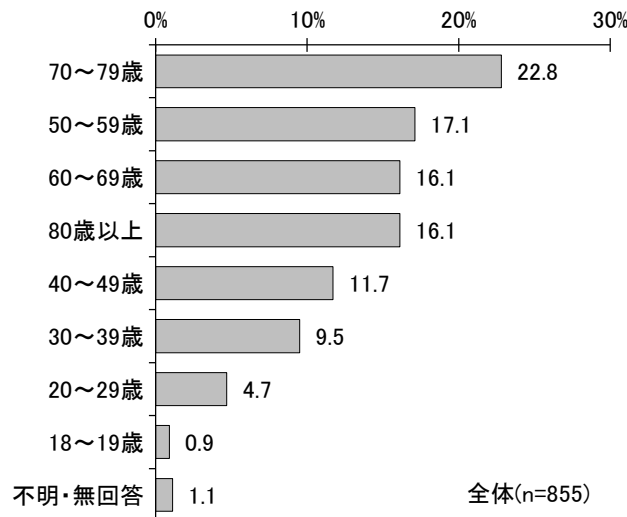
## 問1 性別を教えてください。<単数回答>

全体で「男性」が42.9%、「女性」が55.3%、「その他」が0.4%となっています。



## 問2 年齢はおいくつですか。<単数回答>

全体で「70～79歳」が22.8%と最も高く、次いで「50～59歳」が17.1%となっています。



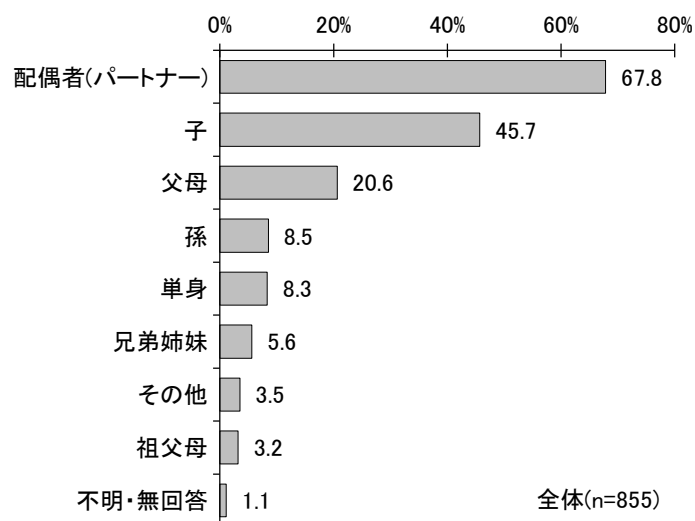
生活圏域別では、小杉北部・下で「40～49歳」が、大島、新湊東部で「50～59歳」が、大門で「60～69歳」が、その他の生活圏域では「70～79歳」が、それぞれ最も高くなっています。

単位:%	n=	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明・無回答
【生活圏域別】										
新湊中部	112	0.0	4.5	9.8	8.0	14.3	18.8	27.7	16.1	0.9
新湊南部	75	0.0	4.0	8.0	10.7	16.0	10.7	29.3	21.3	0.0
新湊東部	103	1.9	4.9	4.9	10.7	23.3	15.5	18.4	20.4	0.0
小杉北部・下	160	1.3	6.9	10.0	18.1	16.3	16.9	17.5	13.1	0.0
小杉南部	156	1.9	2.6	9.6	9.6	12.2	15.4	30.8	17.3	0.6
大門	118	0.8	5.9	11.0	11.0	17.8	21.2	18.6	12.7	0.8
大島	115	0.0	4.3	11.3	10.4	23.5	13.0	20.9	16.5	0.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

### 問3 日常、誰と生活していますか。<複数回答>

全体で「配偶者(パートナー)」が67.8%と最も高く、次いで「子」が45.7%となっています。



性別では、「単身」が男性で8.4%、女性で7.4%となっています。

年齢別では、「単身」が80歳以上で14.5%と、20～29歳(15.0%)に次いで高くなっています。

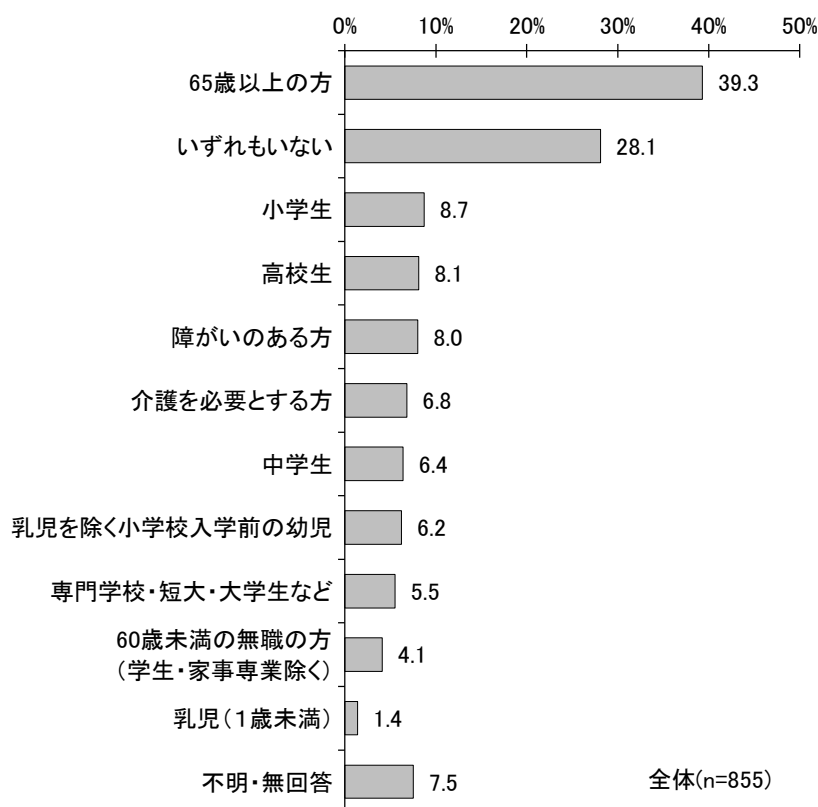
生活圏域別では、「単身」が新湊中部で11.6%と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位:%	n=	単身	配偶者 (パートナー)	子	父母	祖父母	兄弟姉妹	孫	その他	不明・無回答
【性別】										
男性	367	8.4	72.2	38.7	24.0	2.7	6.3	5.7	2.2	0.3
女性	473	7.4	66.0	52.6	18.2	3.4	5.1	11.0	4.7	0.6
【年齢別】										
18～19歳	8	12.5	0.0	0.0	87.5	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	40	15.0	17.5	7.5	65.0	22.5	32.5	0.0	2.5	2.5
30～39歳	81	9.9	65.4	55.6	27.2	6.2	9.9	0.0	4.9	0.0
40～49歳	100	3.0	70.0	71.0	29.0	7.0	9.0	0.0	4.0	0.0
50～59歳	146	4.1	77.4	55.5	39.0	1.4	5.5	1.4	2.1	0.0
60～69歳	138	5.8	85.5	35.5	21.7	1.4	1.4	10.9	3.6	0.0
70～79歳	195	9.7	73.8	36.9	1.5	0.0	2.1	15.4	3.6	1.0
80歳以上	138	14.5	51.4	49.3	0.7	0.7	0.0	18.8	4.3	0.7
【生活圏域別】										
新湊中部	112	11.6	60.7	34.8	18.8	2.7	6.3	8.9	4.5	0.0
新湊南部	75	6.7	58.7	50.7	22.7	1.3	5.3	10.7	6.7	0.0
新湊東部	103	8.7	67.0	51.5	22.3	1.9	9.7	8.7	1.9	1.0
小杉北部・下	160	7.5	72.5	41.9	20.6	4.4	3.8	5.6	3.8	0.6
小杉南部	156	5.8	72.4	45.5	15.4	3.2	5.8	7.7	1.3	0.6
大門	118	9.3	74.6	55.1	27.1	4.2	4.2	11.0	5.1	0.0
大島	115	7.8	66.1	49.6	20.9	3.5	6.1	10.4	2.6	0.9

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

#### 問4 現在、同居している家族の中に、次のような方はいますか。＜複数回答＞

全体で「65歳以上の方」が39.3%と最も高く、次いで「いずれもない」が28.1%となっています。



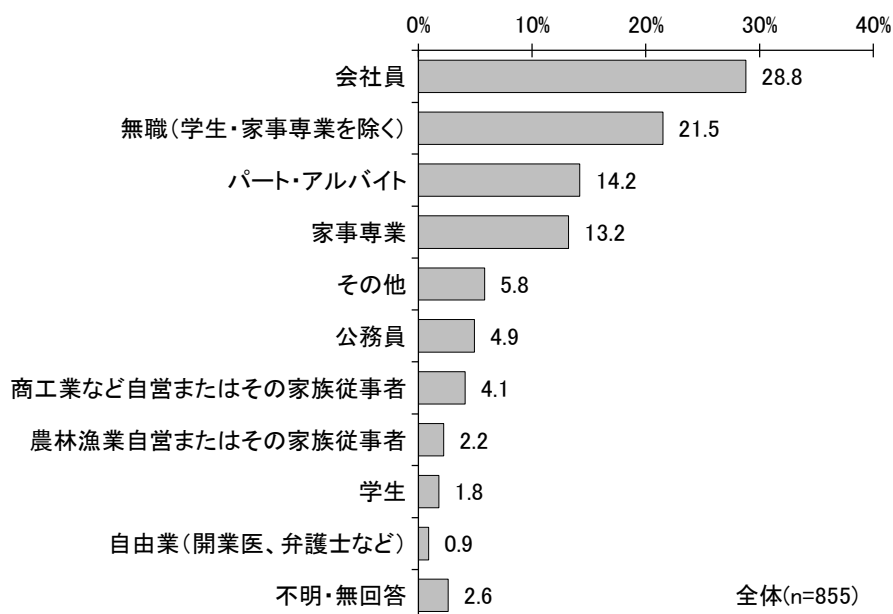
生活圏域別では、いずれの圏域においても「65歳以上の方」が最も高く、次いで「いずれもない」となっています。

単位: %	n=	乳児(1歳未満)	乳児を除く小学校入学前の幼児	小学生	中学生	高校生	など 専門学校・短大・大学生	65歳以上の方	介護を必要とする方	障がいのある方	60歳未満の無職の方 (学生・家事専業除く)	いずれもない	不明・無回答
【生活圏域別】													
新湊中部	112	0.0	4.5	4.5	6.3	7.1	4.5	39.3	4.5	6.3	4.5	37.5	4.5
新湊南部	75	0.0	5.3	6.7	6.7	8.0	8.0	41.3	5.3	6.7	1.3	26.7	9.3
新湊東部	103	1.0	4.9	8.7	7.8	10.7	6.8	37.9	9.7	6.8	1.9	27.2	7.8
小杉北部・下	160	3.8	10.0	7.5	7.5	8.8	3.8	37.5	6.3	8.8	3.1	28.7	5.6
小杉南部	156	0.6	7.1	10.9	4.5	4.5	3.8	40.4	5.1	6.4	9.0	25.6	9.0
大門	118	0.0	4.2	10.2	8.5	12.7	9.3	43.2	11.9	11.9	5.9	21.2	5.9
大島	115	2.6	5.2	10.4	5.2	7.0	5.2	39.1	5.2	8.7	0.0	29.6	6.1

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

## 問5 職業を教えてください。<単数回答>

全体で「会社員」が28.8%と最も高く、次いで「無職（学生・家事専業を除く）」が21.5%となっています。



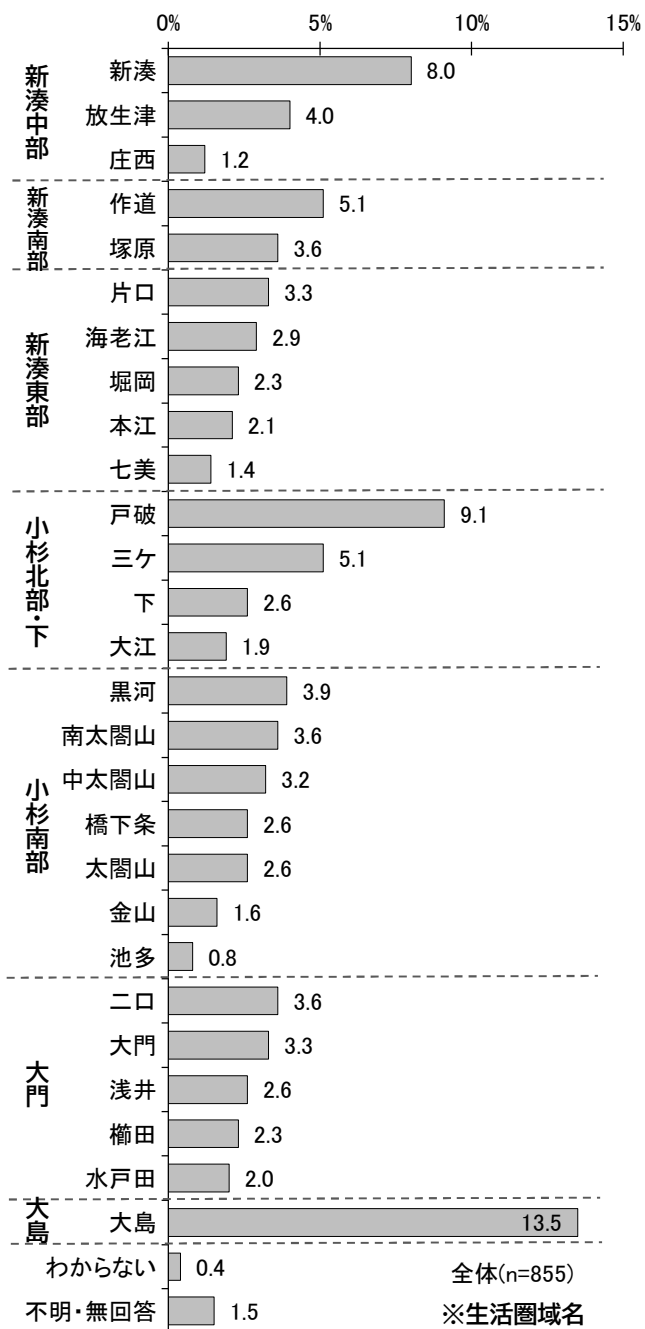
年齢別では、20～69歳で「会社員」が、70歳以上で「無職（学生・家事専業を除く）」が、それぞれ最も高くなっています。

単位: %	n=	会社員	公務員	農林漁業自営またはその家族従事者	商工業など自営またはその家族従事者	自由業(開業医、弁護士など)	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職(学生・家事専業を除く)	その他	不明・無回答
		【年齢別】										
18～19歳	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	12.5	0.0
20～29歳	40	50.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	22.5	5.0	2.5	0.0
30～39歳	81	45.7	16.0	2.5	6.2	1.2	17.3	2.5	0.0	2.5	6.2	0.0
40～49歳	100	58.0	9.0	0.0	2.0	2.0	19.0	2.0	0.0	5.0	2.0	1.0
50～59歳	146	51.4	6.8	0.7	5.5	0.0	19.9	4.8	0.0	4.8	5.5	0.7
60～69歳	138	29.0	3.6	2.2	5.8	0.7	20.3	20.3	0.0	13.0	5.1	0.0
70～79歳	195	6.2	0.0	3.1	4.1	0.5	12.8	26.7	0.0	37.4	6.7	2.6
80歳以上	138	2.2	0.0	5.1	2.9	1.4	0.0	15.9	0.0	55.8	9.4	7.2

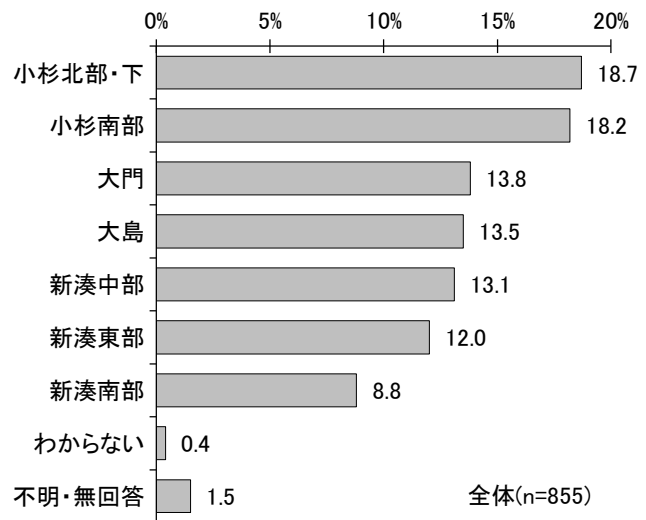
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

問6 お住まいの地区はどこですか。<単数回答>

全体で「大島」が13.5%と最も高く、次いで「戸破」が9.1%となっています。



なお、生活圏域別では「小杉北部・下」が18.7%と最も高く、次いで「小杉南部」が18.2%となっています。



年齢別では、20～49歳及び60～69歳で「小杉北部・下」が、50～59歳で「大島」が、70歳以上で「小杉南部」が、それぞれ最も高くなっています。

単位: %	n=	新湊中部	新湊南部	新湊東部	小杉北部・下	小杉南部	大門	大島	わからない	不明・無回答
【年齢別】										
18～19歳	8	0.0	0.0	25.0	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
20～29歳	40	12.5	7.5	12.5	27.5	10.0	17.5	12.5	0.0	0.0
30～39歳	81	13.6	7.4	6.2	19.8	18.5	16.0	16.0	0.0	2.5
40～49歳	100	9.0	8.0	11.0	29.0	15.0	13.0	12.0	1.0	2.0
50～59歳	146	11.0	8.2	16.4	17.8	13.0	14.4	18.5	0.0	0.7
60～69歳	138	15.2	5.8	11.6	19.6	17.4	18.1	10.9	0.7	0.7
70～79歳	195	15.9	11.3	9.7	14.4	24.6	11.3	12.3	0.5	0.0
80歳以上	138	13.0	11.6	15.2	15.2	19.6	10.9	13.8	0.0	0.7

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

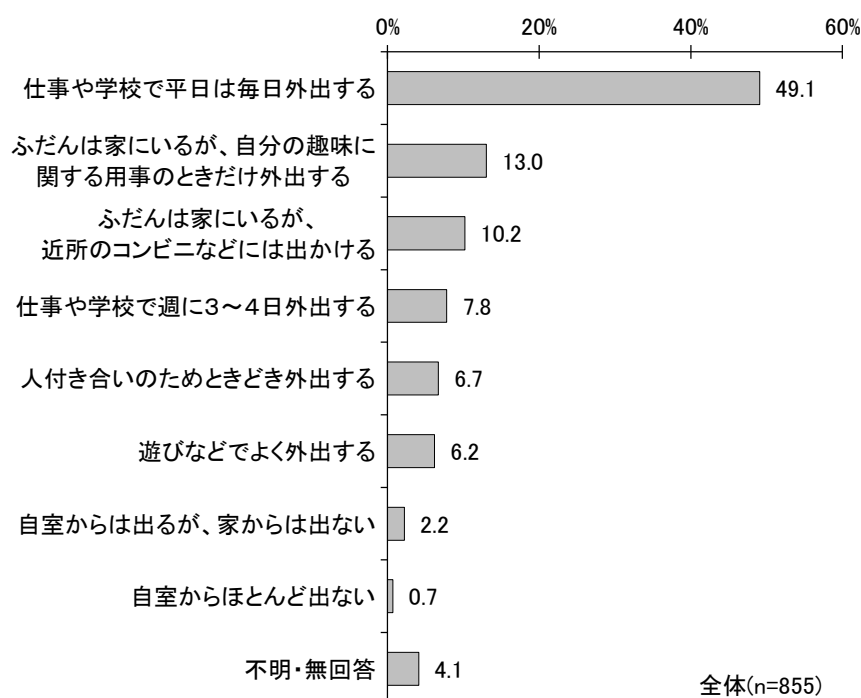
生活圏域別では、小杉北部・下で「40～49歳」が、大島、新湊東部で「50～59歳」が、大門で「60～69歳」が、その他の生活圏域では「70～79歳」が、それぞれ最も高くなっています。[問2の再掲]

単位: %	n=	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	不明・無回答
【生活圏域別】 [問2の再掲]										
新湊中部	112	0.0	4.5	9.8	8.0	14.3	18.8	27.7	16.1	0.9
新湊南部	75	0.0	4.0	8.0	10.7	16.0	10.7	29.3	21.3	0.0
新湊東部	103	1.9	4.9	4.9	10.7	23.3	15.5	18.4	20.4	0.0
小杉北部・下	160	1.3	6.9	10.0	18.1	16.3	16.9	17.5	13.1	0.0
小杉南部	156	1.9	2.6	9.6	9.6	12.2	15.4	30.8	17.3	0.6
大門	118	0.8	5.9	11.0	11.0	17.8	21.2	18.6	12.7	0.8
大島	115	0.0	4.3	11.3	10.4	23.5	13.0	20.9	16.5	0.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

## 問7 ふだん、どの程度外出しますか。<単数回答>

全体で「仕事や学校で平日は毎日外出する」が49.1%と最も高く、次いで「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」が13.0%となっています。



年齢別では、70歳以上で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が、他の年代と比べて高くなっています。また、80歳以上では「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」が、他の年代と比べて高くなっています。

単位: %	n=	仕事や学校で平日は毎日外出する	仕事や学校で週に3~4日外出する	遊びなどでよく外出する	人付き合いのためときどき外出する	ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	自室からは出るが、家からは出ない	自室からほとんど出ない	不明・無回答
		【年齢別】								
18~19歳	8	75.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
20~29歳	40	87.5	5.0	0.0	0.0	5.0	2.5	0.0	0.0	0.0
30~39歳	81	74.1	8.6	7.4	3.7	2.5	2.5	0.0	0.0	1.2
40~49歳	100	82.0	4.0	2.0	0.0	6.0	2.0	0.0	1.0	3.0
50~59歳	146	82.9	7.5	2.7	0.7	2.1	2.1	0.7	0.0	1.4
60~69歳	138	53.6	13.0	7.2	5.8	8.7	8.7	0.7	0.0	2.2
70~79歳	195	16.9	10.8	10.8	13.8	22.1	21.5	0.5	0.0	3.6
80歳以上	138	4.3	2.2	7.2	12.3	31.2	17.4	11.6	3.6	10.1

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

## 2. 地域との関わりについて

問8 近所の人とどの程度のお付き合いをしていますか。<単数回答>

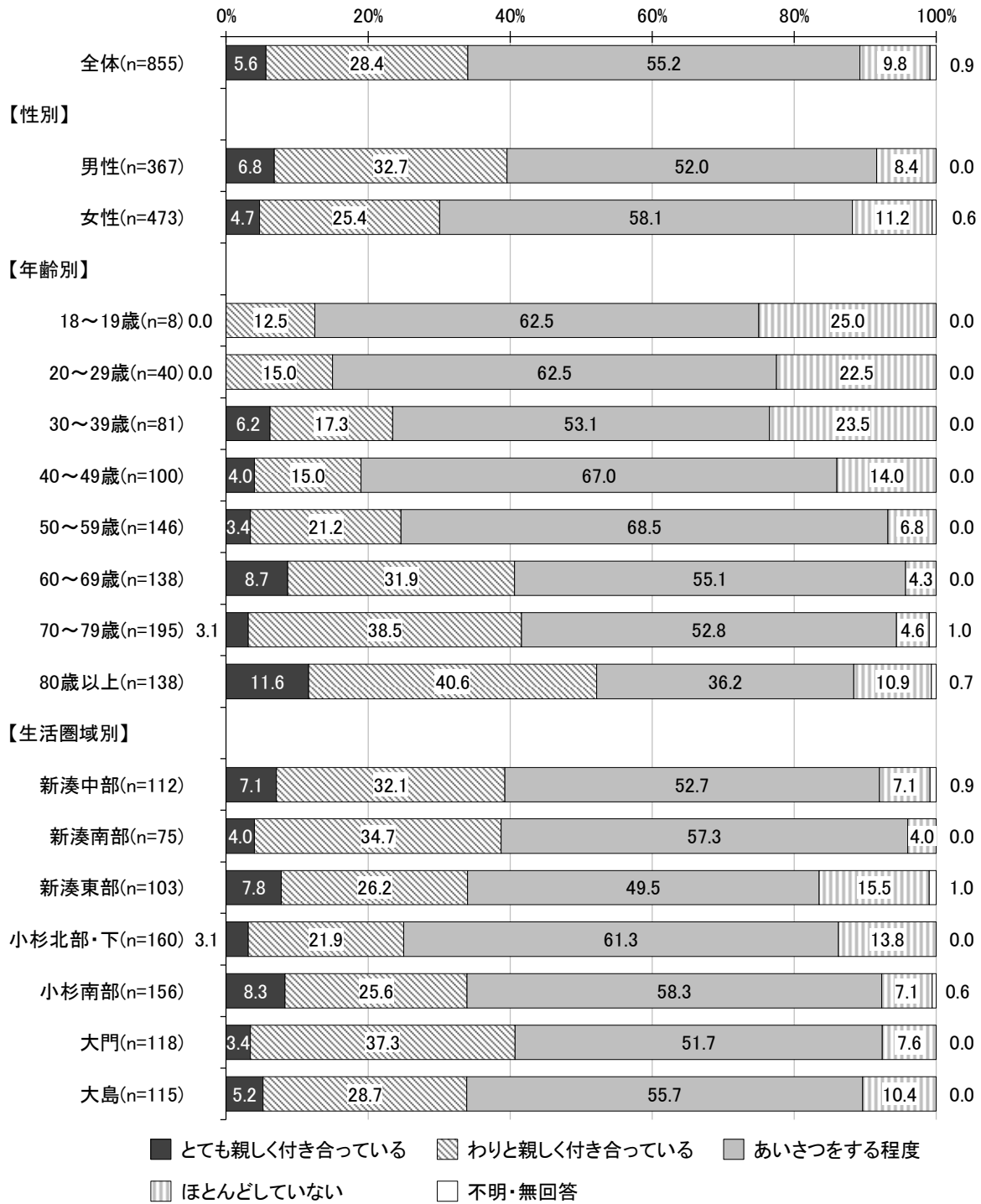
『親しく付き合っている』…「とても親しく付き合っている」と「わりと親しく付き合っている」の合算

全体で「あいさつをする程度」が55.2%と最も高く、次いで「わりと親しく付き合っている」が28.4%となっています。なお、『親しく付き合っている』は34.0%となっています。

性別では、『親しく付き合っている』が男性で39.5%と、女性と比べて9.4ポイント高くなっています。

年齢別では、20～29歳で「とても親しく付き合っている」が0.0%であり、『親しく付き合っている』も15.0%と、他の年代と比べて低くなっています。なお、20～39歳で「ほとんどしていない」がそれぞれ2割台と、40歳以上と比べて高くなっています。

生活圏域別では、『親しく付き合っている』が大門、新湊中部及び新湊南部でそれぞれ4割前後と、他の圏域と比べて高くなっています。一方、「ほとんどしていない」は新湊東部で15.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。



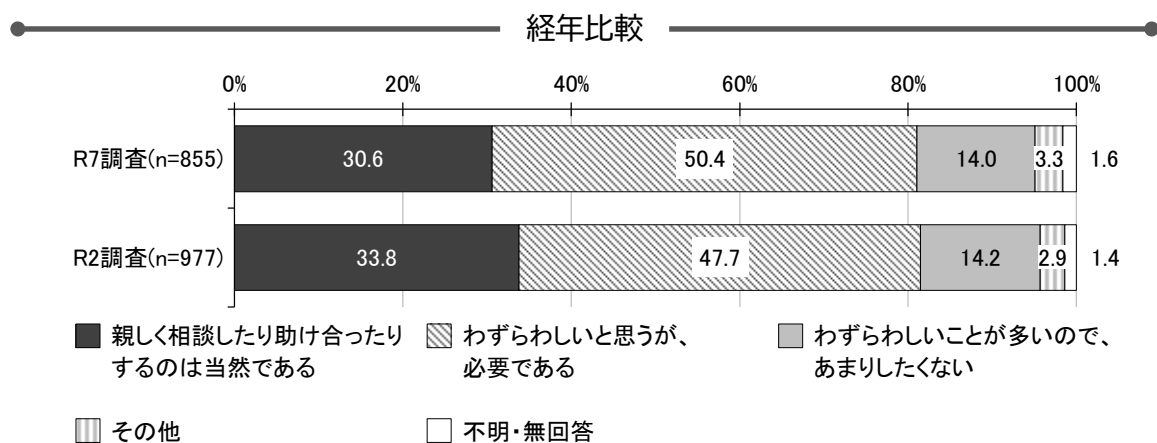
問9 あなたの近所付き合いに対する考え方に、最も近いものはどれですか。<単数回答>

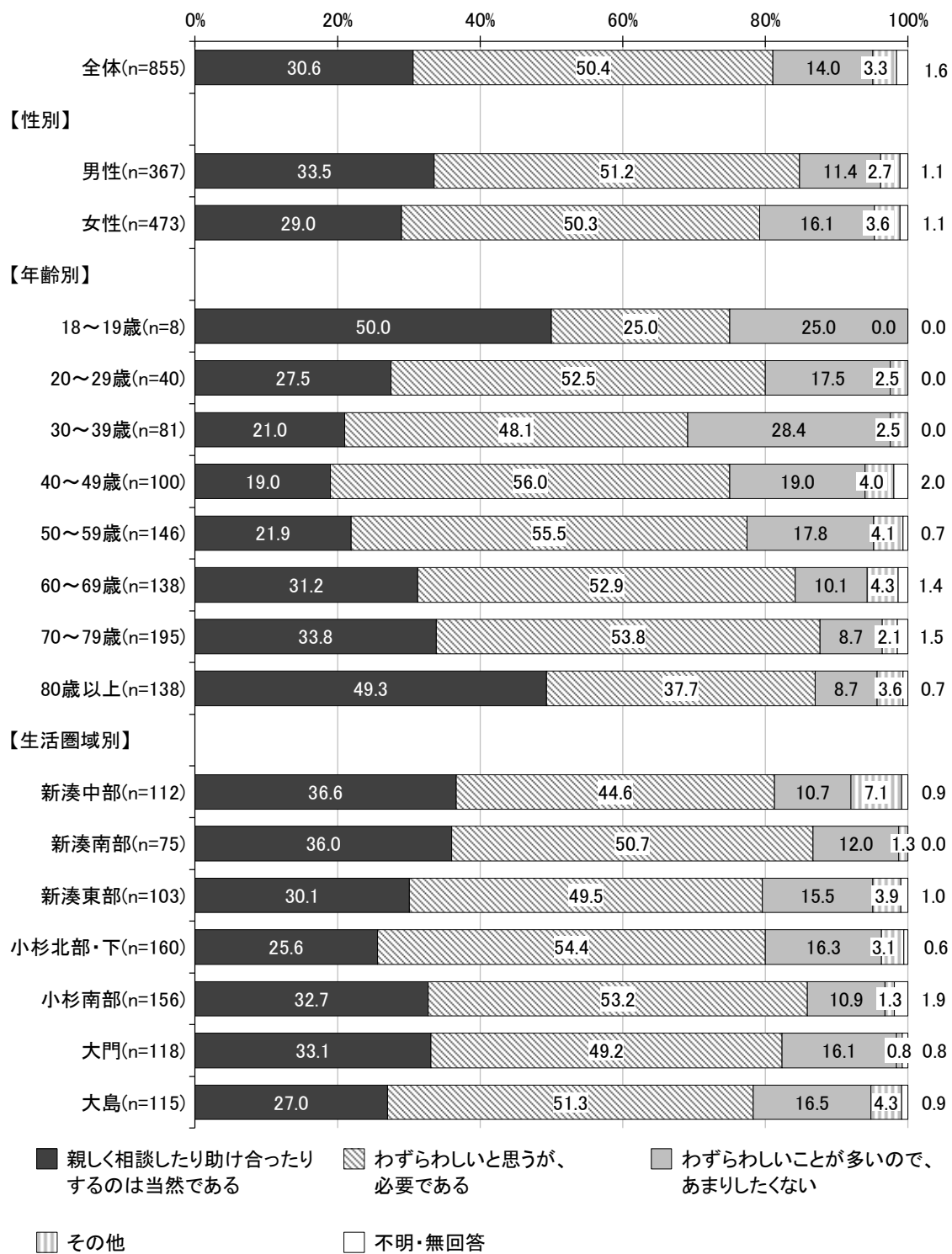
全体で「わずらわしいと思うが、必要である」が50.4%と最も高く、次いで「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」が30.6%となっています。なお、R2調査と比較すると、「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」が3.2ポイント低くなり、「わずらわしいと思うが、必要である」が2.7ポイント高くなっているものの、大きな変化はみられません。

性別では、男女ともに「わずらわしいと思うが、必要である」が最も高い一方で、男性で「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」が、女性で「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」が、それぞれ約5ポイント程度高くなっています。

年齢別では、20～59歳で「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」がそれぞれ2割前後と60歳以上と比べて高く、特に30～39歳では28.4%と、他の年代と比べて高くなっています。また、「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」が最も高い年代は、80歳以上の49.3%となっています。

生活圏域別では、「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」がいずれも3割前後となっており、新湊中部及び新湊南部でそれぞれ36%以上と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、いずれの圏域も、「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」がそれぞれ1割台となっています。





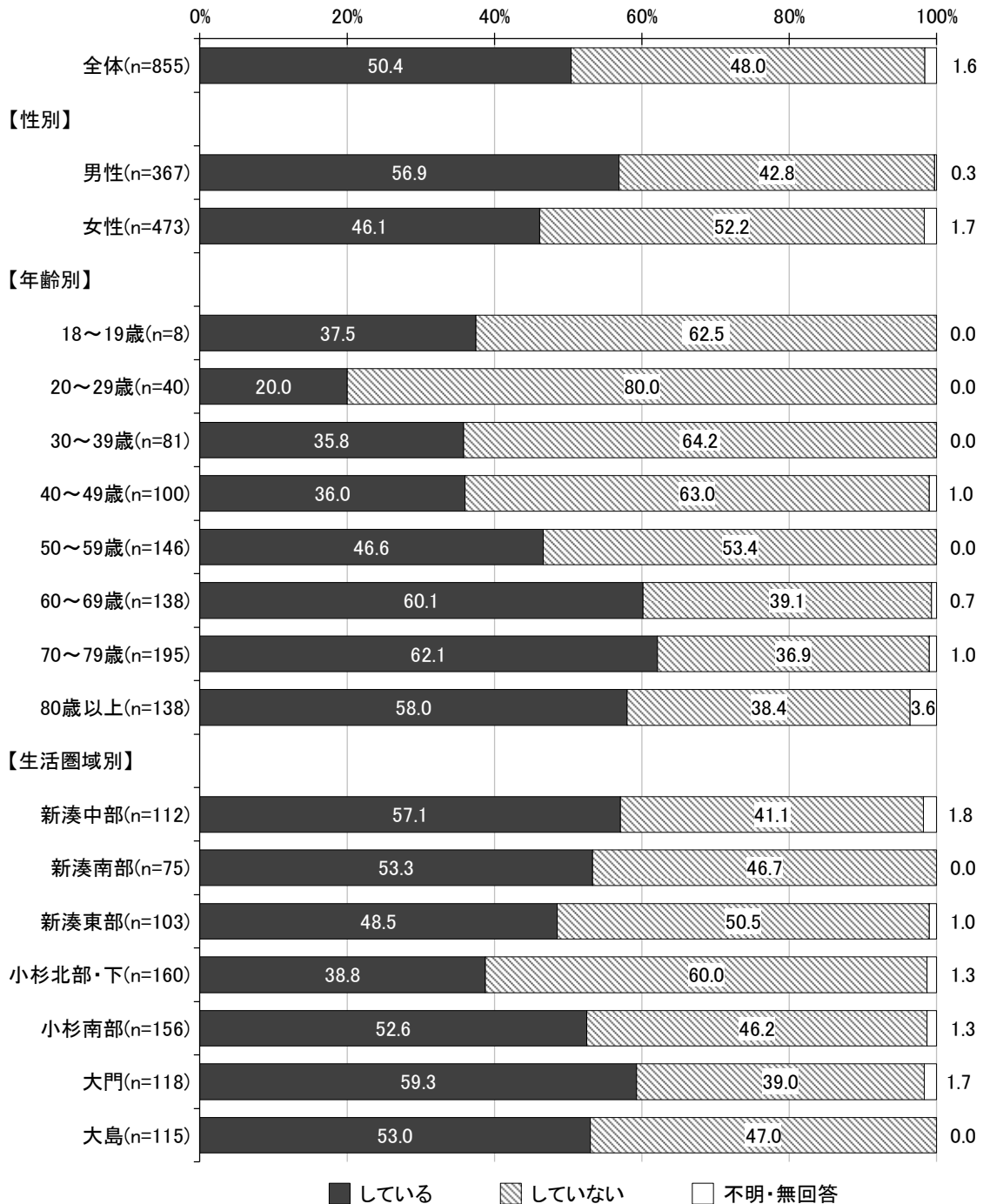
問 10 あなたは、日頃、お住まいの地域で、となり近所の人と生活上のちょっとした手助けや協力などの助け合いをしていますか。<単数回答>

全体で「している」が50.4%、「していない」が48.0%となっています。

性別では、「している」が男性で56.9%と、女性と比べて10.8ポイント高くなっています。

年齢別では、60歳以上で「している」がそれぞれ6割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、小杉北部・下で「している」が38.8%と、他の圏域と比べて低くなっています。



問 11 地域社会での生活で起こるさまざまな問題に対し、住民相互の支え合い、助け合いが必要だと思いますか。〈単数回答〉

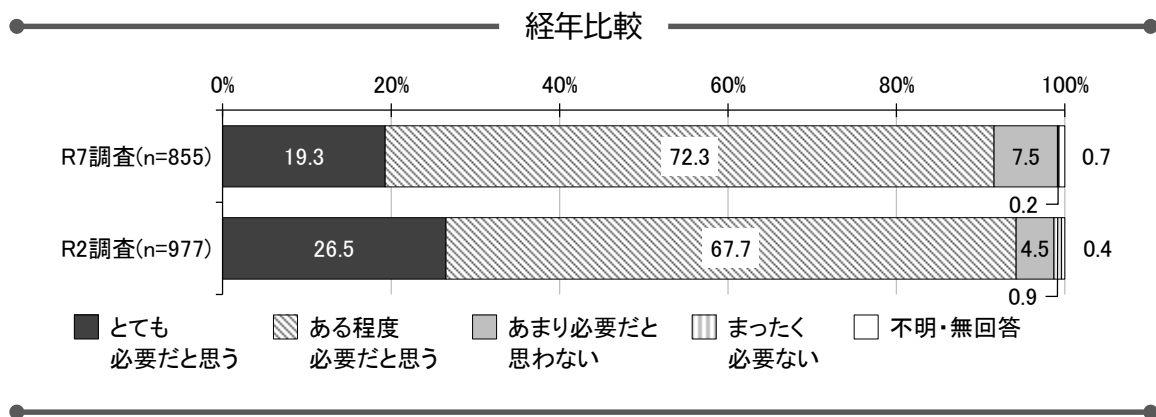
『必要だと思う』 …「とても必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合算  
 『必要だと思わない』 …「あまり必要だと思わない」と「まったく必要ない」の合算

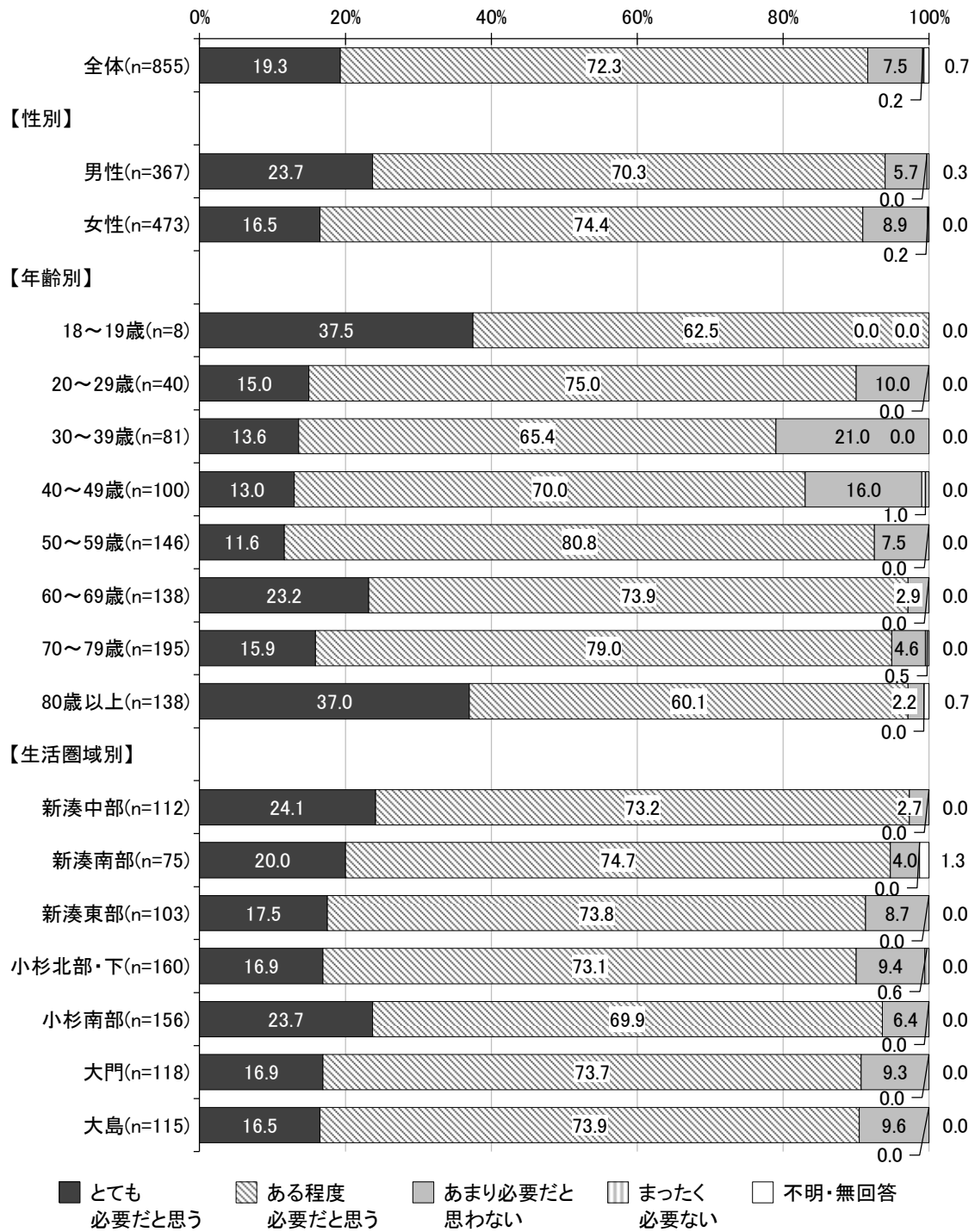
全体で『必要だと思う』が91.6%、『必要だと思わない』が7.7%となっています。なお、R2調査と比較すると、『必要だと思う』は2.6ポイントの微減となっており、特に「とても必要だと思う」は7.2ポイント低くなっています。

性別では、『必要だと思う』が男性で94.0%、女性で90.9%となっています。なお「とても必要だと思う」が男性で23.7%と、女性と比べて7.2ポイント高くなっています。

年齢別では、「あまり必要だと思わない」が30～39歳で21.0%、40～49歳で16.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、いずれの圏域でも『必要だと思う』が9割以上となっている一方で、小杉北部・下、大島及び大門で『必要だと思わない』がそれぞれ1割程度と、他の圏域と比べて高くなっています。

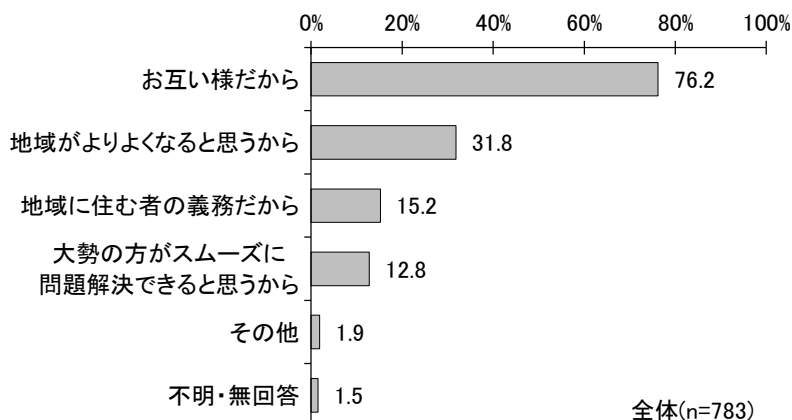




問 11 で「1. とても必要だと思う」または「2. ある程度必要だと思う」と答えた方

問 12 その理由を教えてください。<複数回答>

全体で「お互い様だから」が76.2%と最も高く、次いで「地域がよりよくなると思うから」が31.8%となっています。



性別では、「地域に住む者の義務だから」が男性で19.1%と女性と比べて6.8ポイント、「お互い様だから」が女性で79.1%と男性と比べて6.6ポイント、それぞれ高くなっています。

年齢別では、「お互い様だから」がいずれの年代でも最も高く、特に40～49歳で88.0%、80歳以上で80.6%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、「お互い様だから」がいずれの圏域でも最も高く、特に大島で82.7%と他の圏域と比べて高くなっています。また、新湊南部では「地域に住む者の義務だから」が23.9%と、他の圏域と比べて高くなっています。

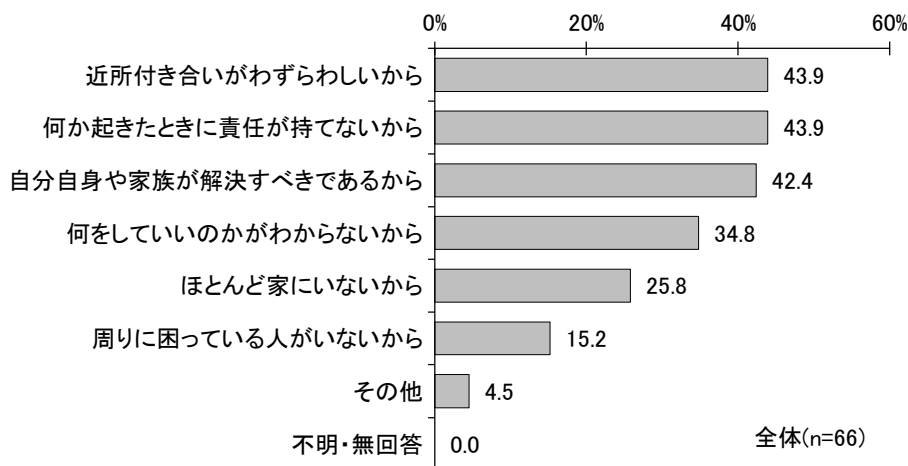
単位: %	n=	地域に住む者の義務だから	お互い様だから	地域がよりよくなると思うから	大勢の方がスムーズに問題解決できると思うから	その他	不明・無回答
【性別】							
男性	345	19.1	72.5	34.5	15.7	1.4	1.7
女性	430	12.3	79.1	30.0	10.5	2.3	1.2
【年齢別】							
18～19歳	8	0.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0
20～29歳	36	22.2	72.2	30.6	13.9	0.0	0.0
30～39歳	64	15.6	70.3	37.5	14.1	3.1	1.6
40～49歳	83	6.0	88.0	25.3	10.8	2.4	2.4
50～59歳	135	12.6	79.3	31.9	10.4	0.7	1.5
60～69歳	134	11.9	70.1	33.6	13.4	4.5	0.7
70～79歳	185	19.5	72.4	31.9	15.7	1.6	0.5
80歳以上	134	20.1	80.6	30.6	10.4	0.7	3.7
【生活圏域別】							
新湊中部	109	14.7	69.7	29.4	13.8	4.6	0.0
新湊南部	71	23.9	78.9	29.6	9.9	0.0	1.4
新湊東部	94	18.1	73.4	29.8	9.6	0.0	1.1
小杉北部・下	144	18.1	75.7	35.4	17.4	1.4	2.1
小杉南部	146	13.0	78.8	36.3	12.3	2.1	2.1
大門	107	9.3	75.7	31.8	10.3	3.7	1.9
大島	104	13.5	82.7	27.9	12.5	1.0	1.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

問 11 で「3. あまり必要だと思わない」または「4. まったく必要ない」と答えた方

問 13 その理由を教えてください。<複数回答>

全体で「近所付き合いがわずらわしいから」「何か起きたときに責任が持てないから」がそれぞれ 43.9%と最も高く、次いで「自分自身や家族が解決すべきであるから」が 42.4%となっています。



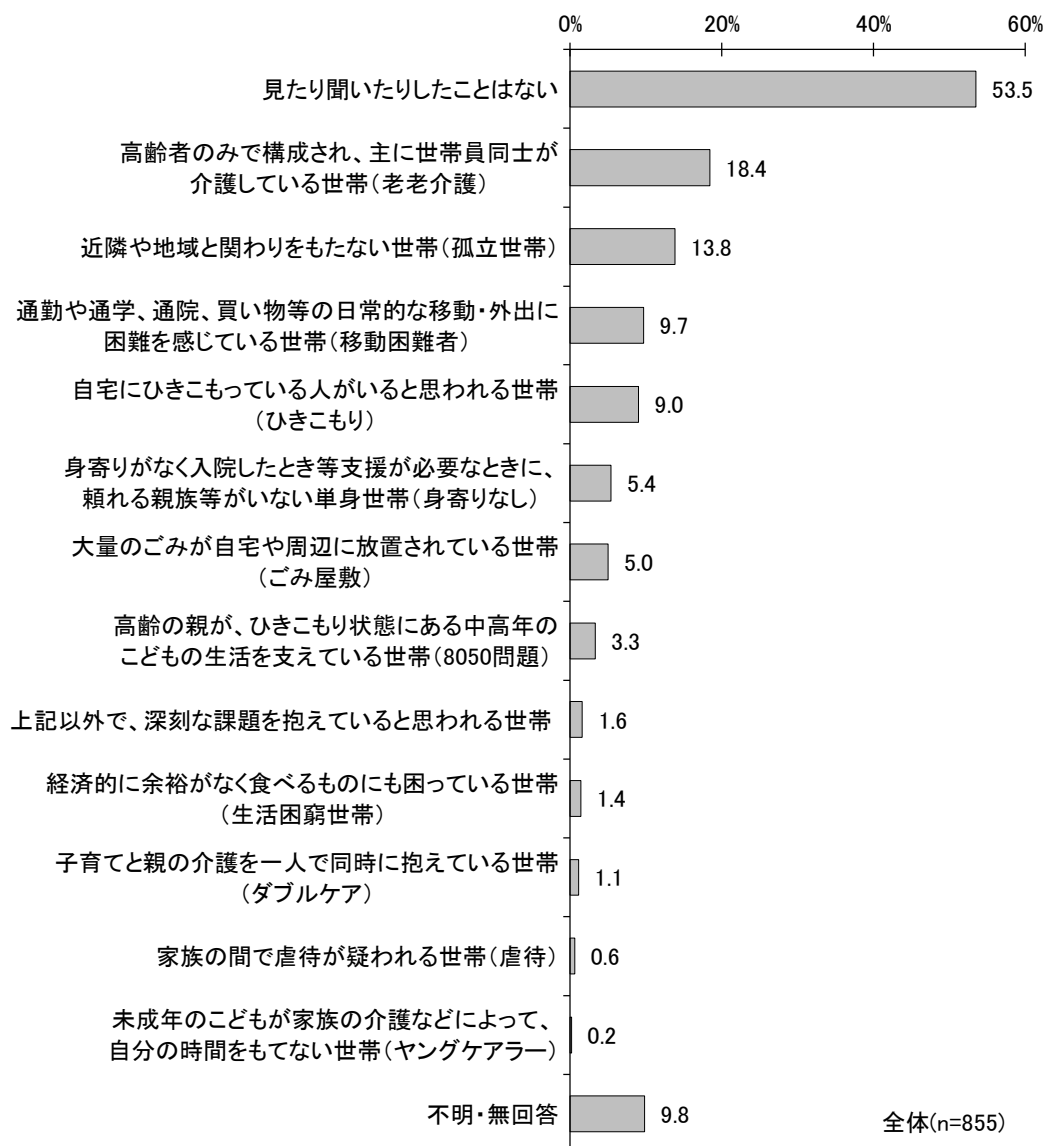
性別では、男性で「近所付き合いがわずらわしいから」「自分自身や家族が解決すべきであるから」(各 42.9%)が最も高くなっています。また、女性で「何か起きたときに責任が持てないから」が 48.8%と最も高く、男性と比べて 15.5 ポイント高くなっています。

単位: %	n=	周りに困っている人がいないから	近所付き合いがわずらわしいから	何か起きたときに責任が持てないから	ほとんど家にいないから	何をしたいのかわからないから	自分自身や家族が解決すべきであるから	その他	不明・無回答
【性別】									
男性	21	19.0	42.9	33.3	23.8	33.3	42.9	4.8	0.0
女性	43	14.0	44.2	48.8	27.9	34.9	44.2	2.3	0.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第 1 位と第 2 位に網かけをしています。

問 14 最近2～3年間で、あなたの近所や地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。＜複数回答＞

全体で最も高い「見たり聞いたりしたことはない」(53.5%)を除き、「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)」が18.4%と最も高く、次いで「近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯)」が13.8%となっています。



生活圏域別では、それぞれの圏域で最も高い「見たり聞いたりしたことはない」を除き、「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯（老老介護）」「近隣や地域と関わりをもたない世帯（孤立世帯）」が高くなっています。特に老老介護では、新湊中部、新湊南部及び大門でそれぞれ2割以上と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位：%	n=	大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯（ごみ屋敷）	高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯（老老介護）	近隣や地域と関わりをもたない世帯（孤立世帯）	自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯（ひきこもり）	高齢の親が、ひきこもり状態にある中高年のこどもの生活を支えている世帯（8050問題）	子育てと親の介護を一人で同時に抱えている世帯（ダブルケア）	未成年の子どもが家族の介護などによって、自分の時間をもてない世帯（ヤングケアラー）
【生活圏域別】								
新湊中部	112	8.0	25.9	16.1	9.8	4.5	3.6	0.9
新湊南部	75	8.0	22.7	13.3	9.3	2.7	0.0	0.0
新湊東部	103	7.8	9.7	17.5	7.8	1.9	1.9	0.0
小杉北部・下	160	2.5	16.3	10.0	9.4	2.5	0.0	0.0
小杉南部	156	4.5	17.3	12.2	9.0	3.8	0.6	0.0
大門	118	4.2	20.3	17.8	10.2	1.7	0.8	0.0
大島	115	1.7	18.3	10.4	6.1	4.3	0.0	0.0

単位：%	n=	家族の間で虐待が疑われる世帯（虐待）	身寄りがなく入院したとき等支援が必要ときに、頼れる親族等がない単身世帯（身寄りなし）	経済的に余裕がなく食べるものにも困っている世帯（生活困窮世帯）	通勤や通学、通院、買い物等の日常的な移動・外出に困難を感じている世帯（移動困難者）	上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯	見たり聞いたりしたことはない	不明・無回答
【生活圏域別】								
新湊中部	112	0.0	9.8	1.8	18.8	2.7	45.5	7.1
新湊南部	75	0.0	1.3	0.0	13.3	0.0	38.7	20.0
新湊東部	103	0.0	7.8	1.9	7.8	1.0	49.5	7.8
小杉北部・下	160	1.3	3.8	0.6	3.8	2.5	65.0	7.5
小杉南部	156	0.6	2.6	0.6	10.9	1.3	56.4	9.6
大門	118	0.8	6.8	2.5	11.9	0.8	50.8	8.5
大島	115	0.0	6.1	0.9	4.3	2.6	58.3	9.6

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

### 3. 地域活動・ボランティアなどへの参加について

問 15 現在、地域活動やボランティアなどに参加していますか。<単数回答>

『参加している』 …「よく参加している」と「ある程度参加している」の合算

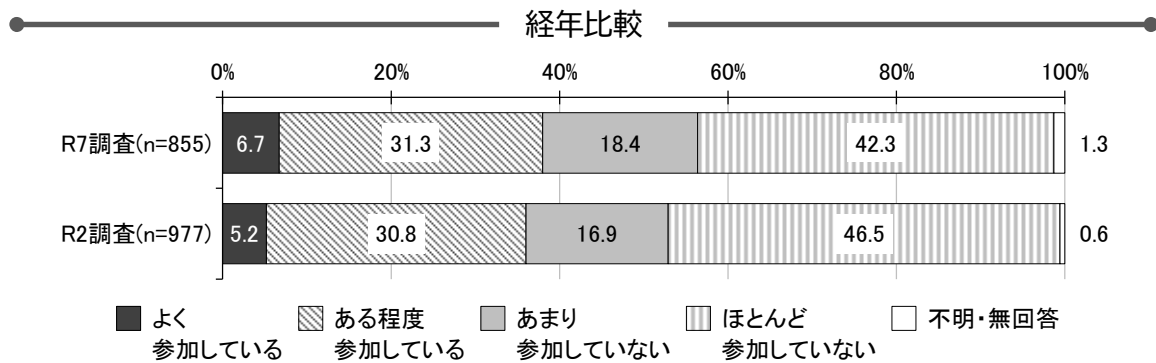
『参加していない』 …「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」の合算

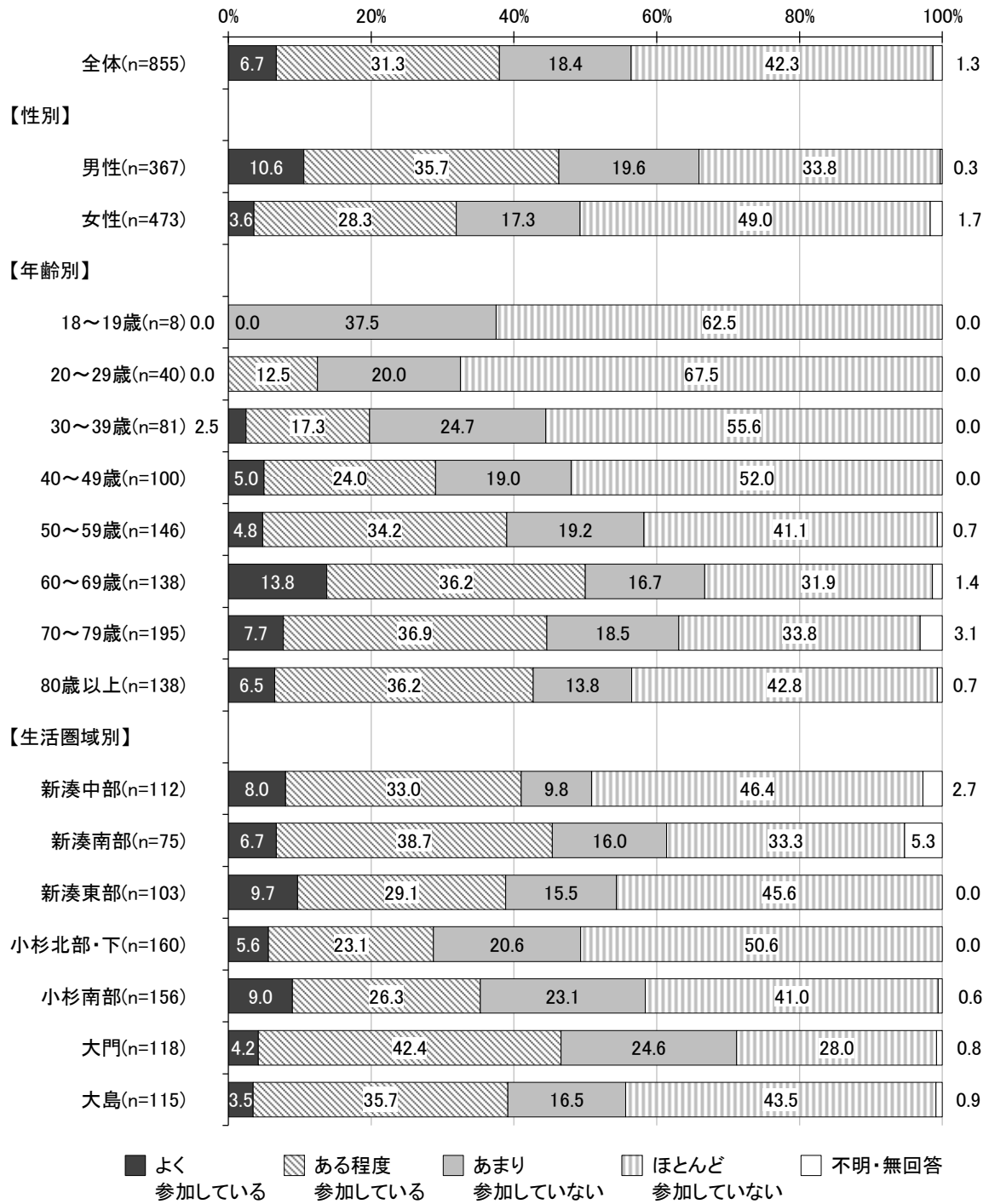
全体で『参加している』が38.0%、『参加していない』が60.7%となっています。なお、R2調査と比較すると、『参加している』は2.0ポイント高くなっているものの、大きな変化はみられません。

性別では、『参加している』が男性で46.3%、女性で31.9%となっており、男性は女性と比べて14.4ポイント高くなっています。

年齢別では、『参加している』が60～69歳で50.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、『参加している』が大門、新湊南部及び新湊中部でそれぞれ4割台と高い一方で、小杉北部・下は28.7%にとどまっています。

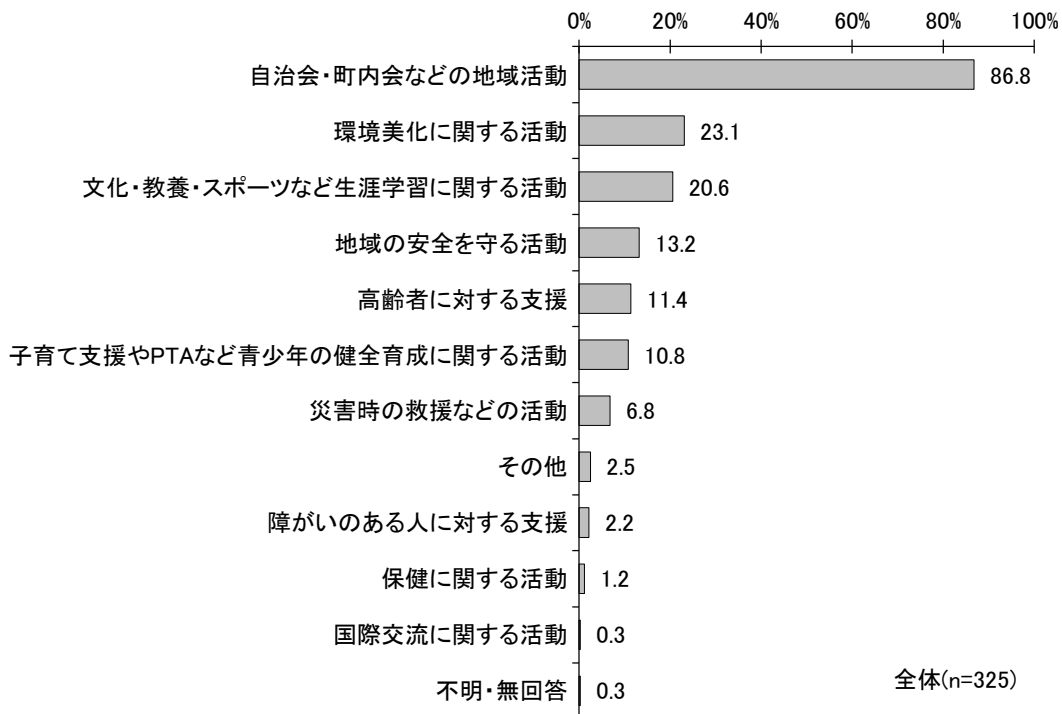




問 15 で「1. よく参加している」または「2. ある程度参加している」と答えた方

問 16 現在、どのような地域活動やボランティアなどに参加していますか。<複数回答>

全体で「自治会・町内会などの地域活動」が 86.8%と最も高く、次いで「環境美化に関する活動」が 23.1%となっています。



性別では、「環境美化に関する活動」「地域の安全を守る活動」が、男性は女性と比べてそれぞれ10ポイント以上高くなっています。

年齢別では、30～79歳で「自治会・町内会などの地域活動」がそれぞれ8割以上と高く、特に30～39歳及び50～69歳ではそれぞれ9割を超えています。

生活圏域別では、いずれの圏域でも「自治会・町内会などの地域活動」がそれぞれ8割以上であり、特に新湊東部では92.5%と他の圏域と比べて高くなっています。なお、「地域の安全を守る活動」は小杉南部の20.0%が最も高く、圏域によって差がみられます。

単位:%	n=	自治会・町内会などの地域活動	子育て支援やPTAなど青少年の健全育成に関する活動	高齢者に対する支援	障がいのある人に対する支援	保健に関する活動	環境美化に関する活動	地域の安全を守る活動	国際交流に関する活動	生涯学習に関する活動 文化・教養・スポーツなど	災害時の救援などの活動	その他	不明・無回答
【性別】													
男性	170	90.0	7.6	10.0	3.5	1.2	30.0	18.8	0.6	17.6	9.4	2.4	0.0
女性	151	83.4	13.9	13.2	0.7	1.3	15.9	6.6	0.0	23.8	4.0	2.6	0.7
【年齢別】													
20～29歳	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
30～39歳	16	93.8	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
40～49歳	29	82.8	51.7	0.0	3.4	3.4	17.2	6.9	0.0	6.9	3.4	3.4	0.0
50～59歳	57	96.5	7.0	1.8	0.0	0.0	22.8	7.0	0.0	14.0	7.0	1.8	0.0
60～69歳	69	91.3	10.1	4.3	4.3	0.0	24.6	17.4	0.0	18.8	7.2	4.3	0.0
70～79歳	87	86.2	2.3	10.3	1.1	1.1	24.1	13.8	1.1	24.1	4.6	3.4	0.0
80歳以上	59	76.3	3.4	40.7	3.4	3.4	28.8	18.6	0.0	32.2	8.5	0.0	1.7
【生活圏域別】													
新湊中部	46	82.6	8.7	13.0	2.2	2.2	19.6	17.4	0.0	21.7	10.9	8.7	0.0
新湊南部	34	88.2	11.8	20.6	2.9	2.9	26.5	2.9	0.0	14.7	5.9	5.9	0.0
新湊東部	40	92.5	7.5	15.0	0.0	0.0	27.5	7.5	2.5	12.5	2.5	0.0	0.0
小杉北部・下	46	89.1	6.5	15.2	0.0	0.0	26.1	15.2	0.0	17.4	4.3	2.2	0.0
小杉南部	55	87.3	9.1	5.5	3.6	0.0	16.4	20.0	0.0	25.5	12.7	0.0	0.0
大門	55	81.8	18.2	7.3	3.6	1.8	23.6	16.4	0.0	25.5	3.6	1.8	0.0
大島	45	88.9	11.1	8.9	2.2	2.2	26.7	8.9	0.0	22.2	6.7	0.0	2.2

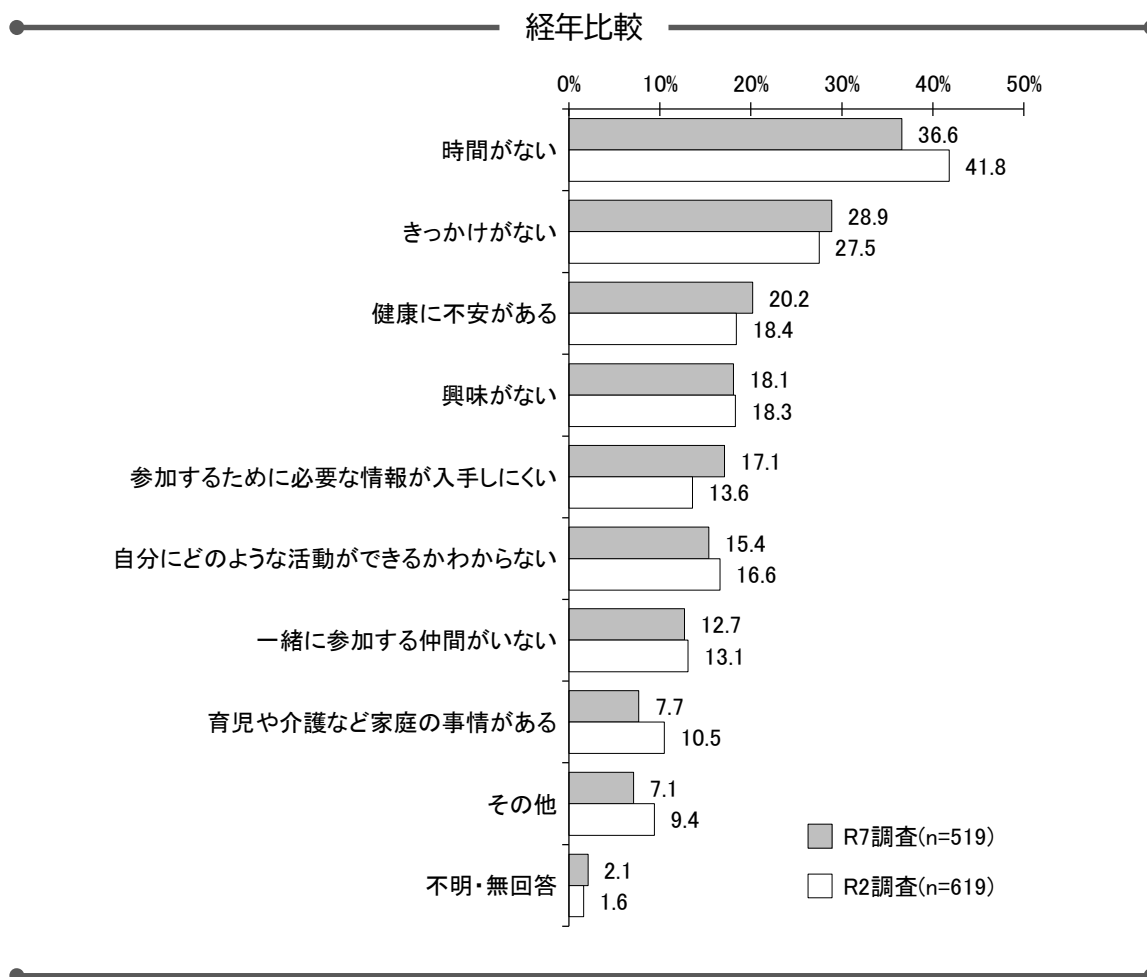
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

※年齢別について、18～19歳は回答者なしであったため、掲載していません。

問 15 で「3. あまり参加していない」または「4. ほとんど参加していない」と答えた方

問 17 その理由を教えてください。<複数回答>

全体で「時間がない」が36.6%と最も高く、次いで「きっかけがない」が28.9%となっています。なお、R2 調査と比較すると、「時間がない」が5.2ポイント低くなっている一方で、「参加するために必要な情報が入手しにくい」は3.5ポイントの微増となっています。



性別では、「きっかけがない」が女性で33.1%と、男性と比べて10.1ポイント高くなっています。

年齢別では、20～29歳で「自分にどのような活動ができるかわからない」(37.1%)、「きっかけがない」(45.7%)が、他の年代と比べて高くなっています。また、30～39歳では「興味がない」が36.9%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、新湊南部、新湊東部及び小杉北部・下で「きっかけがない」がそれぞれ3割以上と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位:%	n=	時間がない	育児や介護など家庭の事情がある	一緒に参加する仲間がない	自分にどのような活動ができるかわからない	参加するために必要な情報が入手しにくい	きっかけがない	興味がない	健康に不安がある	その他	不明・無回答
【性別】											
男性	196	37.2	5.1	16.8	14.3	18.4	23.0	23.0	19.9	7.7	1.5
女性	314	36.6	9.6	9.9	15.6	15.9	33.1	15.0	20.1	6.7	2.2
【年齢別】											
18～19歳	8	50.0	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0
20～29歳	35	57.1	0.0	25.7	37.1	28.6	45.7	22.9	0.0	0.0	0.0
30～39歳	65	47.7	20.0	12.3	12.3	20.0	29.2	36.9	3.1	3.1	0.0
40～49歳	71	64.8	21.1	11.3	14.1	21.1	36.6	12.7	5.6	5.6	0.0
50～59歳	88	50.0	4.5	11.4	13.6	21.6	33.0	14.8	10.2	4.5	0.0
60～69歳	67	37.3	7.5	14.9	14.9	17.9	34.3	16.4	13.4	6.0	1.5
70～79歳	102	13.7	2.0	12.7	17.6	14.7	28.4	18.6	37.3	8.8	2.0
80歳以上	78	3.8	1.3	9.0	6.4	3.8	6.4	9.0	53.8	16.7	10.3
【生活圏域別】											
新湊中部	63	23.8	1.6	12.7	14.3	11.1	19.0	22.2	28.6	7.9	4.8
新湊南部	37	35.1	8.1	10.8	8.1	16.2	35.1	8.1	24.3	10.8	0.0
新湊東部	63	38.1	1.6	14.3	15.9	19.0	34.9	22.2	19.0	11.1	0.0
小杉北部・下	114	44.7	12.3	15.8	16.7	22.8	32.5	14.0	14.9	3.5	2.6
小杉南部	100	31.0	5.0	11.0	9.0	11.0	25.0	13.0	22.0	11.0	2.0
大門	62	33.9	4.8	9.7	16.1	16.1	25.8	29.0	16.1	3.2	0.0
大島	69	44.9	15.9	11.6	24.6	18.8	29.0	20.3	18.8	2.9	4.3

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

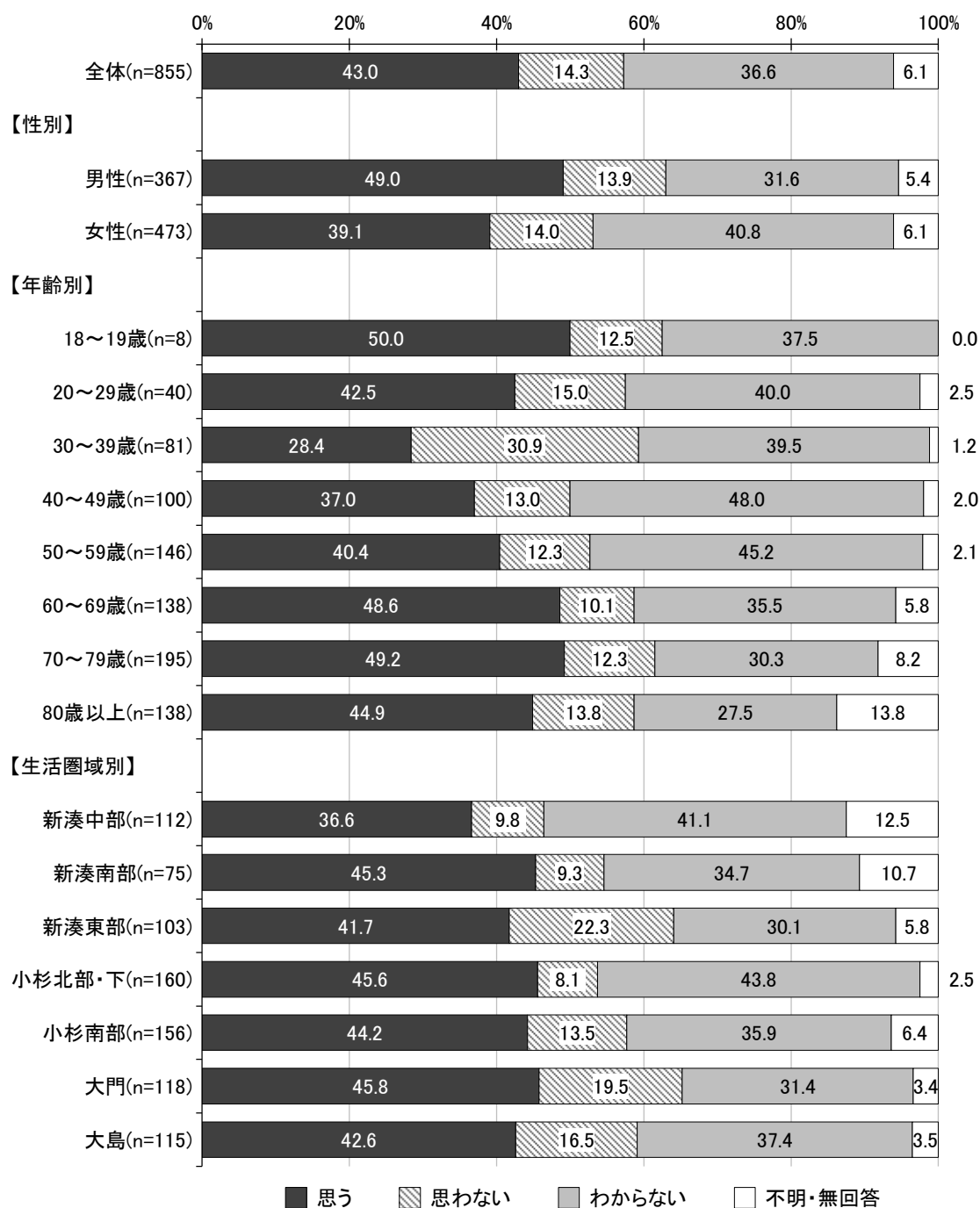
問 18 あなたは、地域活動やボランティア活動などに参加して何か社会のために役立ちたいと思いますか。<単数回答>

全体で「思う」が43.0%、「思わない」が14.3%、「わからない」が36.6%となっています。

性別では、「思う」が男性で49.0%と、女性と比べて9.9ポイント高くなっています。

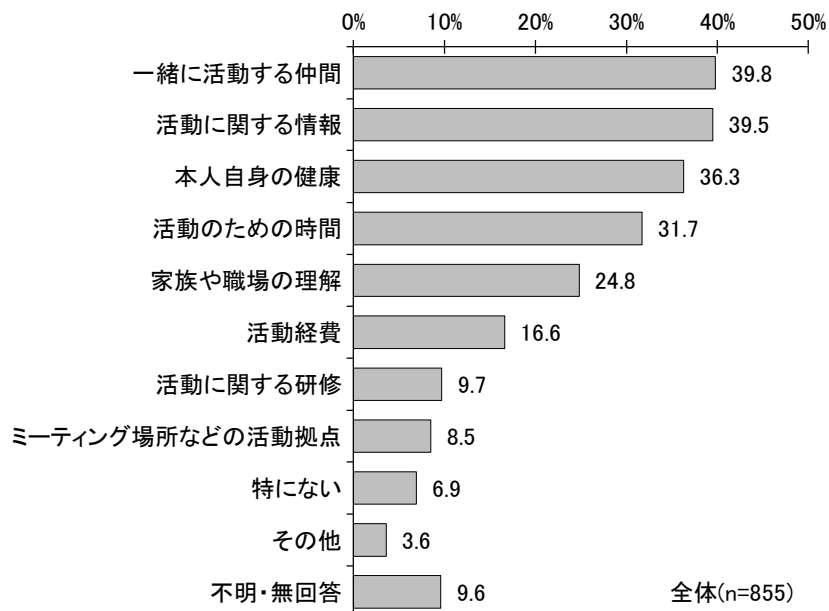
年齢別では、30～39歳で「思わない」が30.9%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、「思う」がいずれの圏域でも4割前後である一方で、「思わない」が新湊東部及び大門でそれぞれ2割前後と、他の圏域と比べて高くなっています。



問 19 地域活動やボランティア活動などに参加していない方に、これから参加してもらうためには、何が必要だと思いますか。<複数回答>

全体で「一緒に活動する仲間」が39.8%と最も高く、次いで「活動に関する情報」が39.5%となっています。



性別では、男性で「一緒に活動する仲間」が40.3%、女性で「活動に関する情報」が41.6%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別では、年代によって様々であり、20～29歳は「一緒に活動する仲間」、30～49歳は「活動のための時間」、50～69歳は「活動に関する情報」、70歳以上は「本人自身の健康」が、それぞれ最も高くなっています。

生活圏域別では、大門、大島及び新湊南部で「家族や職場の理解」がそれぞれ3割前後と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位：%	n=	家族や職場の理解	活動拠点 ミーティング場所などの	一緒に活動する仲間	活動経費	活動に関する情報	活動に関する研修	活動のための時間	本人自身の健康	その他	特になし	不明・無回答
【性別】												
男性	367	28.1	9.3	40.3	20.4	37.3	10.1	32.2	36.0	4.1	7.4	7.6
女性	473	22.6	8.2	39.7	14.2	41.6	9.7	32.1	36.6	3.2	6.3	10.8
【年齢別】												
18～19歳	8	0.0	0.0	62.5	12.5	37.5	0.0	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	40	20.0	7.5	52.5	22.5	50.0	7.5	45.0	10.0	0.0	12.5	0.0
30～39歳	81	32.1	7.4	27.2	24.7	42.0	2.5	43.2	16.0	6.2	17.3	0.0
40～49歳	100	39.0	11.0	42.0	27.0	49.0	14.0	55.0	33.0	6.0	7.0	4.0
50～59歳	146	38.4	6.8	50.0	21.2	51.4	8.9	46.6	29.5	3.4	2.1	3.4
60～69歳	138	31.2	10.1	40.6	18.1	44.2	12.3	38.4	42.0	5.1	3.6	8.0
70～79歳	195	12.8	10.3	39.0	10.8	31.8	8.7	13.3	44.1	2.6	8.2	13.8
80歳以上	138	9.4	5.8	31.9	5.8	23.2	12.3	8.7	48.6	2.2	6.5	23.2
【生活圏域別】												
新湊中部	112	17.9	11.6	34.8	17.0	33.9	10.7	20.5	42.9	5.4	0.9	11.6
新湊南部	75	29.3	9.3	45.3	10.7	32.0	9.3	30.7	32.0	1.3	6.7	13.3
新湊東部	103	21.4	4.9	35.9	14.6	33.0	5.8	35.9	33.0	2.9	11.7	8.7
小杉北部・下	160	26.3	8.8	43.8	23.8	50.0	9.4	41.3	36.9	4.4	5.0	5.6
小杉南部	156	20.5	7.7	36.5	14.7	36.5	10.9	27.6	35.9	2.6	5.8	13.5
大門	118	31.4	5.9	39.0	13.6	41.5	8.5	35.6	37.3	3.4	9.3	7.6
大島	115	30.4	11.3	44.3	17.4	42.6	12.2	30.4	35.7	2.6	10.4	7.8

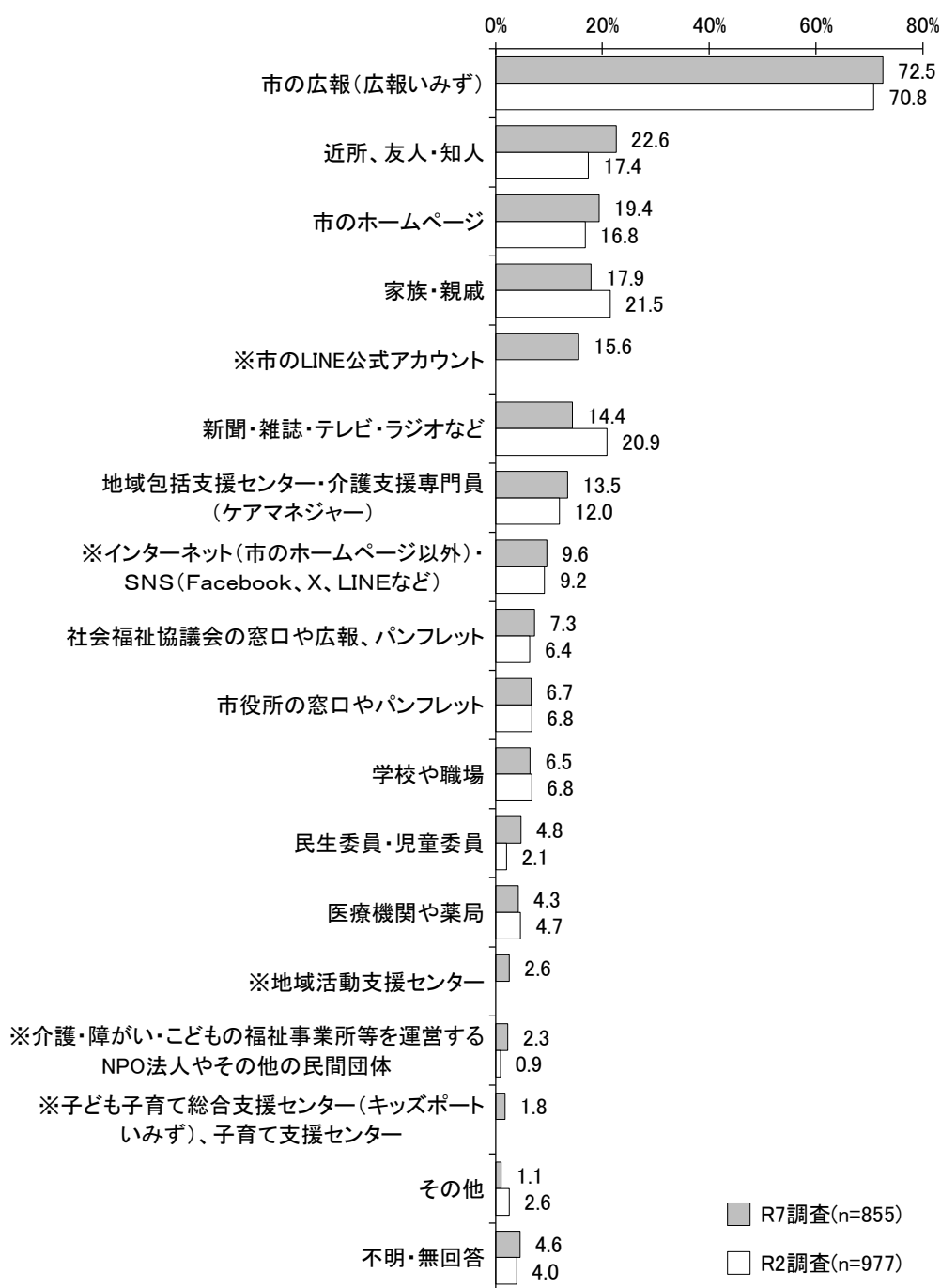
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

## 4. 福祉サービス情報の入手先について

問 20 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。<複数回答>

全体で「市の広報（広報いみず）」が72.5%と最も高く、次いで「近所、友人・知人」が22.6%となっています。なお、R2調査と比較すると、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど」は6.5ポイント低くなっています。一方で、「市の広報（広報いみず）」「市のホームページ」は微増ではあるものの、「市のLINE公式アカウント」（15.6%）とともに、市発信の情報ツールによる入手が増えています。

## 経年比較



※「市のLINE公式アカウント」「子ども子育て総合支援センター(キッズポートいみず)、子育て支援センター」「地域活動支援センター」は、R7調査のみ。

※「介護・障がい・こどもの福祉事業所等を運営するNPO法人やその他の民間団体」は、R2調査では「NPO法人やその他の民間団体」、「インターネット(市のホームページ以外)・SNS(Facebook、X、LINEなど)」は、R2調査では「インターネット(市のホームページ以外)」。

性別では、「市のLINE公式アカウント」が女性で19.9%と、男性と比べて9.5ポイント高くなっています。

年齢別では、30～69歳で「市のホームページ」がそれぞれ3割前後、30～49歳で「市のLINE公式アカウント」がそれぞれ約3割と、インターネット等の使用による情報の入手が他の年代と比べて高くなっています。また、「市の広報（広報いみず）」は、60～69歳で83.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

単位：%	n=	市の広報（広報いみず）	市のホームページ	市役所の窓口やパンフレット	市のLINE公式アカウント	社会福祉協議会の窓口や広報、パンフレット	家族・親戚	近所、友人・知人	民生委員・児童委員	地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネジャー）		
【性別】												
男性	367	70.8	20.4	6.5	10.4	8.7	18.0	21.0	5.4	11.7		
女性	473	74.8	19.2	6.8	19.9	5.9	18.0	23.5	4.2	15.0		
【年齢別】												
18～19歳	8	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0		
20～29歳	40	52.5	17.5	10.0	15.0	2.5	35.0	12.5	0.0	0.0		
30～39歳	81	63.0	30.9	8.6	28.4	2.5	18.5	13.6	3.7	1.2		
40～49歳	100	74.0	29.0	7.0	27.0	6.0	23.0	17.0	3.0	6.0		
50～59歳	146	71.2	26.7	6.8	21.2	3.4	23.3	25.3	2.7	12.3		
60～69歳	138	83.3	25.4	7.2	15.9	5.1	10.9	21.7	3.6	18.8		
70～79歳	195	79.0	9.7	5.1	9.7	11.8	10.3	25.1	5.6	13.8		
80歳以上	138	68.8	7.2	5.1	2.9	12.3	19.6	27.5	9.4	26.1		
単位：%	n=	子ども子育て総合支援センター（キッズポートいみず）、子育て支援センター	地域活動支援センター	学校や職場	医療機関や薬局	新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど	法人やその他の民間団体	介護・障がい・子どもの福祉事業所等を運営するNPO	book、X、LINEなど	インターネット（市のホームページ以外）・SNS（Facebook、X、LINEなど）	その他	不明・無回答
【性別】												
男性	367	0.8	2.7	5.2	3.5	14.4	2.7	9.8	0.8	4.9		
女性	473	2.5	2.5	7.8	5.1	14.2	2.1	9.7	1.1	4.0		
【年齢別】												
18～19歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	12.5		
20～29歳	40	2.5	0.0	5.0	2.5	10.0	2.5	27.5	2.5	0.0		
30～39歳	81	9.9	3.7	12.3	4.9	4.9	1.2	11.1	0.0	4.9		
40～49歳	100	4.0	2.0	14.0	9.0	12.0	2.0	22.0	1.0	1.0		
50～59歳	146	0.0	1.4	13.0	3.4	13.0	4.1	9.6	2.1	2.1		
60～69歳	138	0.7	2.9	3.6	2.9	10.1	2.2	12.3	0.7	3.6		
70～79歳	195	0.5	2.6	2.1	2.6	17.4	2.6	2.6	1.0	6.2		
80歳以上	138	0.0	4.3	0.7	6.5	23.9	1.4	1.4	0.0	8.7		

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

生活圏域別では、いずれの圏域でも「市の広報（広報いみず）」が6～7割台となっています。

単位：%	n=	市の広報（広報いみず）	市のホームページ	市役所の窓口やパンフレット	市のLINE公式アカウント	社会福祉協議会の窓口や広報、パンフレット	家族・親戚	近所、友人・知人	民生委員・児童委員	地域包括支援センター・介護支援専門員（ケアマネジャー）
【生活圏域別】										
新湊中部	112	73.2	11.6	4.5	15.2	8.0	15.2	23.2	5.4	13.4
新湊南部	75	64.0	16.0	6.7	8.0	8.0	21.3	28.0	4.0	17.3
新湊東部	103	69.9	19.4	2.9	14.6	5.8	21.4	20.4	5.8	14.6
小杉北部・下	160	77.5	28.7	5.0	16.9	10.0	18.8	16.3	5.0	13.1
小杉南部	156	72.4	14.7	5.8	19.2	6.4	15.4	22.4	5.1	12.8
大門	118	72.9	19.5	14.4	12.7	7.6	15.3	25.4	3.4	16.9
大島	115	76.5	22.6	7.8	20.0	4.3	20.9	23.5	4.3	8.7

単位：%	n=	子ども子育て総合支援センター（キッズポートいみず）、子育て支援センター	地域活動支援センター	学校や職場	医療機関や薬局	新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど	介護・障がい・子どもの福祉事業所等を運営するNPO法人やその他の民間団体	book、X、LINEなど	インターネット（市のホームページ以外）・SNS（Facebook、X、LINEなど）	その他	不明・無回答
【生活圏域別】											
新湊中部	112	0.0	2.7	8.9	7.1	16.1	4.5	8.9	0.9	4.5	
新湊南部	75	2.7	1.3	10.7	4.0	14.7	1.3	4.0	0.0	9.3	
新湊東部	103	0.0	1.0	5.8	4.9	10.7	1.0	11.7	1.9	1.0	
小杉北部・下	160	2.5	3.8	5.6	4.4	16.9	3.1	10.0	0.0	3.1	
小杉南部	156	1.3	1.9	6.4	3.2	13.5	1.3	6.4	1.9	6.4	
大門	118	2.5	5.1	5.1	5.1	14.4	2.5	16.1	0.8	2.5	
大島	115	3.5	1.7	5.2	1.7	12.2	2.6	8.7	0.9	5.2	

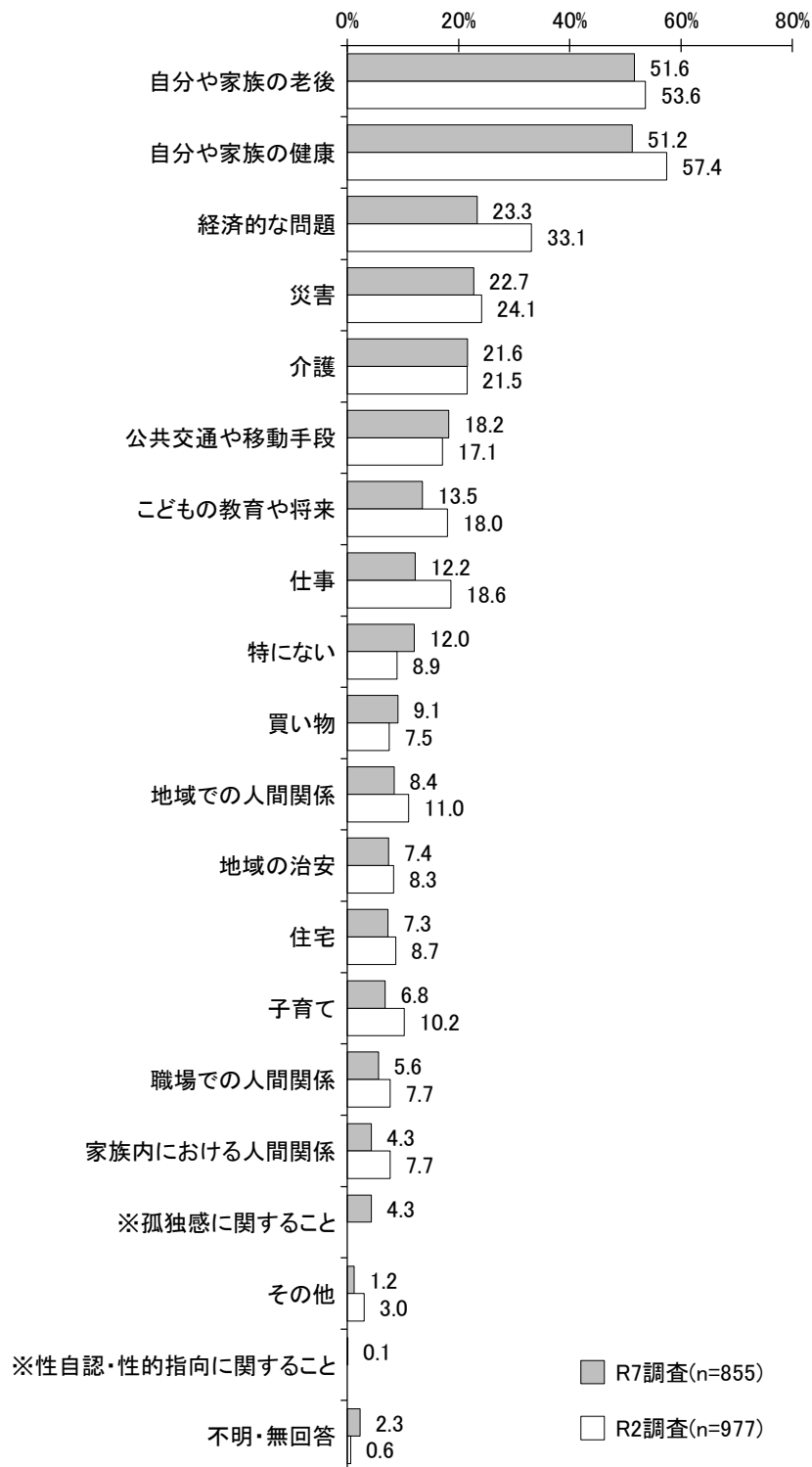
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目**第1位**と**第2位**に網かけをしています。

## 5. 日常生活上の困りごとについて

問 21 日々の生活の中で、主にどのようなことに不安や悩みを感じていますか。＜複数回答＞

全体で「自分や家族の老後」が51.6%と最も高く、次いで「自分や家族の健康」が51.2%となっています。なお、R2調査と比較すると、「経済的な問題」は9.8ポイント、「自分や家族の健康」は6.2ポイント、それぞれ低くなっています。一方で、「公共交通や移動手段」「買い物」の移動手段に関する問題は、それぞれ微増となっています。

## 経年比較



※「孤独感に関すること」「性自認・性的指向に関すること」は、R7調査のみ。

性別では、男女ともに「自分や家族の健康」「自分や家族の老後」が上位となっています。また、「こどもの教育や将来」が女性で16.5%と、男性と比べて6.4ポイント高くなっています。

年齢別では、30～49歳で「こどもの教育や将来」がそれぞれ4割前後、20～29歳及び40～49歳で「経済的な問題」がそれぞれ3割台と高くなっています。

単位:%	n=	健康 自分や 家族の	老後 自分や 家族の	子育て	こども の教育 や将来	介護	経済的 な問題	仕事	家族 内にお ける 人間 関係	地域 での 人間 関係	職場 での 人間 関係
【性別】											
男性	367	54.0	51.5	4.6	10.1	24.3	21.3	12.8	3.3	11.4	6.8
女性	473	50.3	52.4	8.7	16.5	20.1	25.4	11.8	5.3	6.3	4.7
【年齢別】											
18～19歳	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	40	42.5	30.0	7.5	5.0	5.0	32.5	27.5	5.0	2.5	12.5
30～39歳	81	43.2	42.0	33.3	39.5	11.1	29.6	22.2	4.9	8.6	8.6
40～49歳	100	46.0	49.0	26.0	46.0	17.0	37.0	29.0	6.0	13.0	11.0
50～59歳	146	50.7	63.0	0.7	16.4	26.7	27.4	17.1	6.2	11.6	12.3
60～69歳	138	52.9	56.5	0.0	4.3	29.7	23.2	8.0	3.6	8.7	3.6
70～79歳	195	56.4	55.9	0.5	2.1	18.5	15.4	4.1	2.6	7.7	0.5
80歳以上	138	57.2	44.9	0.0	0.7	29.7	13.8	0.0	4.3	5.1	0.7

単位:%	n=	住宅	地域の 治安	災害	公共 交通 や 移動 手段	買い物	孤独 感に 関 する こと	性自 認・ 性的 指 向に 関 する こと	その他	特 に な い	不明・ 無回 答
【性別】											
男性	367	8.4	6.5	24.5	16.9	9.5	5.2	0.3	1.9	9.8	2.7
女性	473	6.6	8.2	21.4	19.7	9.1	3.8	0.0	0.4	13.5	1.5
【年齢別】											
18～19歳	8	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
20～29歳	40	2.5	2.5	27.5	20.0	12.5	2.5	0.0	0.0	10.0	0.0
30～39歳	81	8.6	6.2	22.2	8.6	3.7	2.5	1.2	0.0	14.8	2.5
40～49歳	100	7.0	9.0	29.0	15.0	10.0	5.0	0.0	1.0	9.0	2.0
50～59歳	146	11.6	10.3	25.3	15.1	6.8	6.2	0.0	0.7	10.3	1.4
60～69歳	138	8.7	5.8	22.5	18.8	5.8	2.2	0.0	1.4	12.3	2.2
70～79歳	195	6.2	7.7	22.1	20.0	7.7	3.6	0.0	1.5	11.8	1.0
80歳以上	138	4.3	7.2	18.1	26.1	19.6	6.5	0.0	2.2	13.8	4.3

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

生活圏域別では、新湊東部で「公共交通や移動手段」が29.1%と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位：%	n=	健康 自分や家族の	老後 自分や家族の	子育て	子ども の教育 や将来	介護	経済的な 問題	仕事	家族内 における 人間関係	地域 での人間 関係	職場 での人間 関係
【生活圏域別】											
新湊中部	112	49.1	46.4	2.7	8.9	23.2	19.6	10.7	3.6	12.5	6.3
新湊南部	75	62.7	52.0	8.0	14.7	18.7	26.7	13.3	5.3	8.0	5.3
新湊東部	103	48.5	47.6	1.9	9.7	28.2	20.4	8.7	2.9	7.8	6.8
小杉北部・下	160	47.5	55.6	8.8	18.8	18.8	21.3	19.4	4.4	7.5	6.3
小杉南部	156	47.4	49.4	9.0	12.2	16.0	21.8	6.4	2.6	3.8	3.8
大門	118	51.7	51.7	5.9	12.7	27.1	22.0	10.2	5.1	8.5	5.9
大島	115	58.3	55.7	10.4	16.5	23.5	33.0	14.8	7.0	13.0	6.1

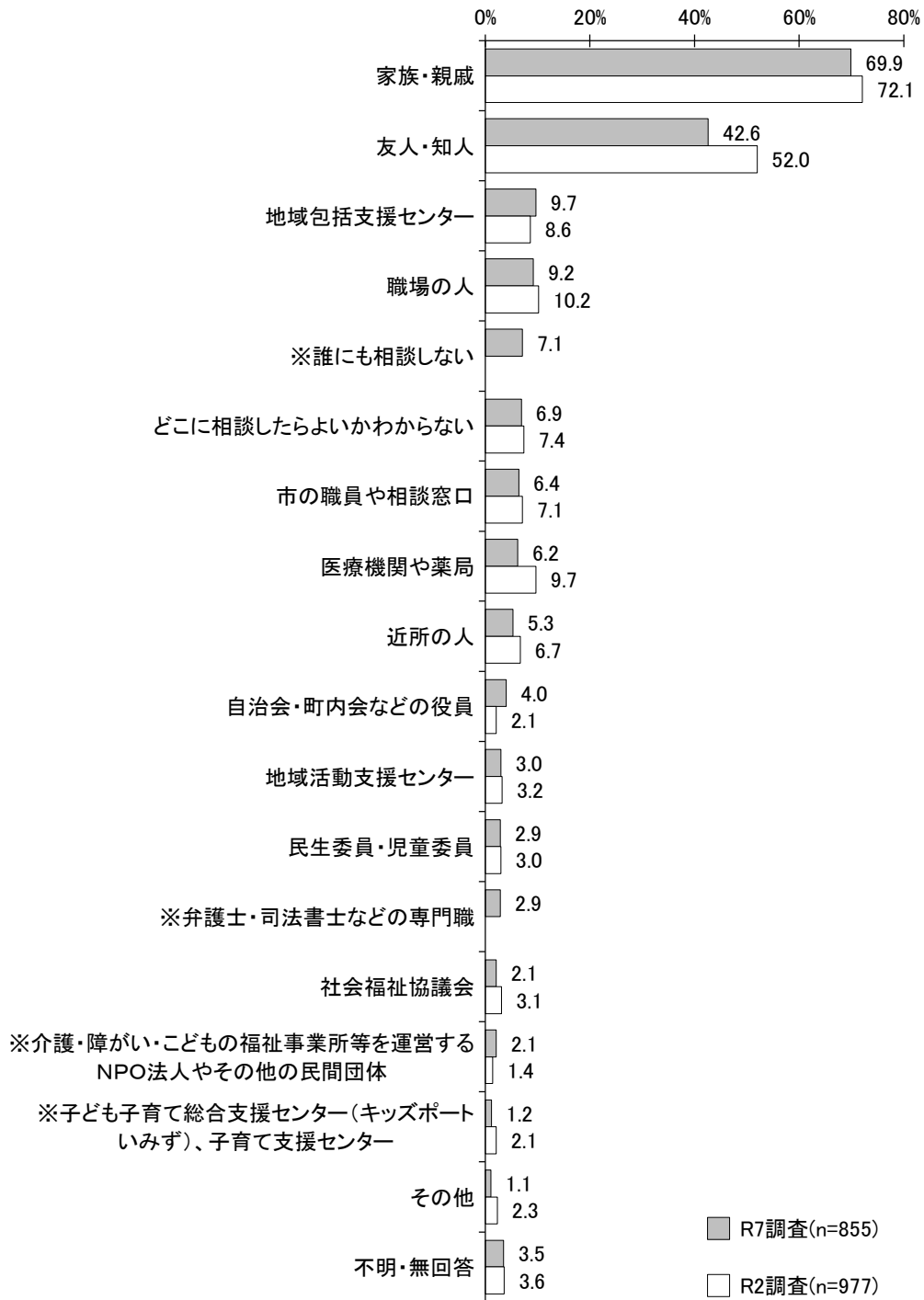
単位：%	n=	住宅	地域の 治安	災害	公共 交通や 移動 手段	買い 物	孤独 感に 関する こと	性自 認・ 性的 指 向に 関する こと	その他	特 に な い	不 明・ 無 回 答
【生活圏域別】											
新湊中部	112	9.8	5.4	25.9	20.5	15.2	6.3	0.0	2.7	8.9	4.5
新湊南部	75	8.0	16.0	20.0	14.7	5.3	4.0	0.0	1.3	10.7	4.0
新湊東部	103	4.9	7.8	27.2	29.1	11.7	1.9	0.0	0.0	13.6	1.0
小杉北部・下	160	7.5	5.6	23.1	12.5	3.8	4.4	0.6	0.6	13.8	1.9
小杉南部	156	3.2	5.1	17.3	18.6	10.9	3.8	0.0	1.9	14.7	1.9
大門	118	9.3	3.4	22.9	16.1	7.6	3.4	0.0	0.0	11.0	0.8
大島	115	10.4	13.0	25.2	17.4	9.6	7.0	0.0	0.9	10.4	0.9

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

## 問 22 不安や悩みについて、誰に相談したいと思いますか。<複数回答>

全体で「家族・親戚」が69.9%と最も高く、次いで「友人・知人」が42.6%となっています。なお、公共の相談先である「市の職員や相談窓口」「社会福祉協議会」「地域包括支援センター」「地域活動支援センター」「子ども子育て総合支援センター（キッズポートいみず）、子育て支援センター」は、それぞれ1割未満となっています。なお、R2調査と比較すると、「友人・知人」は9.4ポイント低くなっています。

## 経年比較



※「弁護士・司法書士などの専門職」「誰にも相談しない」は、R7 調査のみ。

※「子ども子育て総合支援センター(キッズポートいみず)、子育て支援センター」は、R2 調査では「子育て支援センター」、「介護・障がい・こどもの福祉事業所等を運営するNPO法人やその他の民間団体」は、R2 調査では「NPO法人やその他の民間団体」。

性別では、「家族・親戚」「友人・知人」が、女性は男性と比べてそれぞれ10ポイント以上高くなっています。

年齢別では、20歳以上で「家族・親戚」がそれぞれ7割前後と最も高くなっています。なお、30～49歳で「誰にも相談しない」が、40～49歳及び60～69歳で「どこに相談したらよいかわからない」がそれぞれ1割台となっています。

単位：%	n=	家族・親戚	友人・知人	近所の人	役員 自治会・町内会などの	民生委員・児童委員	職場の人	市の職員や相談窓口	社会福祉協議会	地域包括支援センター
【性別】										
男性	367	64.0	36.0	5.2	6.8	4.1	10.4	6.8	3.0	9.8
女性	473	75.1	47.8	5.3	1.7	1.9	8.7	6.3	1.5	9.9
【年齢別】										
18～19歳	8	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	40	72.5	65.0	2.5	0.0	0.0	17.5	2.5	0.0	0.0
30～39歳	81	72.8	44.4	0.0	0.0	2.5	12.3	4.9	0.0	1.2
40～49歳	100	66.0	48.0	4.0	2.0	1.0	24.0	5.0	1.0	3.0
50～59歳	146	74.0	46.6	2.7	2.7	0.7	17.1	6.8	2.7	6.8
60～69歳	138	68.1	41.3	5.1	5.1	0.7	5.1	6.5	0.7	9.4
70～79歳	195	64.1	42.1	7.2	5.6	5.6	2.1	9.7	3.1	12.3
80歳以上	138	78.3	29.0	10.9	7.2	6.5	0.7	5.1	4.3	23.2
単位：%	n=	地域活動支援センター	医療機関や薬局	子ども子育て総合支援センター (キッズポートのみず)、子育て支援センター	介護・障がいこどもの福祉事業所等を運営するNPO法人やその他の民間団体	弁護士・司法書士などの専門職	誰にも相談しない	どこに相談したらよいかわからない	その他	不明・無回答
【性別】										
男性	367	3.3	6.0	0.8	2.5	3.8	10.6	9.3	0.8	3.0
女性	473	3.0	6.6	1.5	1.9	2.3	4.4	5.3	1.1	3.2
【年齢別】										
18～19歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5
20～29歳	40	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	81	1.2	3.7	4.9	0.0	2.5	13.6	2.5	1.2	2.5
40～49歳	100	1.0	4.0	3.0	1.0	2.0	11.0	12.0	3.0	4.0
50～59歳	146	2.7	4.1	1.4	2.1	4.8	8.9	7.5	0.7	1.4
60～69歳	138	1.4	6.5	0.0	2.9	2.2	8.0	11.6	0.7	1.4
70～79歳	195	3.1	8.7	0.5	3.1	4.1	5.1	7.2	1.0	3.6
80歳以上	138	8.0	10.1	0.0	2.9	2.2	1.4	2.2	0.0	6.5

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

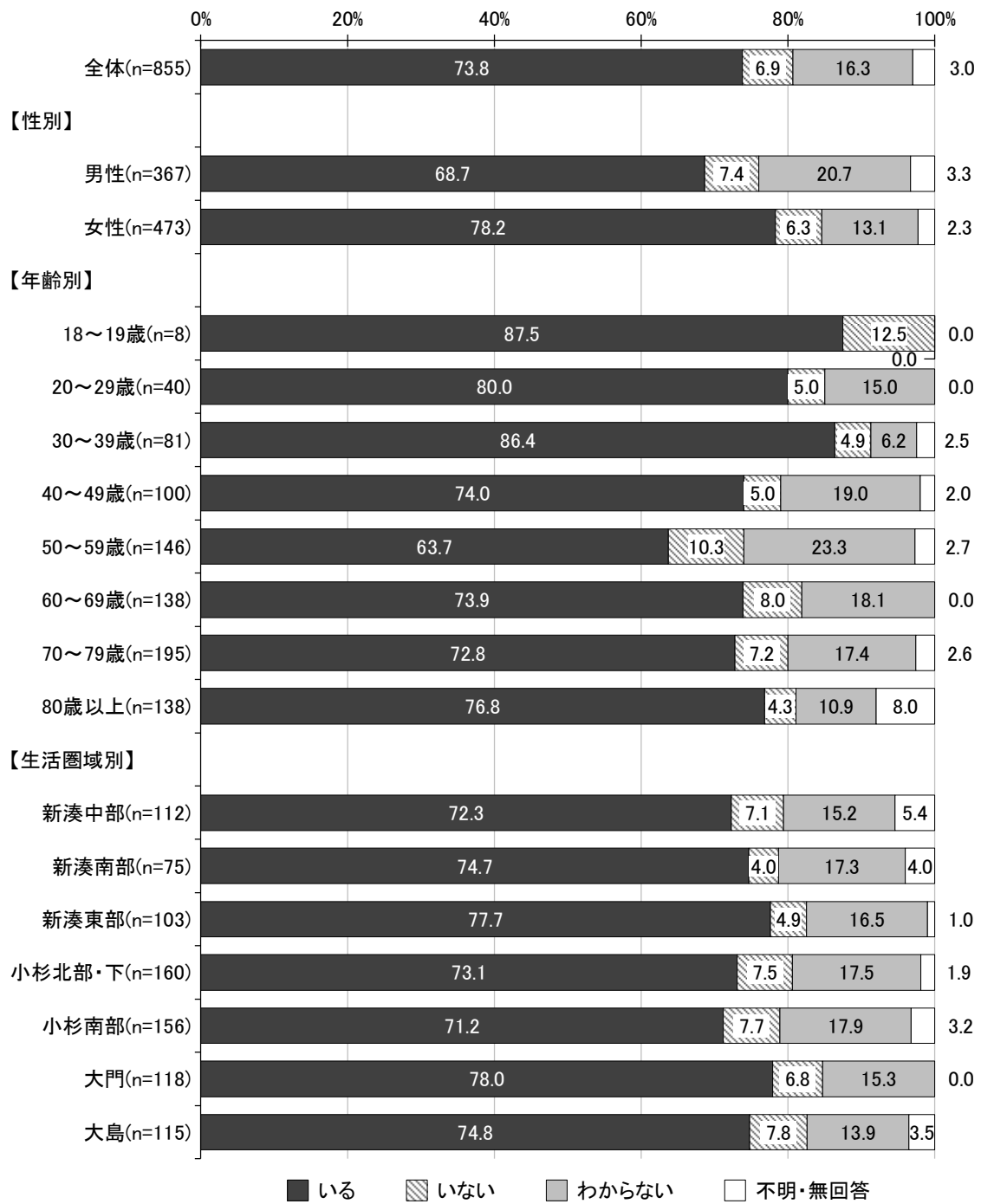
生活圏域別では、新湊南部で「地域包括支援センター」が18.7%と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位:%	n=	家族・親戚	友人・知人	近所の人	自治会・町内会などの役員	民生委員・児童委員	職場の人	市の職員や相談窓口	社会福祉協議会	地域包括支援センター
【生活圏域別】										
新湊中部	112	64.3	33.9	6.3	2.7	4.5	7.1	4.5	3.6	7.1
新湊南部	75	73.3	54.7	6.7	2.7	1.3	13.3	5.3	1.3	18.7
新湊東部	103	79.6	35.9	5.8	4.9	2.9	12.6	4.9	2.9	8.7
小杉北部・下	160	68.1	46.9	1.9	2.5	1.9	11.9	6.3	1.9	10.0
小杉南部	156	68.6	39.7	6.4	4.5	3.8	5.1	9.0	1.9	10.3
大門	118	65.3	42.4	4.2	8.5	2.5	10.2	7.6	0.8	10.2
大島	115	75.7	47.8	7.8	2.6	3.5	7.0	7.0	2.6	6.1

単位:%	n=	地域活動支援センター	医療機関や薬局	子ども子育て総合支援センター (キッズポートいみず)、子育て支援センター	介護・障がいこどもの福祉事業所等を 運営するNPO法人やその他の民間団体	弁護士・司法書士などの専門職	誰にも相談しない	どこに相談したらよいかわからない	その他	不明・無回答
【生活圏域別】										
新湊中部	112	2.7	5.4	0.9	0.9	4.5	10.7	9.8	0.9	3.6
新湊南部	75	4.0	9.3	0.0	0.0	1.3	2.7	8.0	0.0	4.0
新湊東部	103	3.9	8.7	0.0	1.9	2.9	8.7	1.9	0.0	1.9
小杉北部・下	160	5.0	5.6	1.9	2.5	1.9	6.3	8.8	1.3	5.0
小杉南部	156	0.6	4.5	1.3	2.6	4.5	5.1	7.1	1.3	3.8
大門	118	2.5	6.8	0.0	2.5	1.7	7.6	5.9	1.7	2.5
大島	115	2.6	5.2	3.5	3.5	2.6	8.7	5.2	0.9	0.9

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。





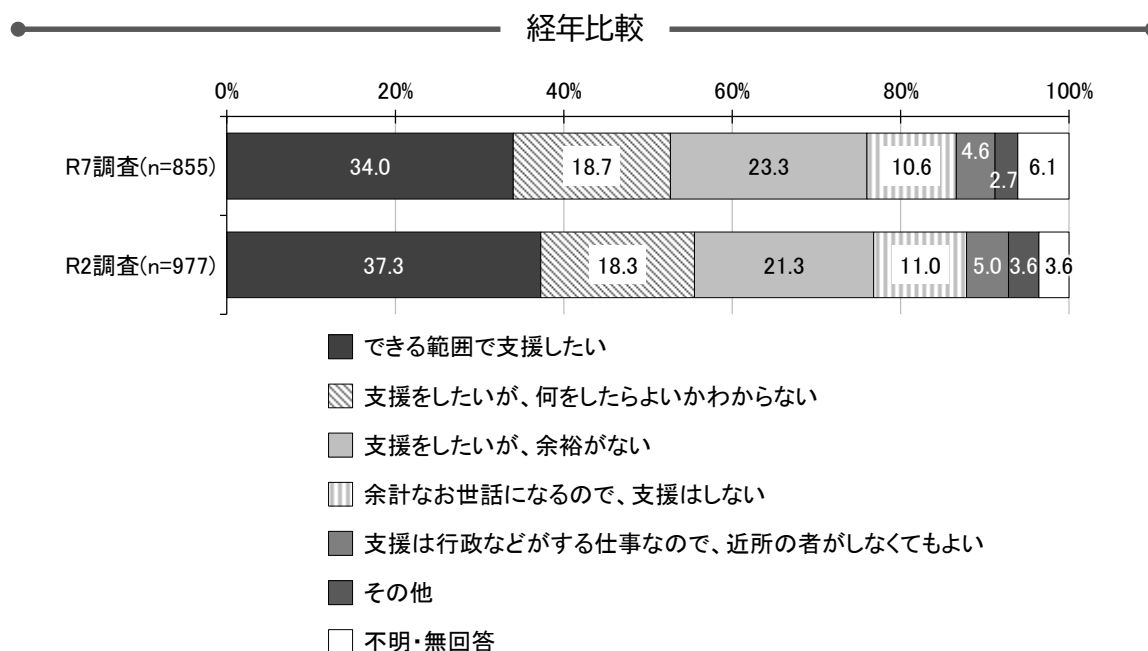
問 24 何らかの支援を必要としている隣近所の方への支援について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。〈単数回答〉

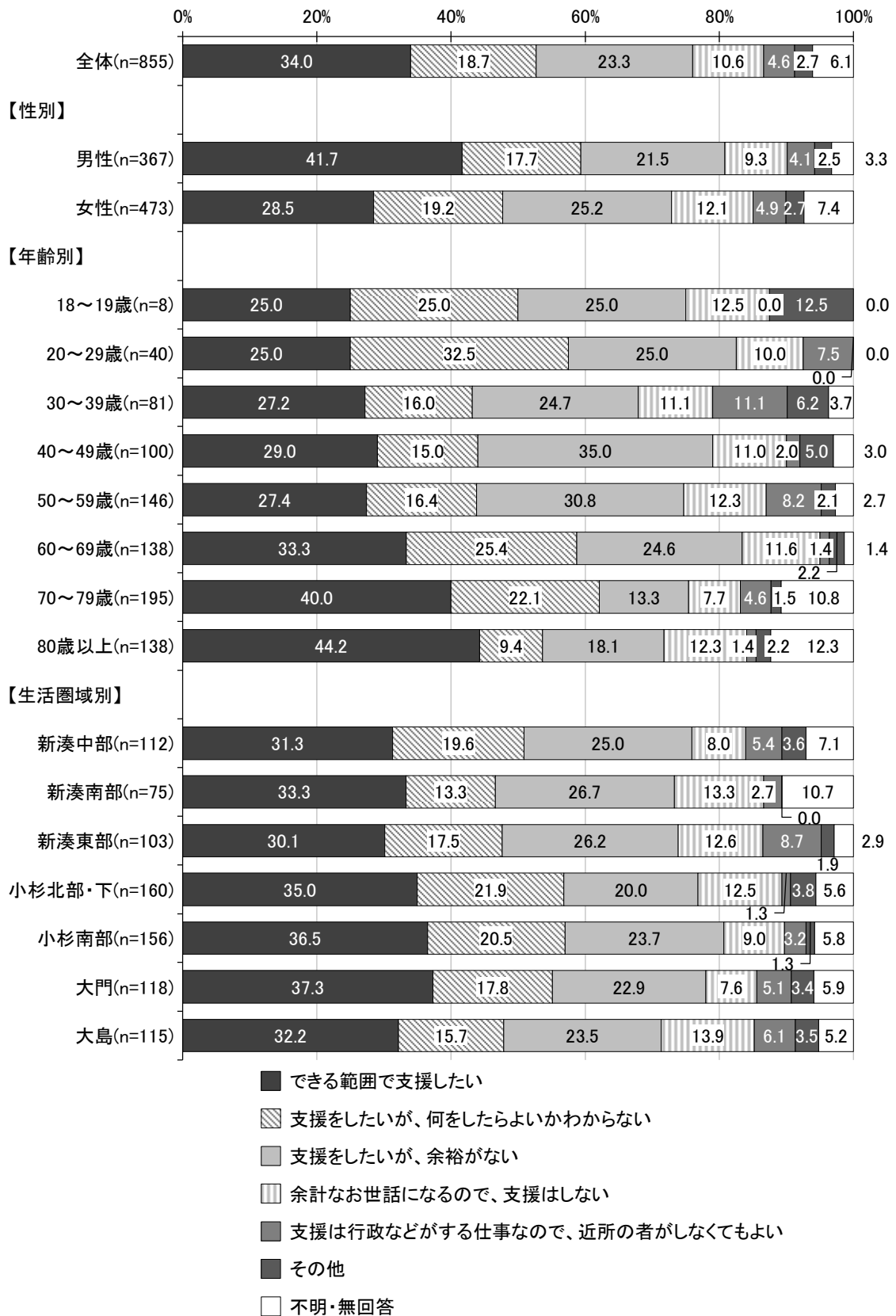
全体で「できる範囲で支援したい」が34.0%と最も高く、次いで「支援をしたいが、余裕がない」が23.3%となっています。R2調査と比較すると、「できる範囲で支援したい」が3.3ポイント減、「支援をしたいが、余裕がない」が2.0ポイント増となっているものの、大きな変化はみられません。

性別では、「できる範囲で支援したい」が男性で41.7%と、女性と比べて13.2ポイント高くなっています。

年齢別では、20～29歳で「支援をしたいが、何をしたらよいかわからない」が32.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

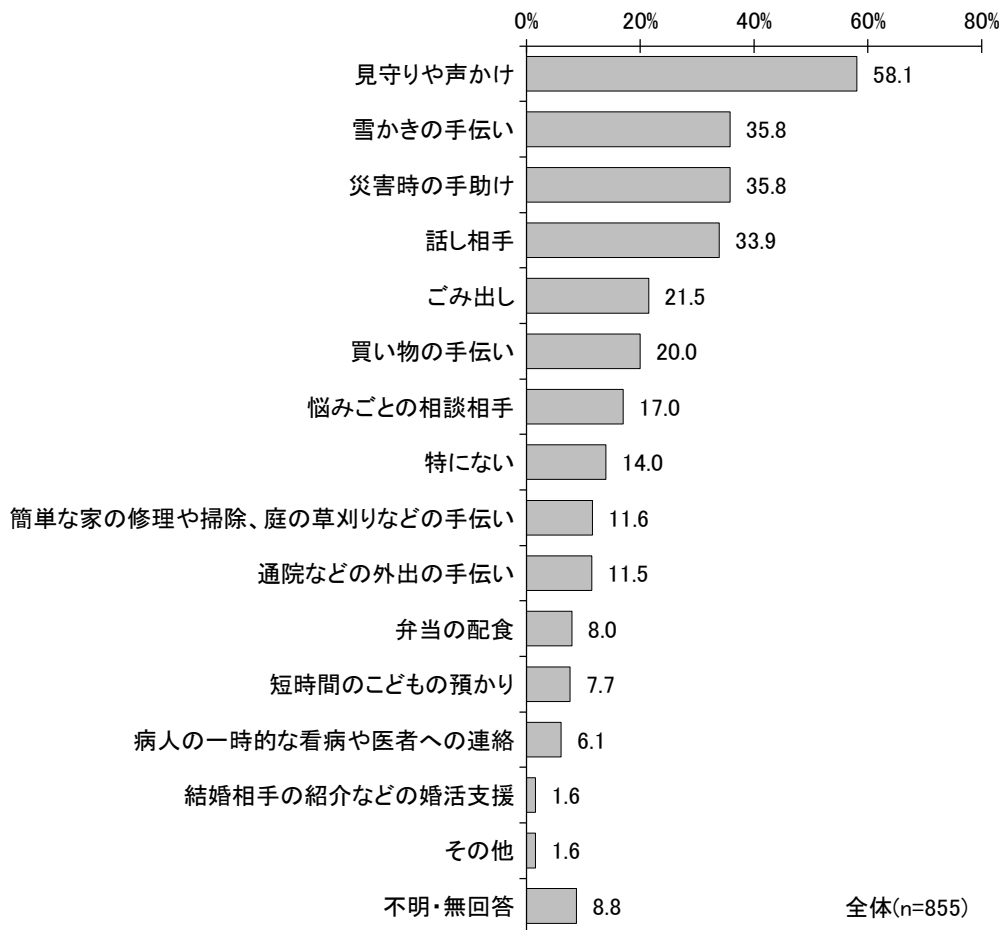
生活圏域別では、いずれの圏域でも「できる範囲で支援したい」がそれぞれ3割以上と、それぞれ最も高くなっています。





問 25① 隣近所に困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。  
<複数回答>

全体で「見守りや声かけ」が58.1%と最も高く、次いで「雪かきの手伝い」「災害時の手助け」がそれぞれ35.8%となっています。



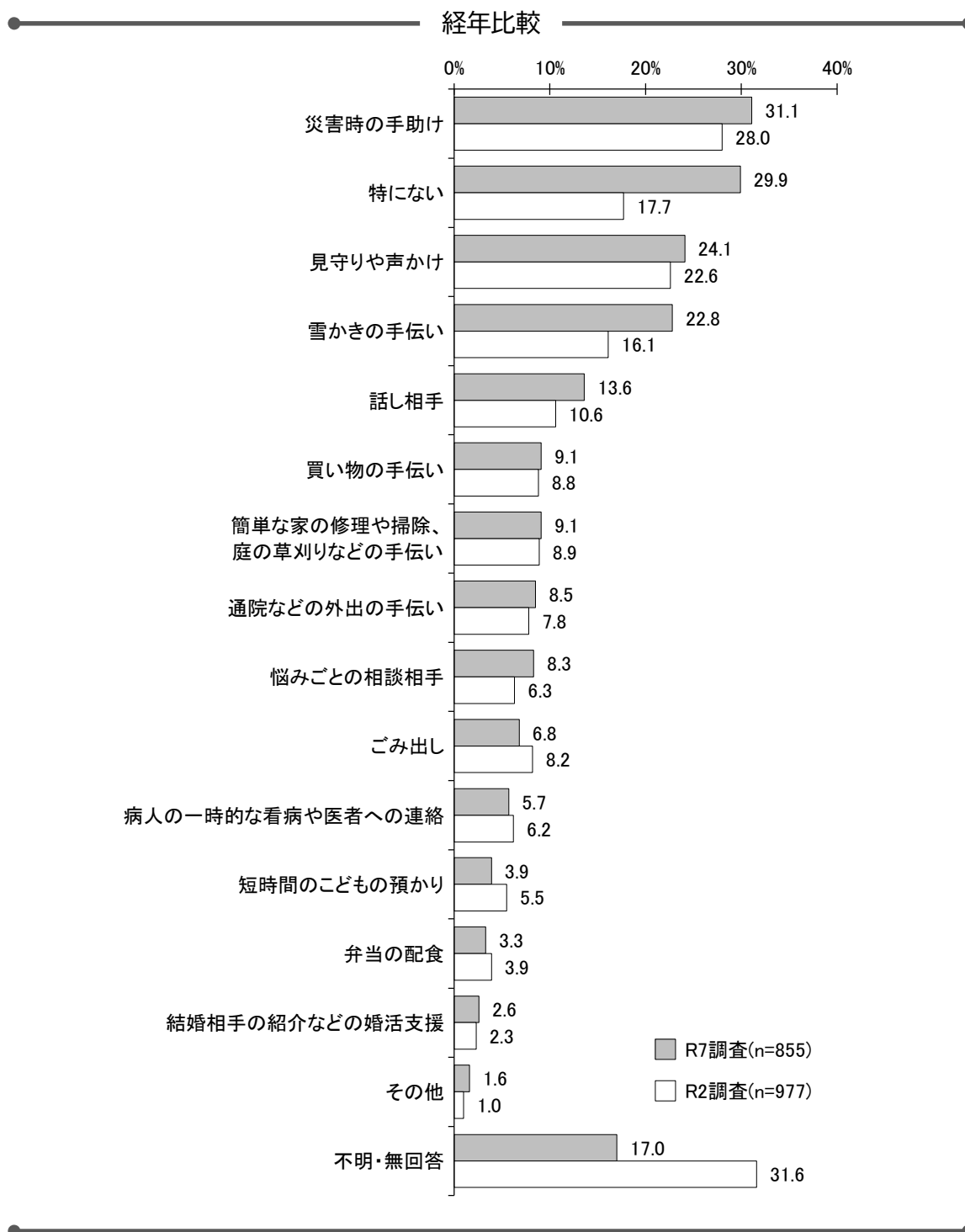
生活圏域別では、いずれの圏域でも「見守りや声かけ」が最も高く、新湊中部を除き、それぞれ6割前後となっています。また、「雪かきの手伝い」は大門で44.9%と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位:%	n=	見守りや声かけ	話し相手	悩みごとの相談相手	買い物の手伝い	通院などの外出の手伝い	弁当の配食	短時間のこどもの預かり	病人の一時的な看病や 医者への連絡
【生活圏域別】									
新湊中部	112	48.2	26.8	15.2	16.1	9.8	8.9	8.9	8.0
新湊南部	75	57.3	36.0	18.7	20.0	8.0	9.3	8.0	2.7
新湊東部	103	56.3	33.0	6.8	6.8	4.9	1.9	1.9	1.9
小杉北部・下	160	56.9	30.6	17.5	21.9	11.3	8.1	9.4	6.3
小杉南部	156	55.1	34.0	17.3	21.8	16.7	6.4	5.1	4.5
大門	118	69.5	43.2	24.6	25.4	11.9	9.3	11.9	6.8
大島	115	65.2	35.7	16.5	22.6	13.9	11.3	7.8	9.6
単位:%	n=	婚活支援 結婚相手の紹介などの	庭の草刈りなどの手伝い 簡単な家の修理や掃除、	ごみ出し	雪かきの手伝い	災害時の手助け	その他	特にない	不明・無回答
【生活圏域別】									
新湊中部	112	4.5	7.1	24.1	38.4	37.5	2.7	14.3	16.1
新湊南部	75	1.3	9.3	18.7	28.0	33.3	2.7	16.0	9.3
新湊東部	103	1.0	8.7	16.5	32.0	31.1	1.0	18.4	4.9
小杉北部・下	160	1.3	10.0	19.4	33.8	34.4	2.5	16.3	5.0
小杉南部	156	0.6	14.1	25.6	36.5	35.3	0.6	14.1	11.5
大門	118	0.8	16.9	22.0	44.9	44.1	1.7	9.3	5.9
大島	115	0.9	13.0	24.3	36.5	36.5	0.9	9.6	7.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 25② また、あなたが今後何かで困った場合、隣近所にどのような手助けをしてほしいと思いますか。<複数回答>

全体で「災害時の手助け」が31.1%と最も高く、次いで「特にない」が29.9%となっています。なお、R2 調査と比較すると、「雪かきの手伝い」が6.7ポイント高くなっている一方で、「特にない」が12.2ポイント高くなっています。



生活圏域別では、いずれの圏域でも「災害時の手助け」が上位となっています。また、大島で「雪かきの手伝い」が28.7%と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位:%	n=	見守りや声かけ	話し相手	悩みごとの相談相手	買い物の手伝い	通院などの外出の手伝い	弁当の配食	短時間のこどもの預かり	病人の一次的な看病や 医者への連絡
【生活圏域別】									
新湊中部	112	23.2	16.1	10.7	9.8	9.8	5.4	2.7	10.7
新湊南部	75	20.0	6.7	5.3	8.0	10.7	2.7	0.0	5.3
新湊東部	103	21.4	12.6	5.8	8.7	4.9	1.0	1.0	1.9
小杉北部・下	160	23.1	11.3	8.1	8.1	5.0	3.8	2.5	3.8
小杉南部	156	23.1	10.3	8.3	9.0	10.3	3.2	6.4	6.4
大門	118	31.4	22.0	10.2	10.2	9.3	1.7	4.2	4.2
大島	115	26.1	16.5	8.7	9.6	11.3	5.2	8.7	7.8

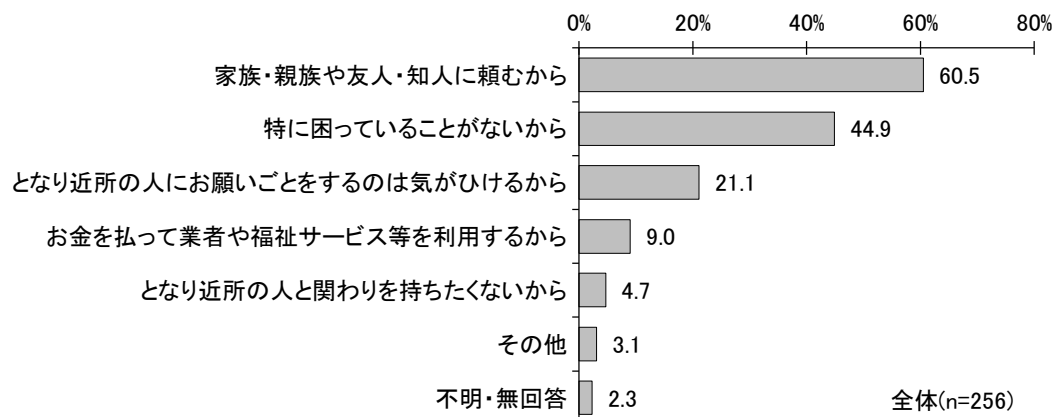
単位:%	n=	婚活支援 結婚相手の紹介などの	庭の草刈りなどの手伝い 簡単な家の修理や掃除、	ごみ出し	雪かきの手伝い	災害時の手助け	その他	特になし	不明・無回答
【生活圏域別】									
新湊中部	112	4.5	9.8	5.4	22.3	27.7	4.5	29.5	20.5
新湊南部	75	2.7	6.7	4.0	14.7	20.0	1.3	38.7	20.0
新湊東部	103	1.0	5.8	3.9	22.3	31.1	0.0	35.0	13.6
小杉北部・下	160	3.1	11.3	9.4	23.8	31.9	1.9	31.9	12.5
小杉南部	156	1.9	7.7	7.1	22.4	34.0	1.3	27.6	17.9
大門	118	3.4	11.0	8.5	23.7	33.1	0.8	25.4	16.1
大島	115	1.7	11.3	7.0	28.7	37.4	1.7	24.3	18.3

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

問 25 で手助けしてほしいことは「15. 特にない」と答えた方

問 26 隣近所の人に手助けや協力してほしいことがない理由は何ですか。＜複数回答＞

全体で「家族・親族や友人・知人に頼むから」が60.5%と最も高く、次いで「特に困っていることがないから」が44.9%となっています。



生活圏域別では、「家族・親族や友人・知人に頼むから」「特に困っていることがないから」が上位となっています。なお、「となり近所の人にお願いごとをするのが気がひけるから」が大門で30.0%、小杉北部・下で27.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位: %	n=	家族・親族や友人・知人に頼むから	となり近所の人にお願いごとをするのが気がひけるから	となり近所の人と関わりを持ちたくないから	お金を払って業者や福祉サービス等を利用するから	特に困っていることがないから	その他	不明・無回答
		【生活圏域別】						
新湊中部	33	63.6	15.2	3.0	6.1	33.3	3.0	0.0
新湊南部	29	62.1	13.8	0.0	13.8	55.2	6.9	0.0
新湊東部	36	61.1	19.4	11.1	13.9	41.7	2.8	2.8
小杉北部・下	51	62.7	27.5	3.9	5.9	54.9	2.0	3.9
小杉南部	43	60.5	20.9	4.7	4.7	34.9	4.7	2.3
大門	30	63.3	30.0	10.0	16.7	43.3	0.0	0.0
大島	28	50.0	14.3	0.0	3.6	57.1	0.0	3.6

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

## 6. 地域福祉にかかわる機関や団体について

### 問 27 民生委員・児童委員の役割を知っていますか。〈単数回答〉

『知っている』 …「よく知っている」と「ある程度知っている」の合算

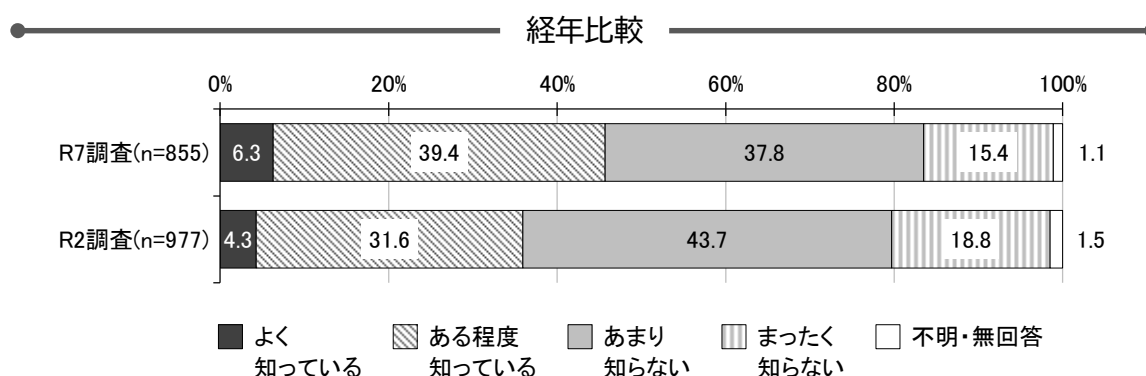
『知らない』 …「あまり知らない」と「まったく知らない」の合算

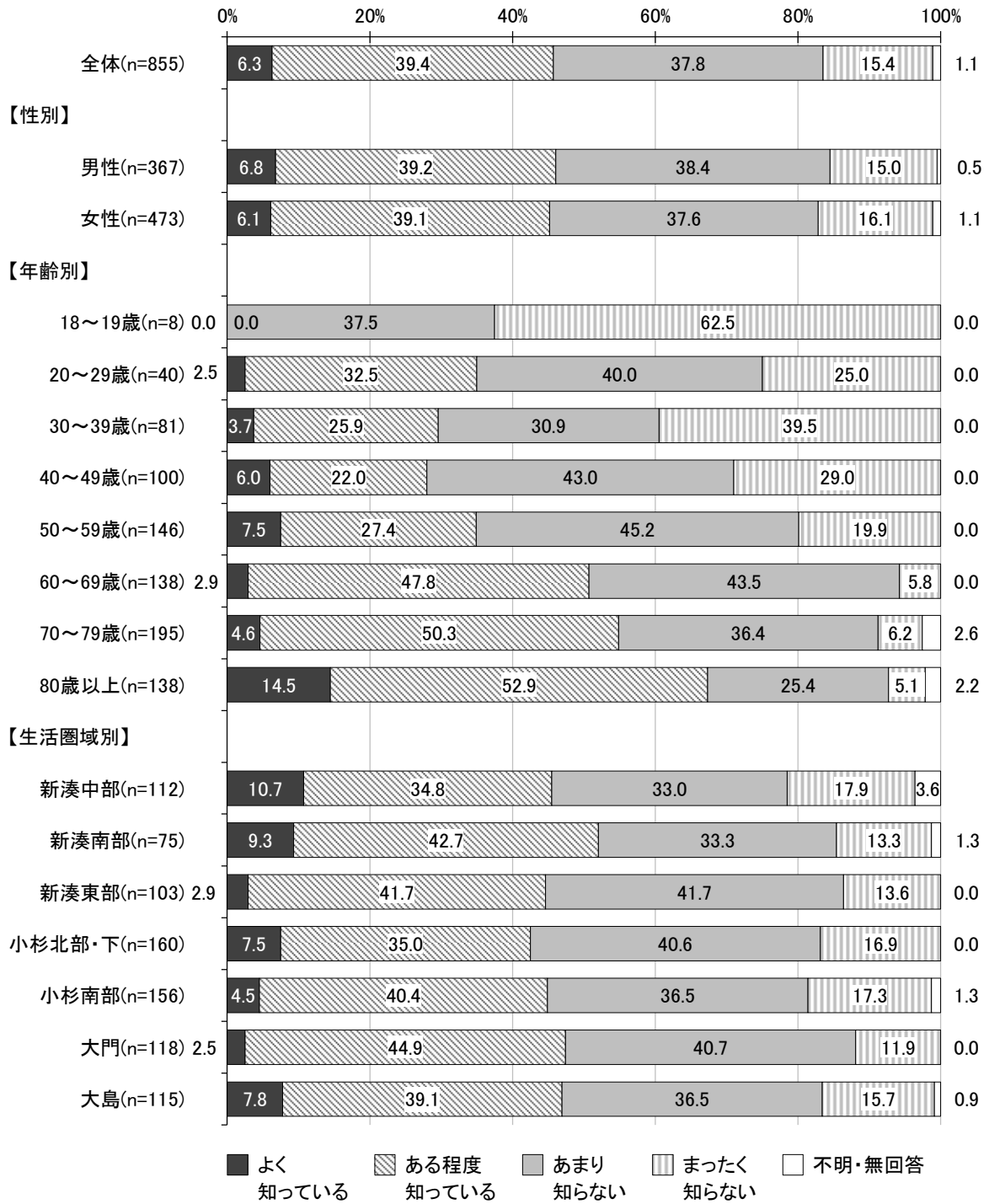
全体で『知っている』が45.7%、『知らない』が53.2%となっています。なお、R2調査と比較すると、『知っている』は9.8ポイント高くなっている一方で、『知らない』は9.3ポイント低くなっています。

性別では、『知っている』が男性で46.0%、女性で45.2%となっています。

年齢別では、『知っている』が60歳以上で5割を超えているものの、20～49歳ではそれぞれ3割前後となっています。なお、30～39歳では「まったく知らない」が39.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、『知っている』が新湊南部で52.0%と他の圏域と比べて高い一方で、小杉北部・下では42.5%と他の圏域と比べて低くなっています。



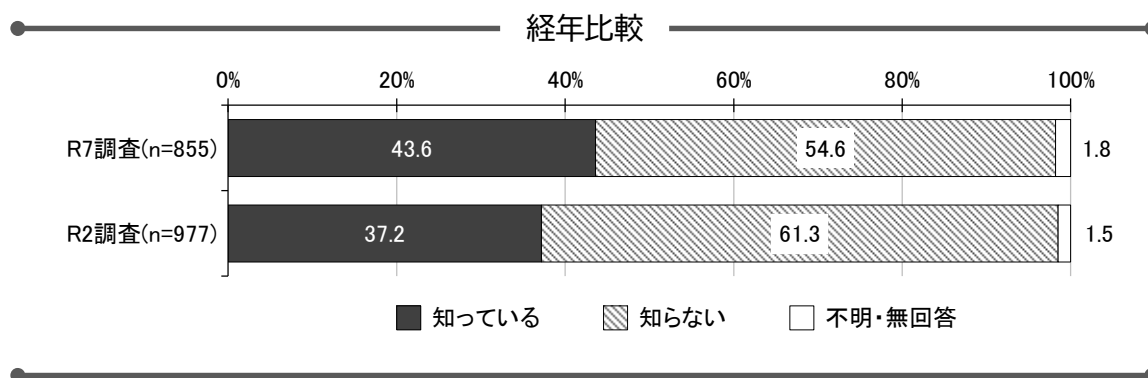


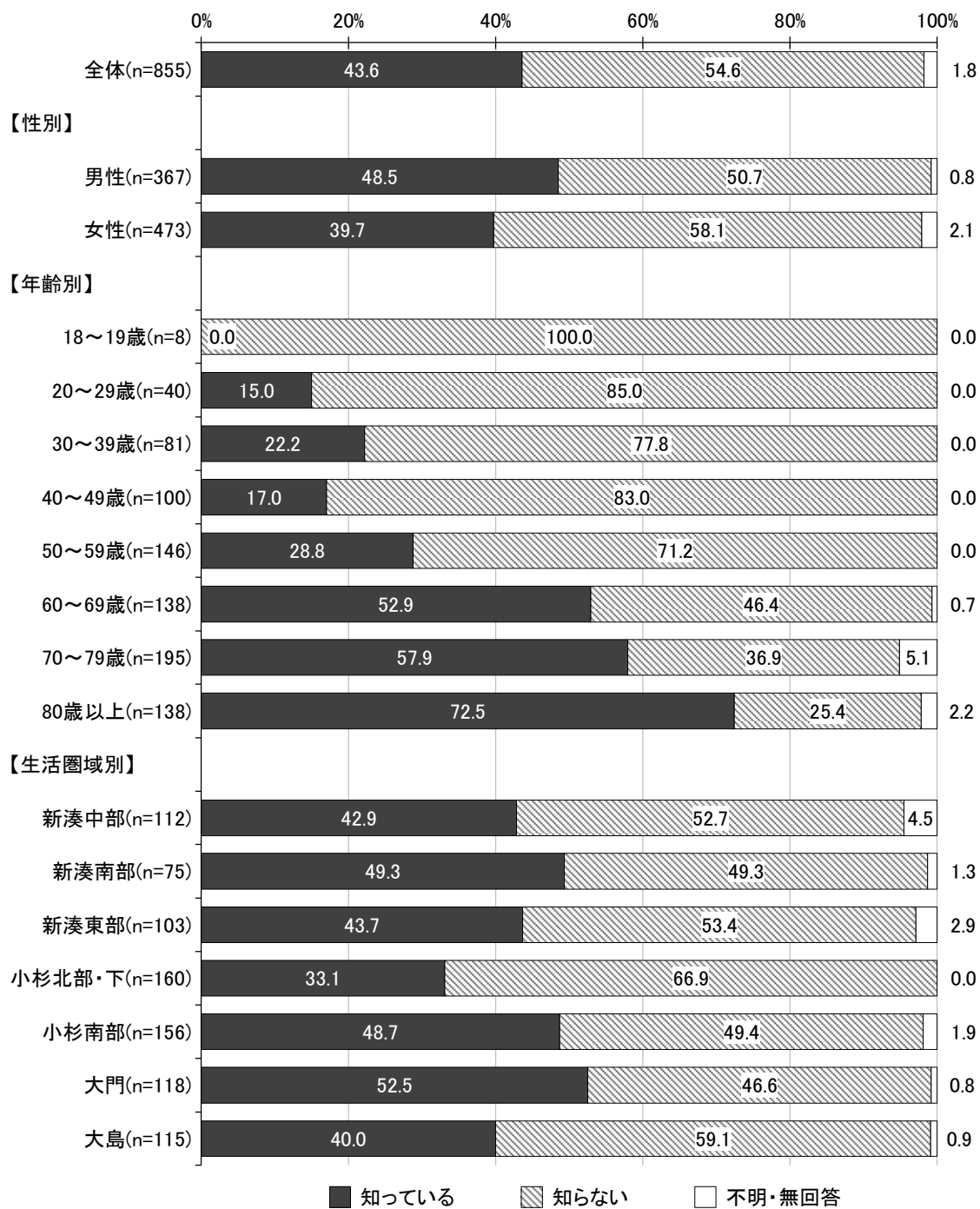
## 問 28 あなたのお住まいの地区の民生委員・児童委員を知っていますか。<単数回答>

全体で「知っている」が43.6%、「知らない」が54.6%となっています。なお、R2調査と比較すると、「知っている」は6.4ポイント高くなっている一方で、「知らない」は6.7ポイント低くなっています。性別では、「知っている」が男性で48.5%、女性で39.7%となっています。

年齢別では、20～59歳で「知っている」がそれぞれ3割以下と他の年代と比べて低く、特に20～29歳及び40～49歳では、それぞれ2割以下と低くなっています。

生活圏域別では、小杉北部・下で「知っている」が33.1%と、他の圏域と比べて低くなっています。





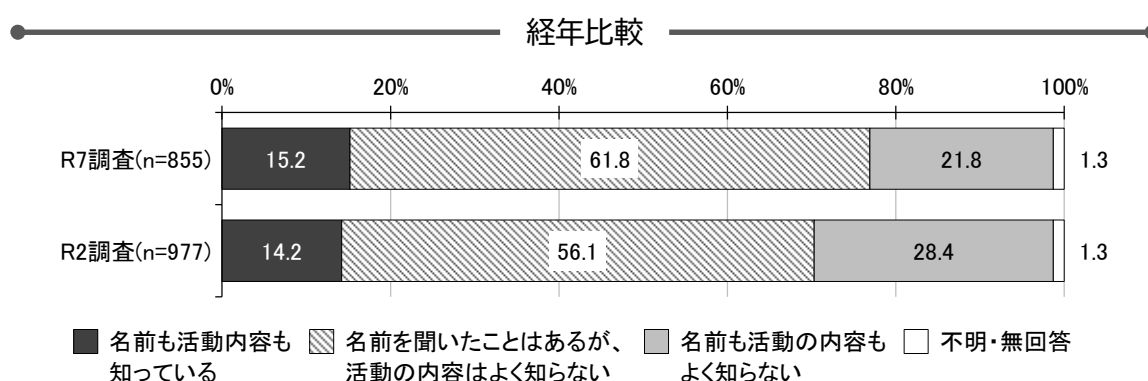
## 問 29 射水市社会福祉協議会を知っていますか。<単数回答>

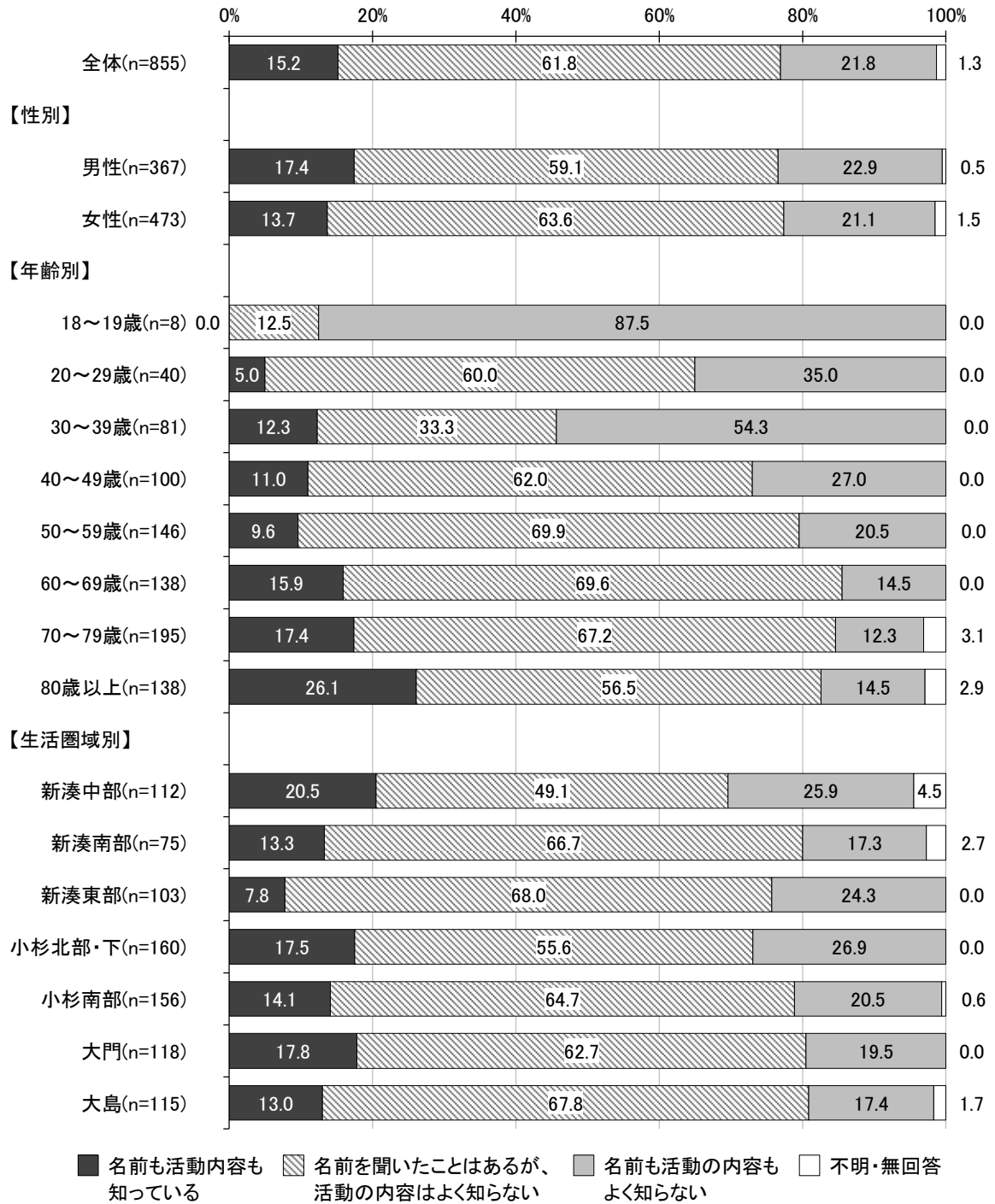
全体で「名前も活動内容も知っている」が15.2%、「名前を聞いたことはあるが、活動の内容はよく知らない」が61.8%、「名前も活動の内容もよく知らない」が21.8%となっています。なお、R2調査と比較すると、「名前も活動内容も知っている」はほぼ同程度である一方で、「名前も活動の内容もよく知らない」は6.6ポイント低くなっています。

性別では、「名前も活動内容も知っている」が男性で17.4%、女性で13.7%となっています。

年齢別では、「名前も活動内容も知っている」は80歳以上で26.1%と最も高い一方で、「名前も活動の内容もよく知らない」は30～39歳で54.3%と最も高くなっています。

生活圏域別では、「名前も活動の内容もよく知らない」が小杉北部・下、新湊中部及び新湊東部でそれぞれ25%前後と、他の圏域と比べて高くなっています。





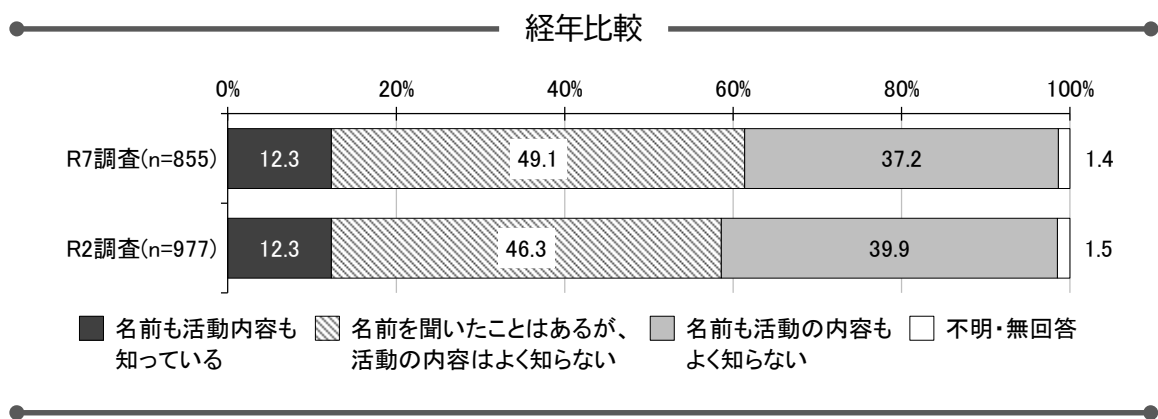
問 30 あなたのお住まいの地区社会福祉協議会を知っていますか。<単数回答>

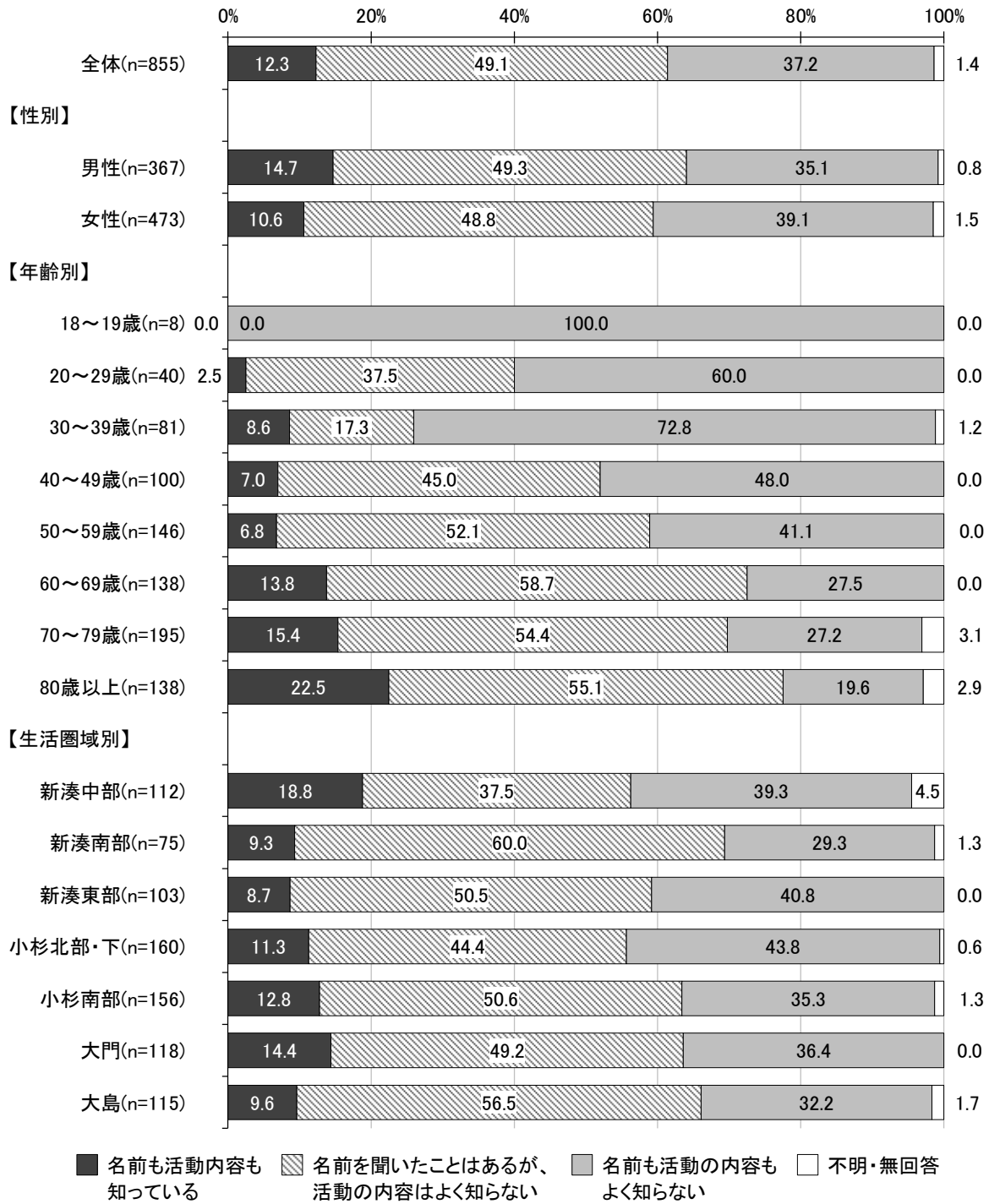
全体で「名前も活動内容も知っている」が12.3%、「名前を聞いたことはあるが、活動の内容はよく知らない」が49.1%、「名前も活動の内容もよく知らない」が37.2%となっています。なお、R2調査と比較すると、「名前も活動内容も知っている」は同程度であり、「名前も活動の内容もよく知らない」も2.7ポイント低くなっているにとどまっています。

性別では、「名前も活動内容も知っている」が男性で14.7%、女性で10.6%となっています。

年齢別では、「名前も活動内容も知っている」は80歳以上で22.5%と最も高い一方で、「名前も活動の内容もよく知らない」は30～39歳で72.8%と最も高くなっています。

生活圏域別では、「名前も活動の内容もよく知らない」が小杉北部・下、新湊東部及び新湊中部でそれぞれ4割前後と、他の圏域と比べて高くなっています。なお、いずれの圏域でも「名前も活動内容も知っている」は、それぞれ2割未満となっています。





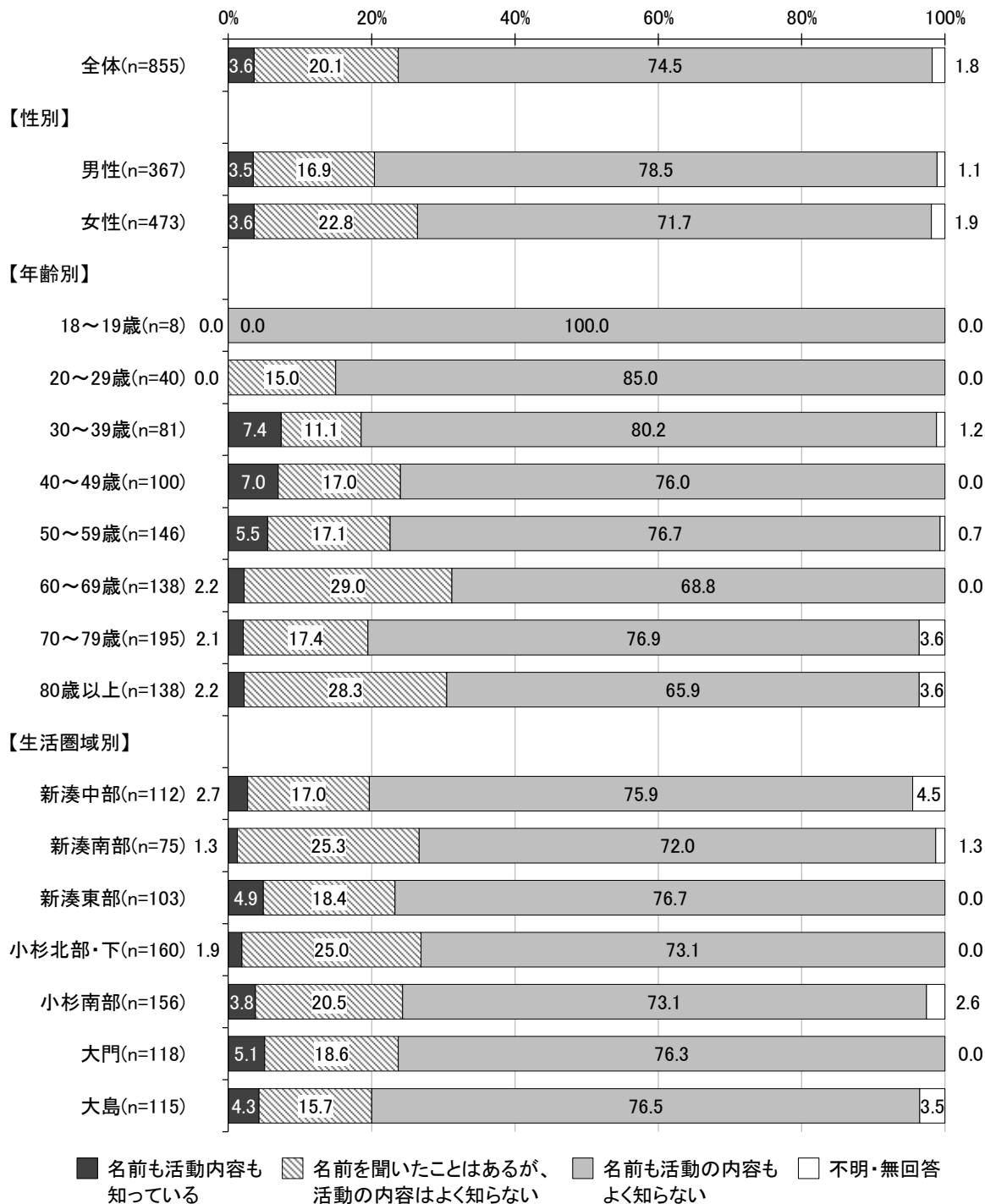
問 31 射水市心くし総合相談センター「すてっぴ」を知っていますか。<単数回答>

全体で「名前も活動内容も知っている」が3.6%、「名前を聞いたことはあるが、活動の内容はよく知らない」が20.1%、「名前も活動の内容もよく知らない」が74.5%となっています。

性別では、「名前も活動内容も知っている」が男性で3.5%、女性で3.6%となっています。

年齢別では、「名前も活動内容も知っている」は30～49歳でそれぞれ7%程度で最も高い一方で、「名前も活動の内容もよく知らない」は20～29歳で85.0%と最も高くなっています。

生活圏域別では、いずれの圏域でも「名前も活動の内容もよく知らない」が7割以上と高くなっています。なお、「名前も活動内容も知っている」は、それぞれ1割未満となっています。



## 7. 権利擁護について

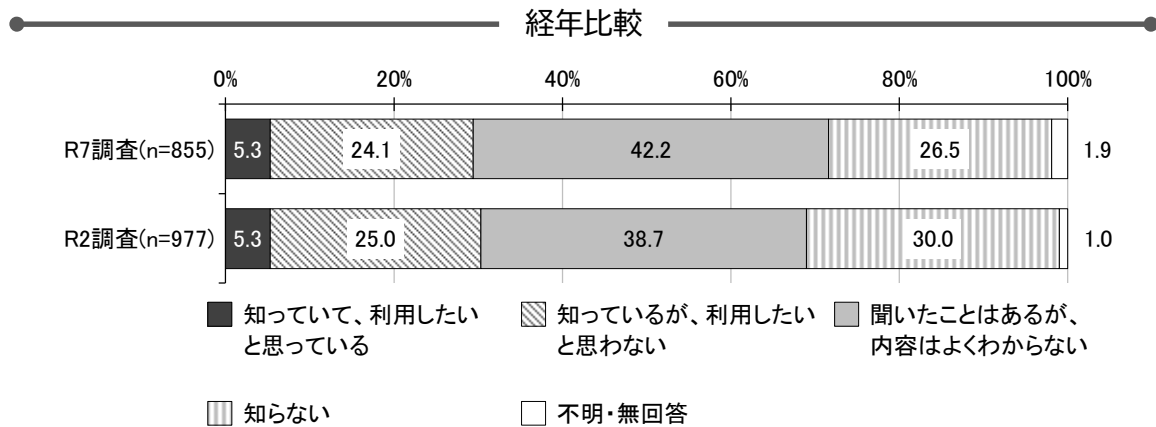
### 問 32 成年後見制度を知っていますか。<単数回答>

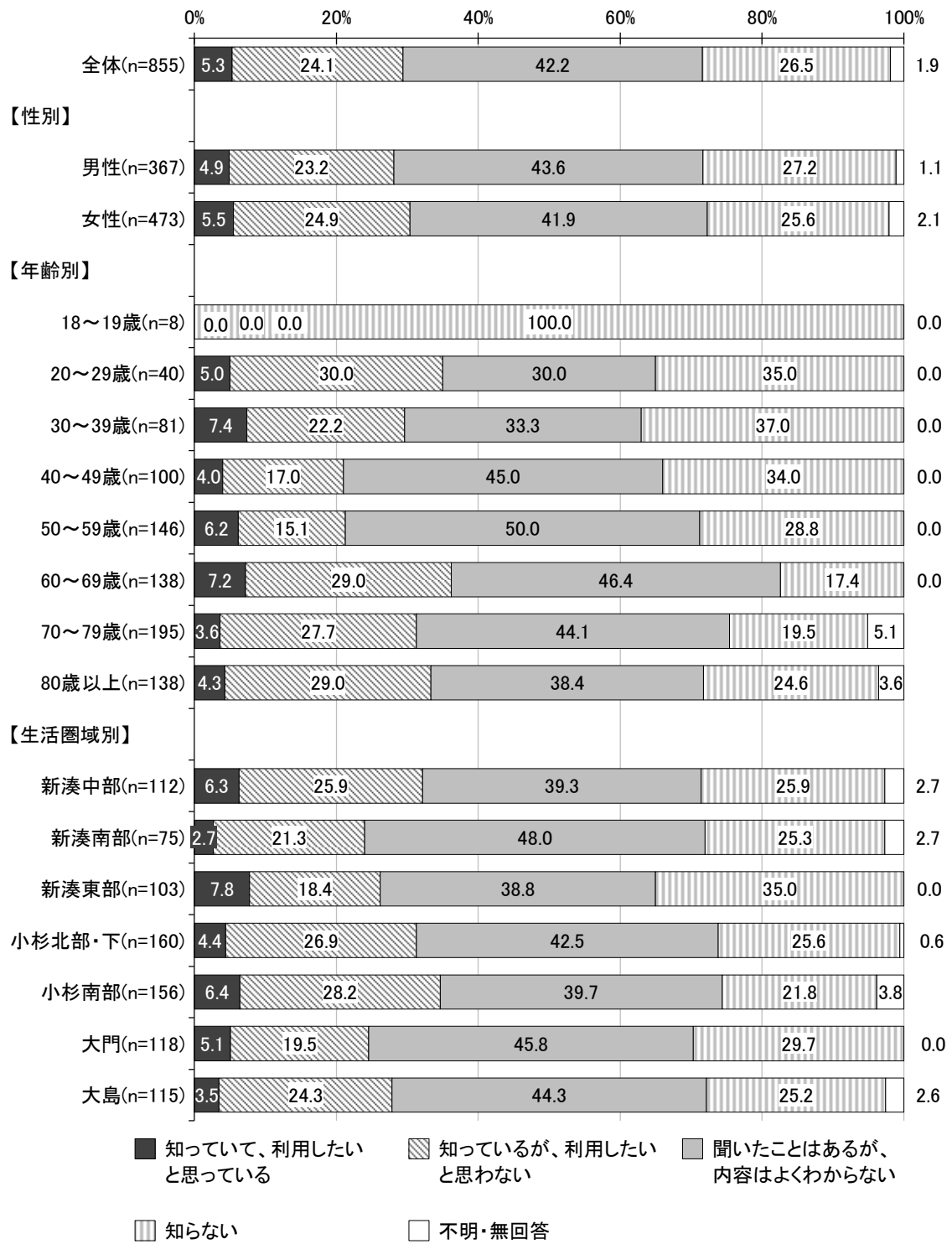
全体で「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が42.2%と最も高く、次いで「知らない」が26.5%となっています。なお、R2調査と比較すると、「知っている、利用したいと思っている」は同程度であり、「知らない」も3.5ポイント低くなっているにとどまっています。

性別では、「知っている、利用したいと思っている」が男性で4.9%、女性で5.5%となっています。

年齢別では、20～39歳で「知らない」が、40歳以上で「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が、それぞれ最も高くなっています。なお、「知っている、利用したいと思っている」は、いずれの年代も1割未満となっています。

生活圏域別では、いずれの圏域でも「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」「知らない」の合計が6割を超えており、特に大門では75.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。

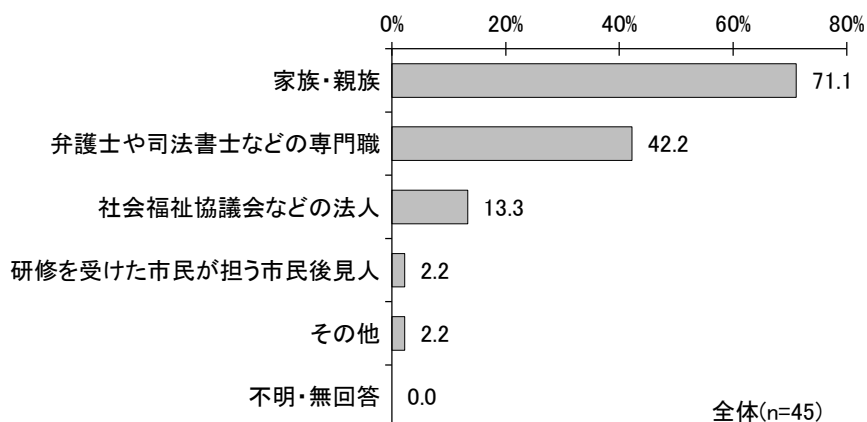




問 32 で「1. 知っていて、利用したいと思っている」と答えた方

問 33 後見人などは誰になってもらいたいですか。<複数回答>

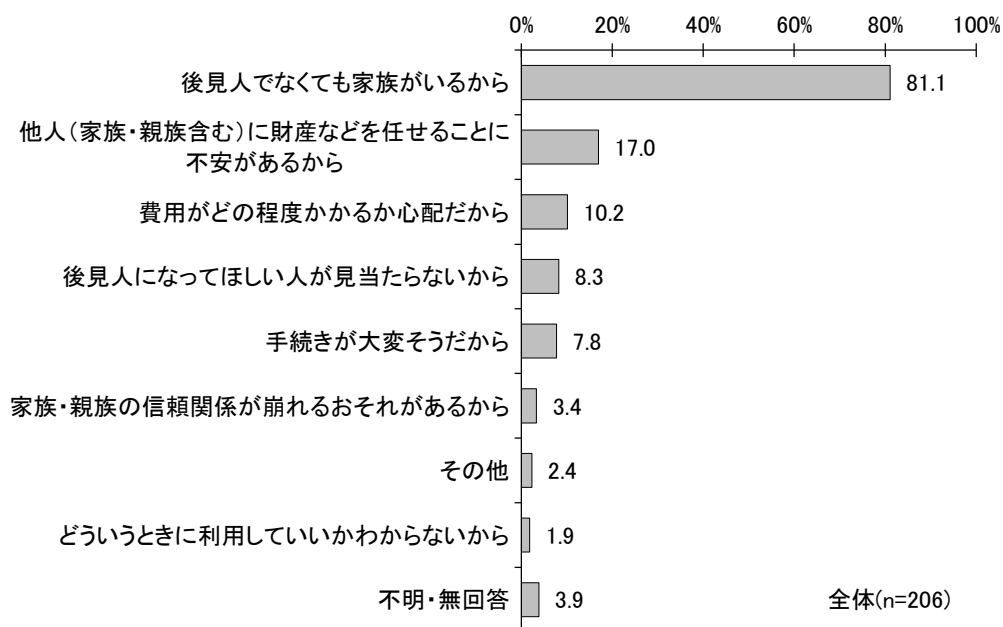
全体で「家族・親族」が71.1%と最も高く、次いで「弁護士や司法書士などの専門職」が42.2%となっています。



問 32 で「2. 知っているが、利用したいと思わない」と答えた方

問 34 その理由を教えてください。<複数回答>

全体で「後見人でなくても家族がいるから」が81.1%と最も高く、次いで「他人（家族・親族含む）に財産などを任せることに不安があるから」が17.0%となっています。



### 問 35 市民後見人になりたいと思いますか。〈単数回答〉

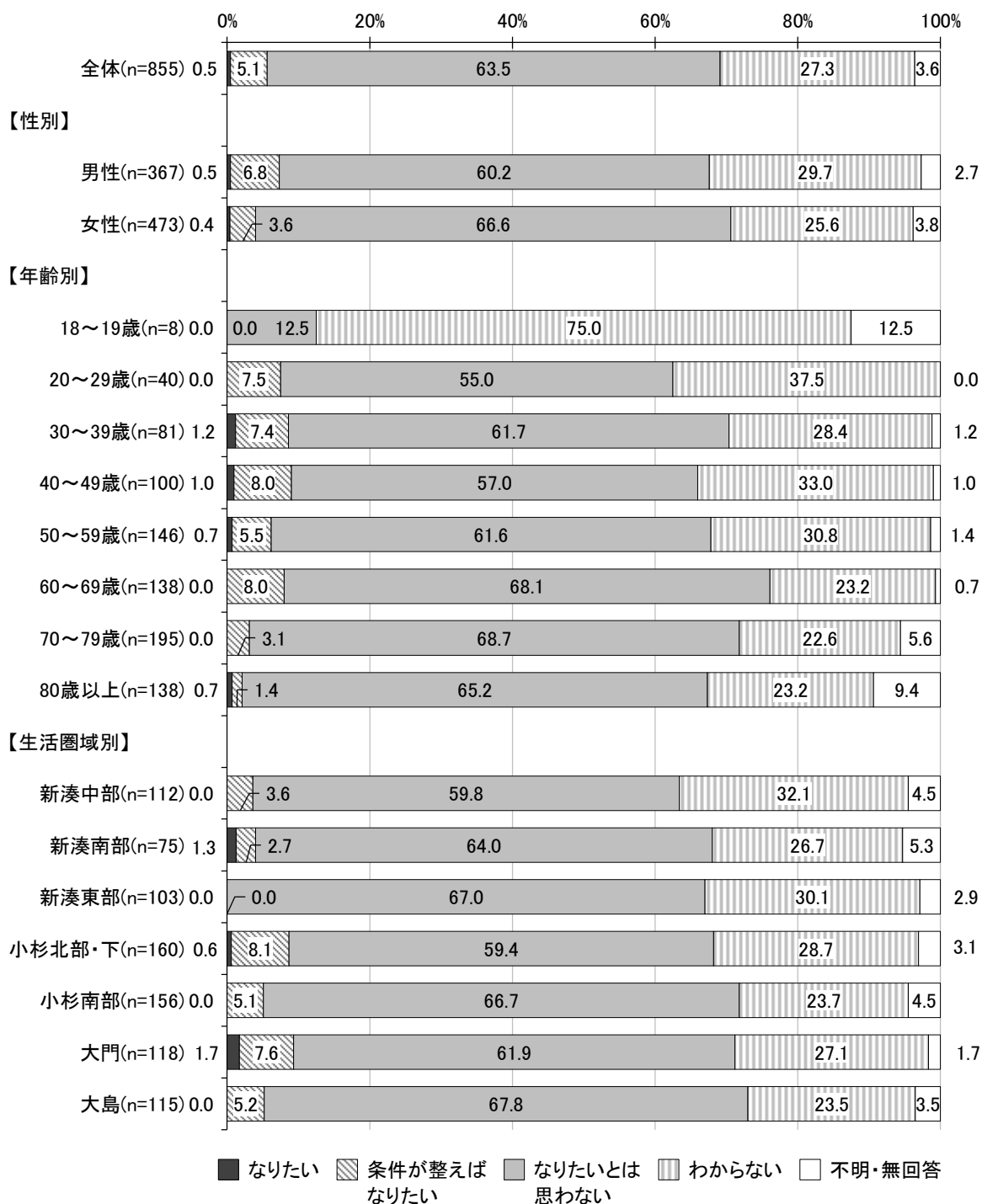
『なりたい』…「なりたい」と「条件を整えばなりたい」の合算

全体で「なりたいとは思わない」が63.5%と最も高く、次いで「わからない」が27.3%となっています。なお、『なりたい』は、5.6%にとどまっています。

性別では、『なりたい』が男性で7.3%、女性で4.0%となっています。

年齢別では、『なりたい』が30～49歳及び60～69歳でそれぞれ8～9%程度となっています。

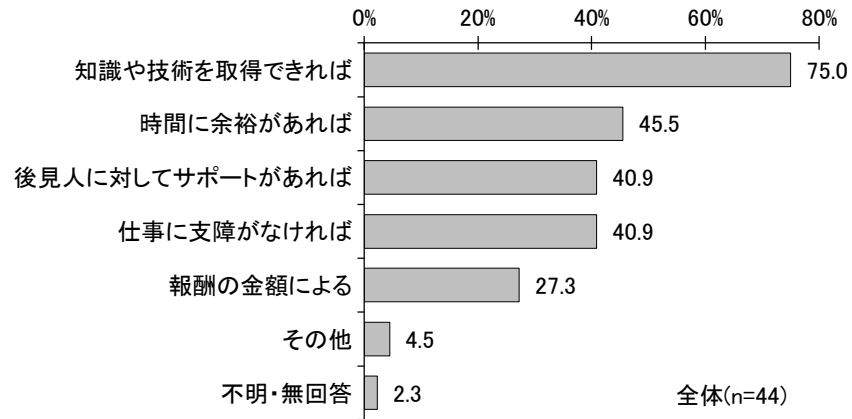
生活圏域別では、『なりたい』がいずれの圏域でも1割未満となっており、最も高い大門で9.3%となっています。



問 35 で「2. 条件を整えたい」と答えた方

問 36 どのような条件を整えたいと思いますか。<複数回答>

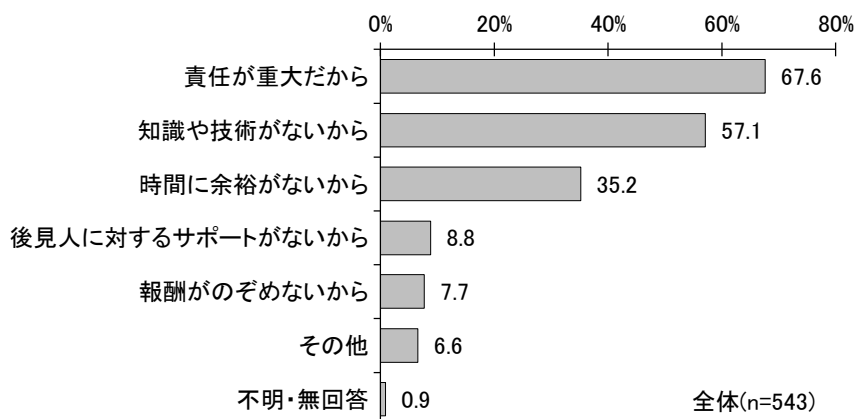
全体で「知識や技術を取得できれば」が75.0%と最も高く、次いで「時間に余裕があれば」が45.5%となっています。



問 35 で「3. なりたいとは思わない」と答えた方

問 37 その理由を教えてください。<複数回答>

全体で「責任が重大だから」が 67.6%と最も高く、次いで「知識や技術がないから」が 57.1%となっています。



性別では、「責任が重大だから」が女性で 72.1%と、男性と比べて 11.0 ポイント高くなっています。

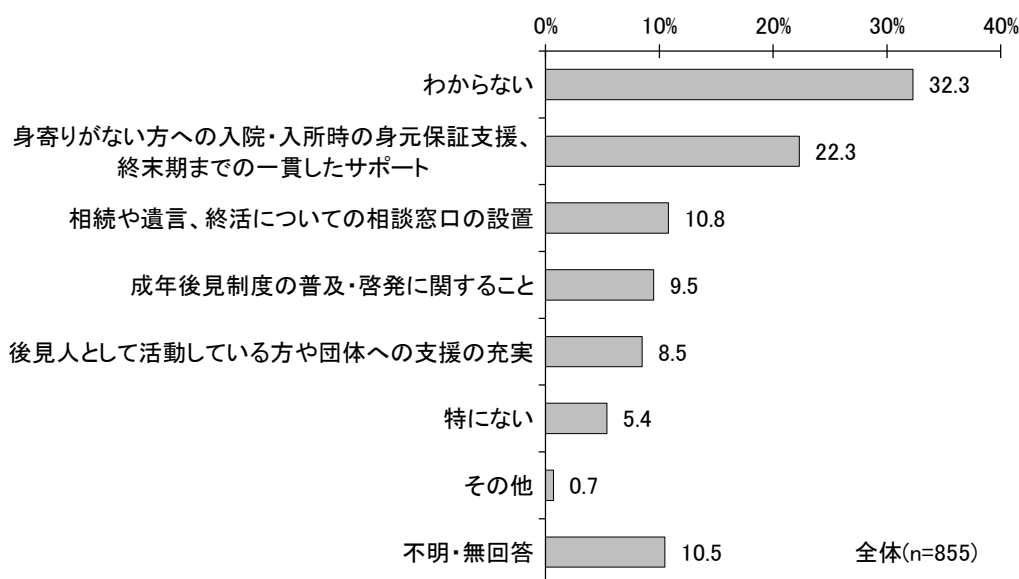
年齢別では、20 歳以上で「責任が重大だから」が上位となっているほか、20～49 歳で「時間に余裕がないから」が、50 歳以上で「知識や技術がないから」が、それぞれ上位となっています。また、20～29 歳では「報酬がのぞめないから」が 31.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

単位: %	n=	責任が重大だから	知識や技術がないから	時間に余裕がないから	後見人に対するサポートがないから	報酬がのぞめないから	その他	不明・無回答
【性別】								
男性	221	61.1	56.6	34.4	7.7	6.8	6.3	0.5
女性	315	72.1	56.8	36.2	9.8	8.6	7.0	1.3
【年齢別】								
18～19 歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29 歳	22	59.1	31.8	50.0	9.1	31.8	0.0	0.0
30～39 歳	50	62.0	44.0	68.0	6.0	20.0	6.0	0.0
40～49 歳	57	75.4	49.1	59.6	8.8	7.0	7.0	0.0
50～59 歳	90	84.4	57.8	56.7	13.3	12.2	4.4	0.0
60～69 歳	94	74.5	47.9	31.9	6.4	7.4	2.1	0.0
70～79 歳	134	63.4	67.2	18.7	6.7	2.2	8.2	3.0
80 歳以上	90	50.0	68.9	5.6	12.2	0.0	13.3	1.1

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第 1 位と第 2 位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が 10 件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

### 問 38 権利擁護支援のために、どのような取組が最も必要だと思いますか。<単数回答>

全体で「わからない」が32.3%と最も高く、次いで「身寄りがない方への入院・入所時の身元保証支援、終末期までの一貫したサポート」が22.3%となっています。



年齢別では、20歳以上で「わからない」「身寄りがない方への入院・入所時の身元保証支援、終末期までの一貫したサポート」がそれぞれ上位となっています。

単位: %	n=	成年後見制度の普及・啓発に関すること	後見人として活動している方や団体への支援の充実	相続や遺言、終活についての相談窓口の設置	身寄りがない方への入院・入所時の身元保証支援、終末期までの一貫したサポート	その他	特にない	わからない	不明・無回答
18～19歳	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0	12.5
20～29歳	40	15.0	12.5	12.5	25.0	0.0	5.0	25.0	5.0
30～39歳	81	12.3	9.9	11.1	17.3	1.2	6.2	32.1	9.9
40～49歳	100	16.0	11.0	2.0	21.0	2.0	5.0	36.0	7.0
50～59歳	146	11.6	10.3	10.3	29.5	0.0	3.4	28.1	6.8
60～69歳	138	7.2	13.8	14.5	25.4	1.4	3.6	29.7	4.3
70～79歳	195	7.2	4.1	13.3	19.5	0.0	5.6	35.9	14.4
80歳以上	138	4.3	3.6	10.9	18.8	0.7	8.7	33.3	19.6

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

## 8. ダブルケアについて

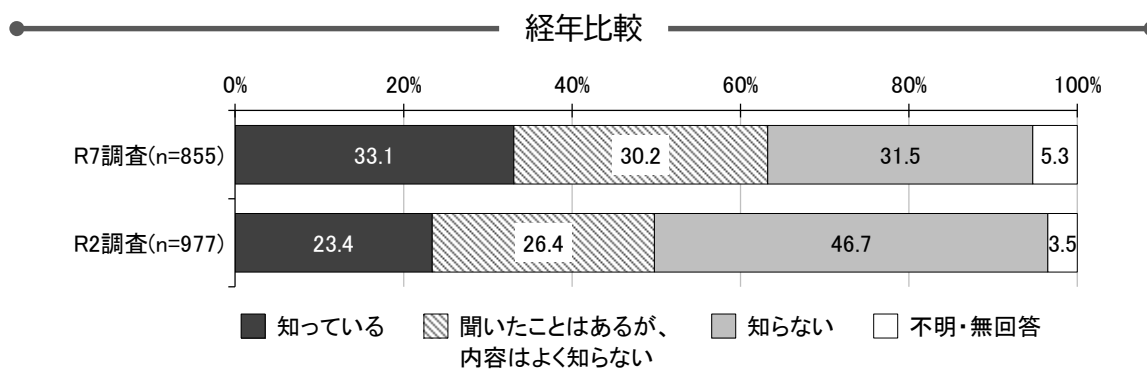
問 39 ダブルケア(子育てと親や親族の介護が同時進行する状態のこと)を知っていますか。  
<単数回答>

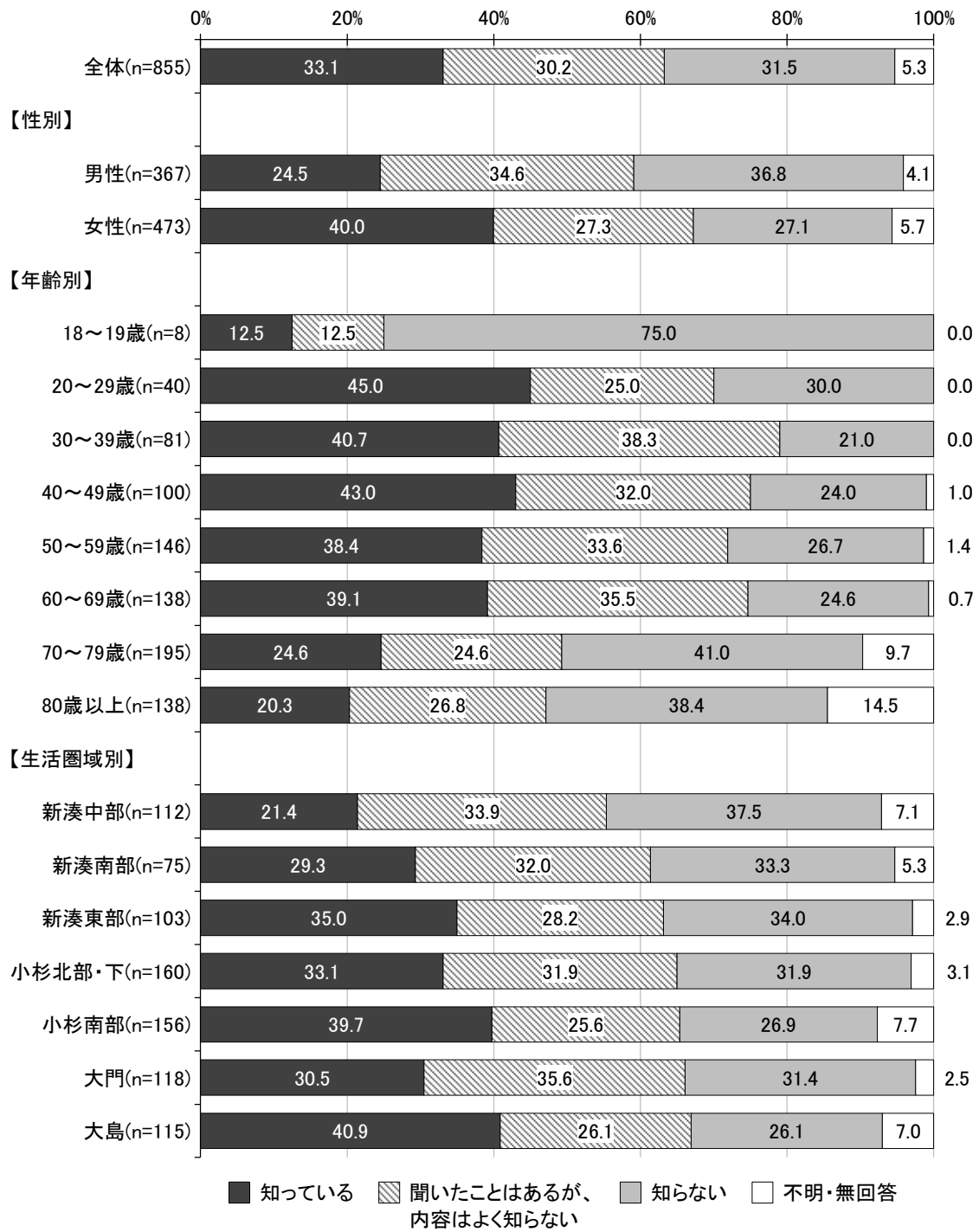
全体で「知っている」が33.1%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が30.2%、「知らない」が31.5%となっています。なお、R2調査と比較すると、「知っている」が9.7ポイント高くなっている一方で、「知らない」は15.2ポイント低くなっています。

性別では、「知っている」が女性で40.0%と、男性と比べて15.5ポイント高くなっています。

年齢別では、20～69歳で「知っている」がそれぞれ4割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、「知らない」が新湊中部で37.5%と、他の圏域と比べて高くなっています。

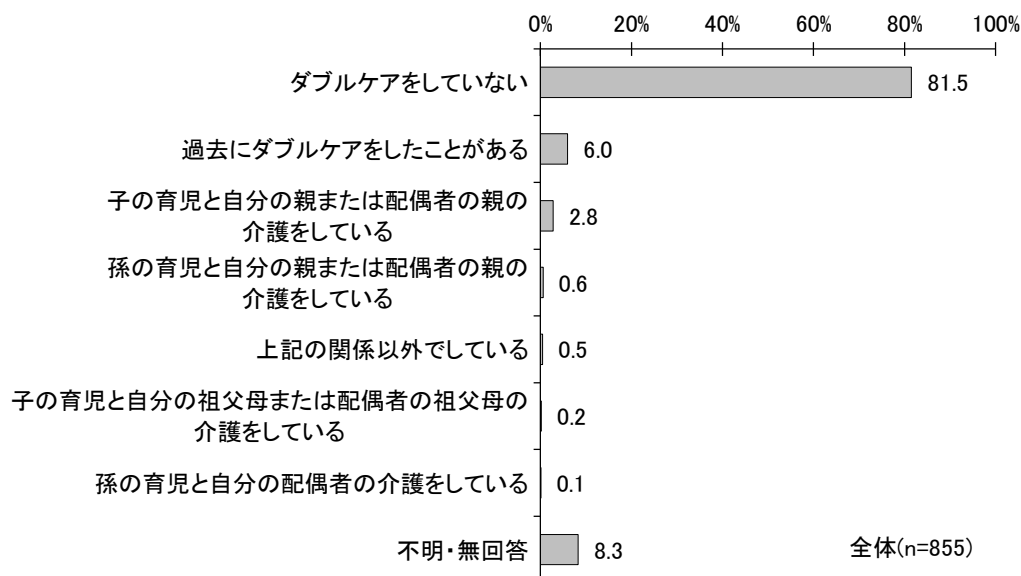




問 40 現在、「ダブルケア」をしていますか。または、過去にしていましたか。<単数回答>

『ダブルケア経験者』 …「ブルケアをしていない」と「不明・無回答」を除いた値。

全体で最も高い「ダブルケアをしていない」(81.5%)を除くと、「過去にダブルケアをしたことがある」が6.0%と高く、次いで「子の育児と自分の親または配偶者の親の介護をしている」が2.8%となっています。なお、『ダブルケア経験者』は10.2%となっています。



性別では、『ダブルケア経験者』が男性で9.0%、女性で11.0%となっています。男女ともに「子の育児と自分の親または配偶者の親の介護をしている」が高く、男性が3.8%、女性が2.1%となっています。

年齢別では、『ダブルケア経験者』が40歳以上でそれぞれ1割程度であり、70～79歳で「過去にダブルケアをしたことがある」が9.2%と高くなっています。また、60～69歳で「孫の育児と自分の親または配偶者の親の介護をしている」が2.9%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、「子の育児と自分の親または配偶者の親の介護をしている」が大門及び新湊東部でそれぞれ5%前後と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位：%	n=	子の育児と自分の親または配偶者の親の介護をしている	子の育児と自分の祖父母または配偶者の祖父母の介護をしている	孫の育児と自分の配偶者の介護をしている	孫の育児と自分の親または配偶者の親の介護をしている	上記の関係以外でしている	過去にダブルケアをしたことがある	ダブルケアをしていない	不明・無回答
<b>【性別】</b>									
男性	367	3.8	0.0	0.0	0.5	0.3	4.4	83.4	7.6
女性	473	2.1	0.4	0.0	0.6	0.6	7.2	80.3	8.7
<b>【年齢別】</b>									
18～19歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20～29歳	40	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	95.0	0.0
30～39歳	81	2.5	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	92.6	2.5
40～49歳	100	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	87.0	4.0
50～59歳	146	4.1	0.0	0.0	0.7	0.7	4.8	87.0	2.7
60～69歳	138	2.2	0.7	0.0	2.9	0.0	5.8	82.6	5.8
70～79歳	195	2.6	0.5	0.0	0.0	0.5	9.2	77.4	9.7
80歳以上	138	2.9	0.0	0.0	0.0	0.7	6.5	65.9	23.9
<b>【生活圏域別】</b>									
新湊中部	112	3.6	0.0	0.0	1.8	0.0	4.5	80.4	9.8
新湊南部	75	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	77.3	14.7
新湊東部	103	4.9	1.0	0.0	0.0	0.0	5.8	80.6	7.8
小杉北部・下	160	1.3	0.0	0.0	0.6	0.6	3.8	88.1	5.6
小杉南部	156	1.9	0.0	0.0	0.6	0.6	8.3	78.8	9.6
大門	118	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	82.2	4.2
大島	115	1.7	0.9	0.0	0.9	1.7	6.1	80.9	7.8

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

## 9. ひきこもりについて

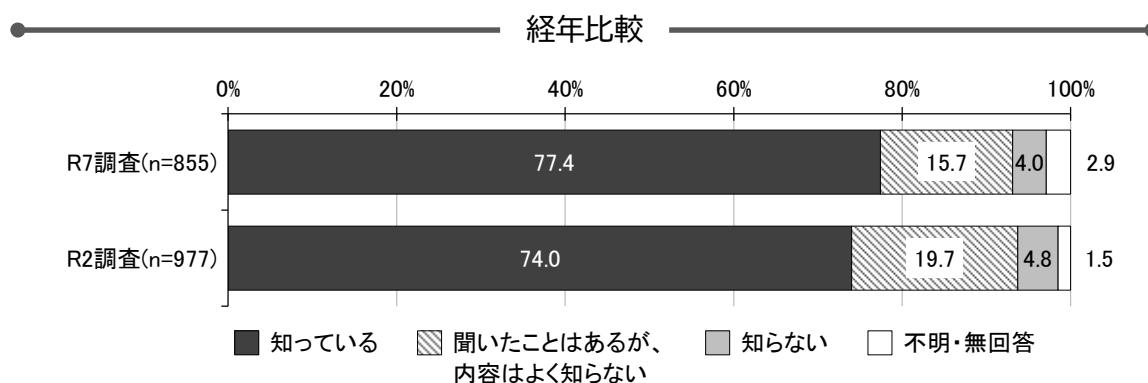
問 41 ひきこもり(学校や仕事に行かず、かつ家族以外の方との交流がなく、6か月以上自宅にとどまっている状態のこと)を知っていますか。<単数回答>

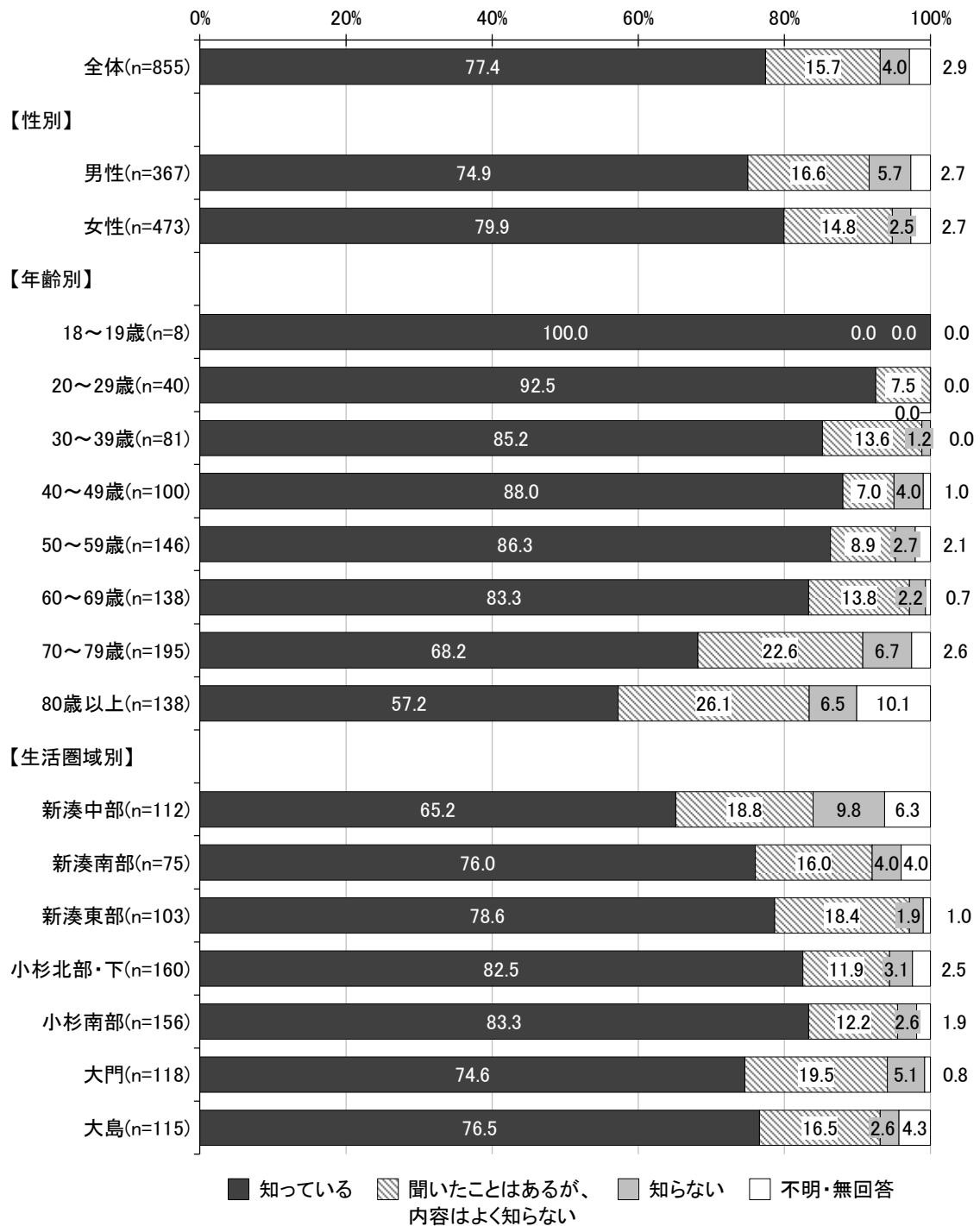
全体で「知っている」が77.4%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が15.7%、「知らない」が4.0%となっています。なお、R2調査と比較すると、「知っている」は3.4ポイント高くなっています。

性別では、「知っている」が男性で74.9%、女性で79.9%となっています。

年齢別では、70歳以上で「知っている」がそれぞれ7割未満と、他の年代と比べて低くなっています。

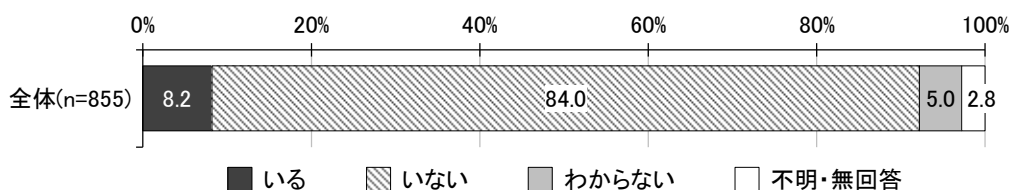
生活圏域別では、「知っている」が新湊中部で65.2%と、他の圏域と比べて低くなっています。





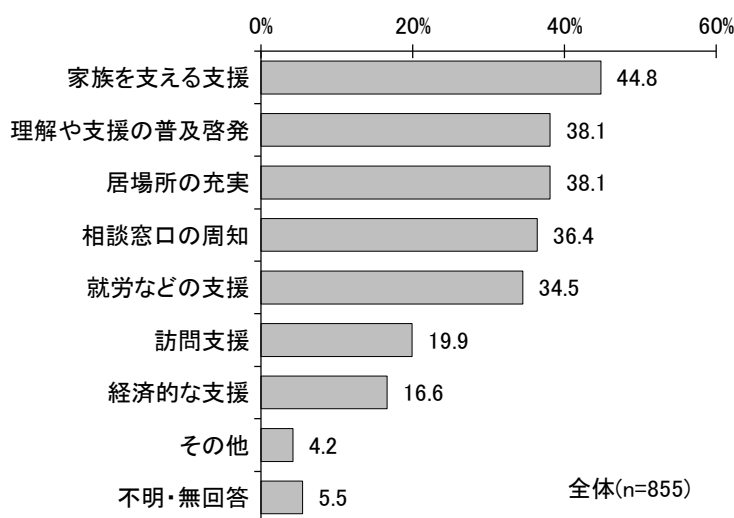
問 42 家族(あなたを含む)や親類にひきこもりと思われる方はいますか。<単数回答>

全体で「いる」が8.2%、「いない」が84.0%、「わからない」が5.0%となっています。



### 問 43 ひきこもりの方にどのような支援が必要だと思いますか。<複数回答>

全体で「家族を支える支援」が44.8%と最も高く、次いで「理解や支援の普及啓発」「居場所の充実」がそれぞれ38.1%となっています。



性別では、いずれも「家族を支える支援」が最も高く、女性は51.8%と、男性と比べて14.7ポイント高くなっています。

年齢別では、20～29歳で「就労などの支援」「家族を支える支援」が、30～69歳で「家族を支える支援」「居場所の充実」が、70歳以上で「相談窓口の周知」「理解や支援の普及啓発」が、それぞれ上位となっています。このうち、20～29歳の「就労などの支援」、20～69歳の「家族を支える支援」、40～49歳の「居場所の充実」はそれぞれ5割以上と高くなっています。

単位: %	n=	相談窓口の周知	理解や支援の普及啓発	就労などの支援	経済的な支援	家族を支える支援	訪問支援	居場所の充実	その他	不明・無回答
【性別】										
男性	367	36.8	36.2	34.3	15.8	37.1	20.7	34.6	4.9	5.4
女性	473	36.4	40.2	34.7	17.5	51.8	19.7	41.2	3.4	5.1
【年齢別】										
18～19歳	8	12.5	25.0	50.0	25.0	12.5	25.0	50.0	0.0	0.0
20～29歳	40	37.5	37.5	52.5	32.5	50.0	20.0	40.0	10.0	0.0
30～39歳	81	27.2	40.7	40.7	28.4	55.6	19.8	43.2	3.7	2.5
40～49歳	100	34.0	43.0	40.0	17.0	53.0	24.0	56.0	4.0	2.0
50～59歳	146	39.0	41.8	40.4	17.1	54.1	15.1	47.3	4.1	1.4
60～69歳	138	36.2	37.0	35.5	20.3	50.0	15.2	38.4	2.2	2.2
70～79歳	195	39.5	36.4	29.7	9.7	35.4	20.5	30.8	6.2	9.2
80歳以上	138	37.7	34.1	18.8	10.9	32.6	26.1	22.5	2.9	13.8

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

## 10. 更生保護について

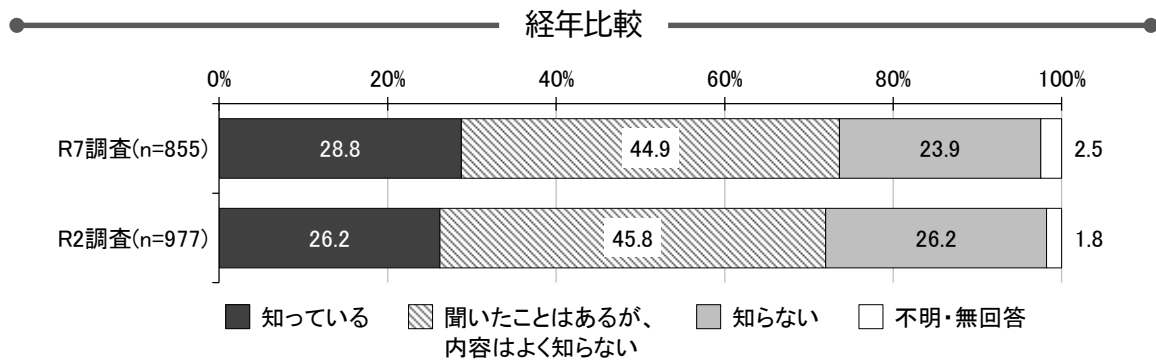
問 44 更生保護(犯罪をした人を実社会の中で健全に更生できるように支援し、再犯の予防を図るための活動のこと)を知っていますか。<単数回答>

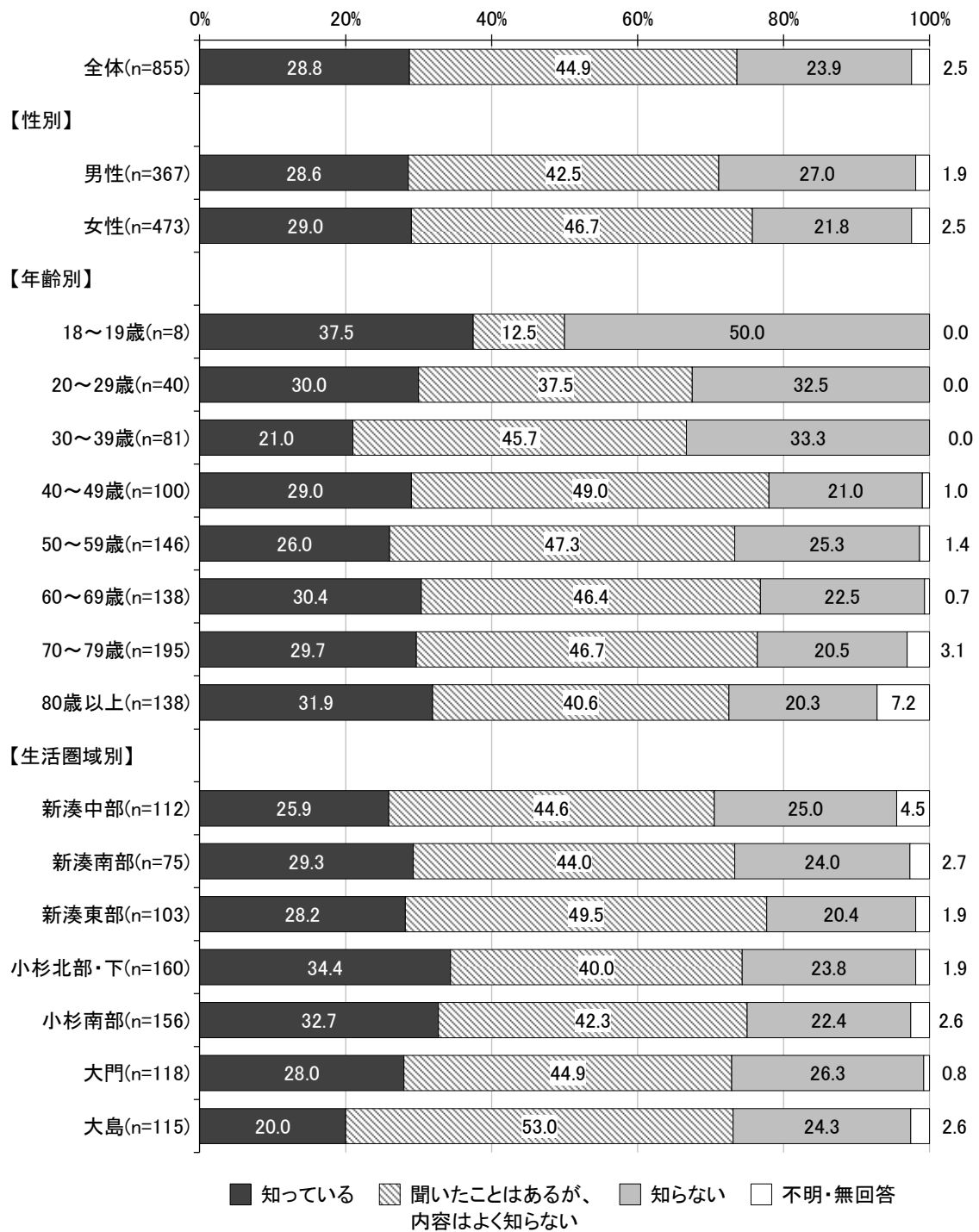
全体で「知っている」が28.8%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が44.9%、「知らない」が23.9%となっています。なお、R2調査と比較すると、「知っている」は2.6ポイント高くなっています。

性別では、「知っている」が男性で28.6%、女性で29.0%となっています。

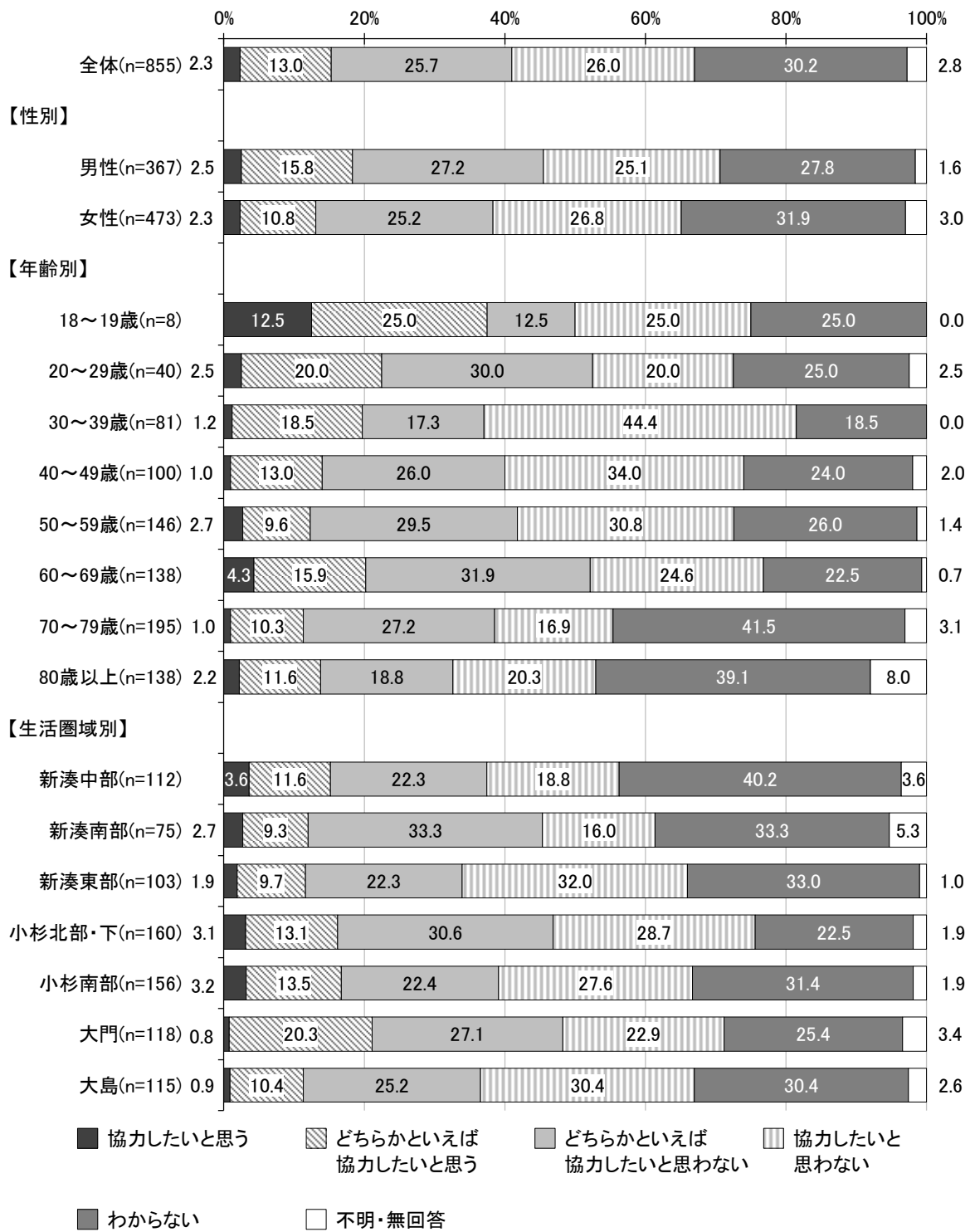
年齢別では、20～39歳で「知らない」がそれぞれ3割強と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、「知っている」が大島で20.0%と、他の圏域と比べて低くなっています。





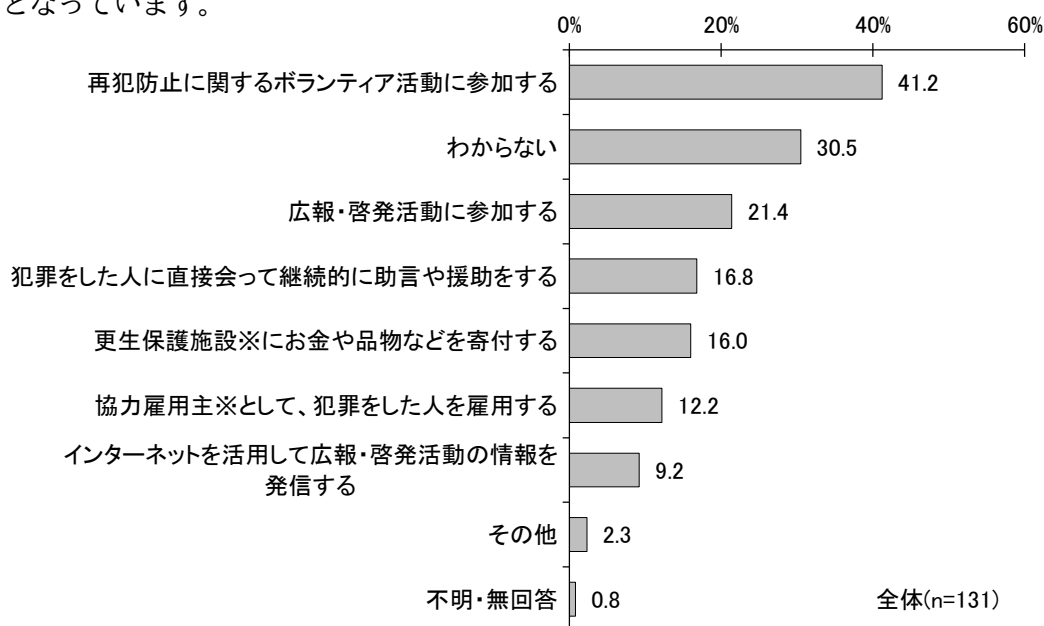




問 45 で「1. 協力したいと思う」または「2. どちらかといえば協力したいと思う」と答えた方

問 46 どのような協力をしたいと思いますか。＜複数回答＞

全体で「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が41.2%と最も高く、次いで「わからない」が30.5%となっています。



※協力雇用主 : 犯罪前歴を承知のうえで雇用に協力する事業主

※更生保護施設 : 出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設

性別では、「広報・啓発活動に参加する」が男性で26.9%と、女性と比べて10.8ポイント高くなっています。

年齢別では、30～39歳及び60～69歳で「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」がそれぞれ50.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

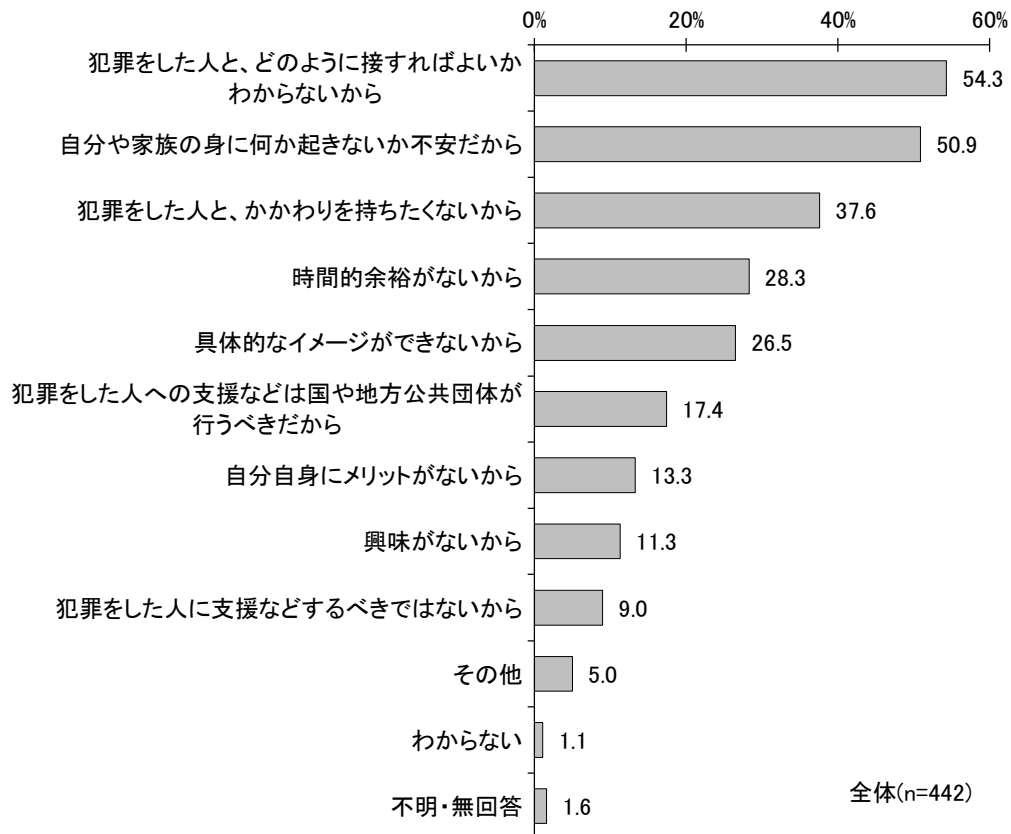
単位: %	n=	援助をする	犯罪をした人に直接会って継続的に助言や	犯罪をした人を雇用する	協力雇用主として、犯罪をした人を雇用する	更生保護施設にお金や品物などを寄付する	再犯防止に関するボランティア活動に参加する	広報・啓発活動に参加する	インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する	わからない	その他	不明・無回答
【性別】												
男性	67	19.4	14.9	16.4	40.3	26.9	13.4	25.4	1.5	1.5		
女性	62	14.5	9.7	16.1	43.5	16.1	4.8	33.9	3.2	0.0		
【年齢別】												
18～19歳	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	9	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	16	18.8	18.8	25.0	50.0	18.8	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0
40～49歳	14	42.9	14.3	14.3	35.7	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳	18	16.7	16.7	22.2	44.4	22.2	16.7	27.8	5.6	0.0	0.0	0.0
60～69歳	28	25.0	14.3	17.9	50.0	17.9	3.6	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳	22	4.5	9.1	4.5	40.9	27.3	4.5	40.9	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	19	5.3	10.5	10.5	31.6	31.6	5.3	21.1	5.3	5.3	0.0	0.0

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

問 45 で「3. どちらかといえば協力したいと思わない」または「4. 協力したいと思わない」と答えた方

問 47 その理由を教えてください。<複数回答>

全体で「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が 54.3%と最も高く、次いで「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が 50.9%となっています。



性別では、女性は「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が男性と比べて高く、それぞれ8.9ポイント、8.6ポイント差となっています。

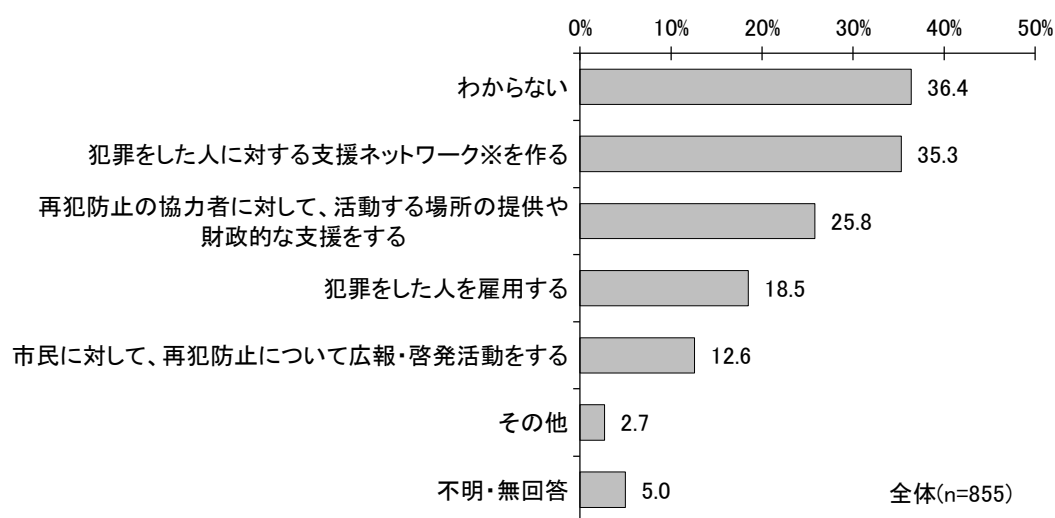
年齢別では、30～49歳で「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」がそれぞれ6割以上、50歳以上で「犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」がそれぞれ6割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

単位:%	n=	自分や家族の身に何か起きないか不安だから	犯罪をした人と、かわりを持ちたくないから	犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	自分自身にメリットがないから	具体的なイメージができないから	時間的余裕がないから	興味がないから	犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから	犯罪をした人に支援などするべきではないから	わからない	その他	不明・無回答
【性別】													
男性	192	46.4	38.5	49.5	13.0	24.5	26.0	14.6	17.7	11.5	1.0	2.6	1.0
女性	246	55.3	37.4	58.1	13.8	28.5	30.5	8.1	17.1	7.3	1.2	6.9	2.0
【年齢別】													
18～19歳	3	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	20	40.0	45.0	35.0	30.0	15.0	25.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	50	64.0	54.0	36.0	32.0	24.0	48.0	22.0	22.0	24.0	0.0	2.0	0.0
40～49歳	60	65.0	40.0	48.3	18.3	28.3	45.0	10.0	6.7	5.0	1.7	3.3	0.0
50～59歳	88	55.7	46.6	59.1	14.8	22.7	39.8	11.4	13.6	10.2	1.1	5.7	0.0
60～69歳	78	44.9	28.2	60.3	9.0	28.2	24.4	10.3	12.8	6.4	0.0	5.1	2.6
70～79歳	86	36.0	30.2	61.6	2.3	31.4	7.0	7.0	29.1	7.0	2.3	8.1	2.3
80歳以上	54	50.0	27.8	59.3	3.7	27.8	14.8	9.3	18.5	5.6	1.9	5.6	5.6

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

## 問 48 再犯防止のために、何をすべきだと思いますか。<複数回答>

全体で「わからない」が36.4%と最も高く、次いで「犯罪をした人に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作る」が35.3%となっています。



※支援ネットワーク：病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成

性別では、男女ともに「わからない」が最も高く、次いで「犯罪をした人に対する支援ネットワークを作る」となっています。

年齢別では、「犯罪をした人に対する支援ネットワークを作る」が40～69歳でそれぞれ4割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

単位: %	n=	犯罪をした人を雇用する	犯罪をした人に対する支援ネットワークを作る	市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする	再犯防止の協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする	わからない	その他	不明・無回答
<b>【性別】</b>								
男性	367	21.5	32.7	13.6	25.6	34.3	3.0	4.9
女性	473	16.3	37.8	11.6	26.0	38.1	2.3	4.9
<b>【年齢別】</b>								
18～19歳	8	12.5	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	12.5
20～29歳	40	17.5	35.0	17.5	22.5	32.5	2.5	0.0
30～39歳	81	28.4	35.8	17.3	23.5	34.6	6.2	1.2
40～49歳	100	21.0	43.0	11.0	34.0	31.0	3.0	1.0
50～59歳	146	17.8	40.4	14.4	26.0	32.9	6.8	2.1
60～69歳	138	18.8	37.0	10.9	24.6	37.7	0.7	2.9
70～79歳	195	16.4	32.3	11.3	25.1	40.5	1.5	6.2
80歳以上	138	14.5	29.0	12.3	24.6	38.4	0.0	13.8

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

## 11. 災害時の備えについて

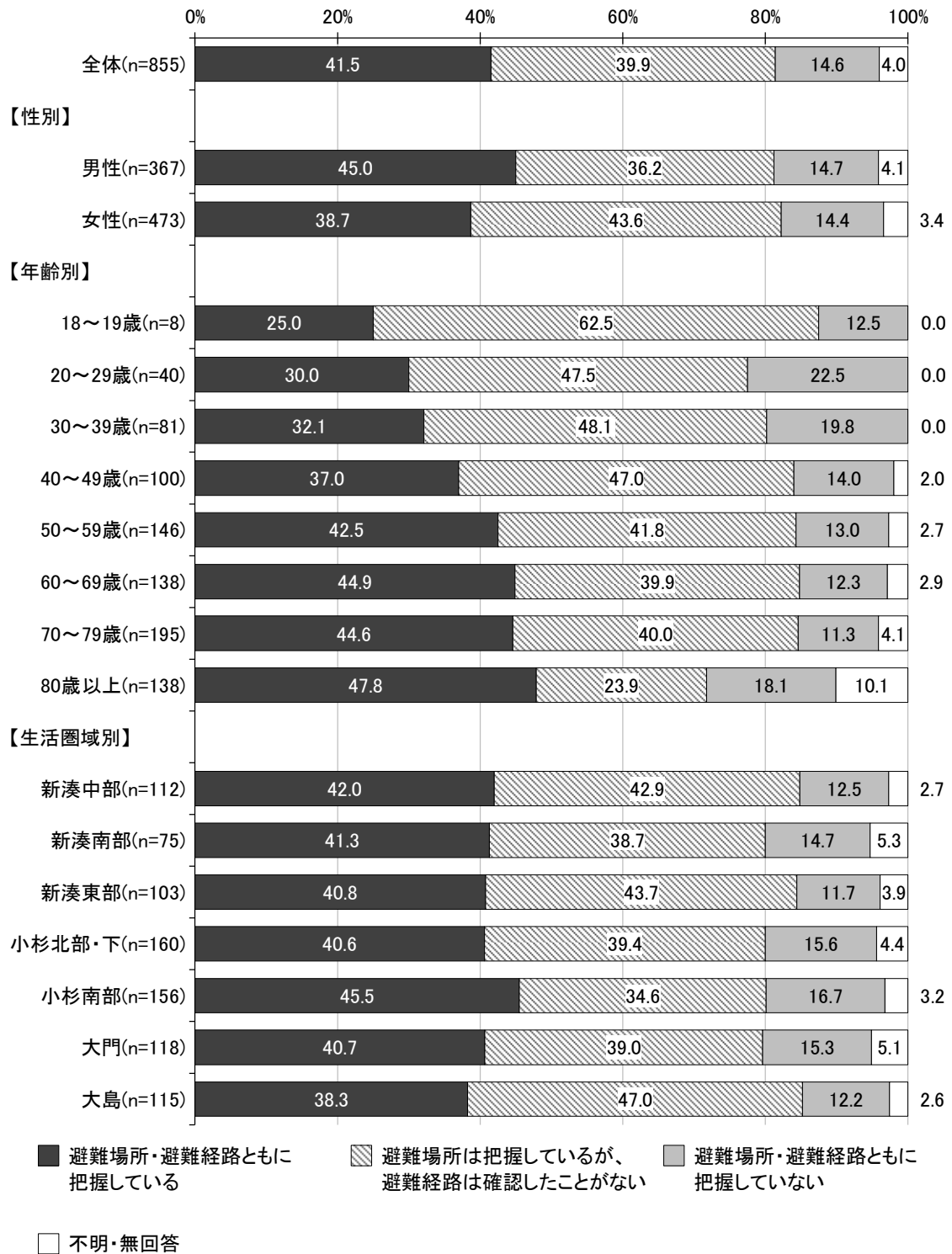
### 問 49 災害時における避難場所・避難経路を把握していますか。<単数回答>

全体で「避難場所・避難経路ともに把握している」が41.5%、「避難場所は把握しているが、避難経路は確認したことがない」が39.9%、「避難場所・避難経路ともに把握していない」が14.6%となっています。

性別では、「避難場所・避難経路ともに把握している」が男性で45.0%、女性で38.7%となっています。

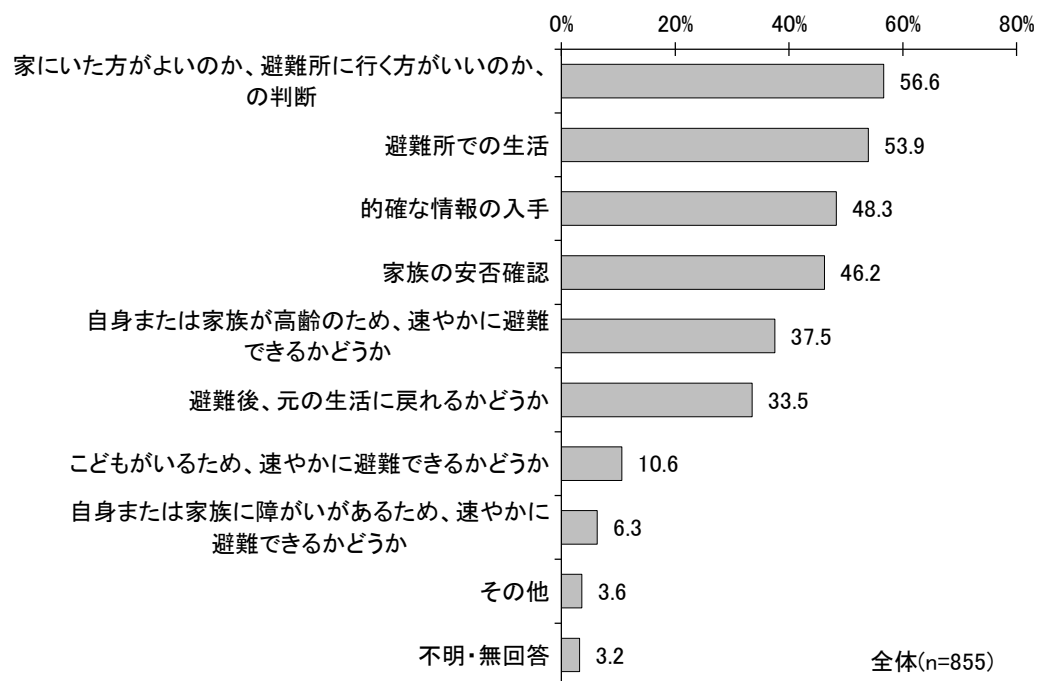
年齢別では、年代があがるにつれ「避難場所・避難経路ともに把握している」が高くなる傾向にありますが、一方で「避難場所・避難経路ともに把握していない」が20歳以上でそれぞれ1～2割程度みられます。

生活圏域別では、「避難場所・避難経路ともに把握している」が大島で38.3%と、他の圏域と比べて低くなっています。なお、小杉南部、小杉北部・下、大門及び新湊南部では、「避難場所・避難経路ともに把握していない」がそれぞれ15%前後となっています。



## 問 50 災害時に不安に感じることは、次のどれですか。<複数回答>

全体で「家にいた方がよいのか、避難所に行く方がいいのか、の判断」が56.6%と最も高く、次いで「避難所での生活」が53.9%となっています。



性別では、「家にいた方がよいのか、避難所に行く方がよいのか、の判断」が女性で62.8%と、男性と比べて12.9ポイント高くなっています。

年齢別では、年代によって様々であり、20～29歳及び60～79歳は「家にいた方がよいのか、避難所に行く方がよいのか、の判断」、30～39歳は「避難所での生活」、40～59歳は「家族の安否確認」、80歳以上は「自身または家族が高齢のため、速やかに避難できるかどうか」が、それぞれ最も高くなっています。

生活圏域別では、小杉南部で「家にいた方がよいのか、避難所に行く方がよいのか、の判断」「避難所での生活」が、新湊中部で「避難所での生活」が、その他の圏域では「家にいた方がよいのか、避難所に行く方がよいのか、の判断」が、それぞれ最も高くなっています。また、いずれの圏域でも「自身または家族が高齢のため、速やかに避難できるかどうか」が3～4割となっています。

単位：%	n=	自身または家族が高齢のため、速やかに避難できるかどうか	子どもがいるため、速やかに避難できるかどうか	自身または家族に障がいがあるため、速やかに避難できるかどうか	家族の安否確認	的確な情報の入手	家にいた方がよいのか、避難所に行く方がよいのか、の判断	避難所での生活	避難後、元の生活に戻れるかどうか	その他	不明・無回答
【性別】											
男性	367	40.9	9.5	6.5	45.0	47.1	49.9	49.9	31.9	3.0	3.3
女性	473	35.3	11.8	6.3	48.0	50.1	62.8	57.3	34.7	4.0	2.3
【年齢別】											
18～19歳	8	12.5	0.0	0.0	62.5	50.0	37.5	75.0	37.5	25.0	0.0
20～29歳	40	20.0	5.0	2.5	62.5	52.5	65.0	52.5	40.0	7.5	0.0
30～39歳	81	12.3	49.4	4.9	51.9	48.1	56.8	58.0	32.1	6.2	1.2
40～49歳	100	25.0	37.0	4.0	69.0	59.0	63.0	65.0	44.0	5.0	1.0
50～59歳	146	32.9	3.4	6.8	64.4	53.4	62.3	55.5	42.5	5.5	2.1
60～69歳	138	31.9	2.9	4.3	35.5	57.2	63.0	53.6	31.2	0.0	2.2
70～79歳	195	45.1	0.5	7.7	35.9	43.1	55.9	52.8	29.7	3.1	3.6
80歳以上	138	68.1	1.4	10.1	26.8	31.9	40.6	43.5	21.7	1.4	7.2
【生活圏域別】											
新湊中部	112	47.3	10.7	8.9	41.1	46.4	53.6	60.7	34.8	2.7	3.6
新湊南部	75	44.0	9.3	5.3	40.0	49.3	56.0	49.3	28.0	6.7	4.0
新湊東部	103	45.6	6.8	9.7	50.5	42.7	55.3	53.4	34.0	6.8	1.0
小杉北部・下	160	31.3	12.5	5.6	46.3	53.8	60.6	58.1	39.4	3.1	4.4
小杉南部	156	33.3	12.2	2.6	48.7	43.6	56.4	56.4	32.7	2.6	1.9
大門	118	30.5	10.2	8.5	53.4	53.4	55.9	47.5	27.1	2.5	2.5
大島	115	37.4	11.3	4.3	44.3	47.0	60.0	49.6	34.8	1.7	2.6

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

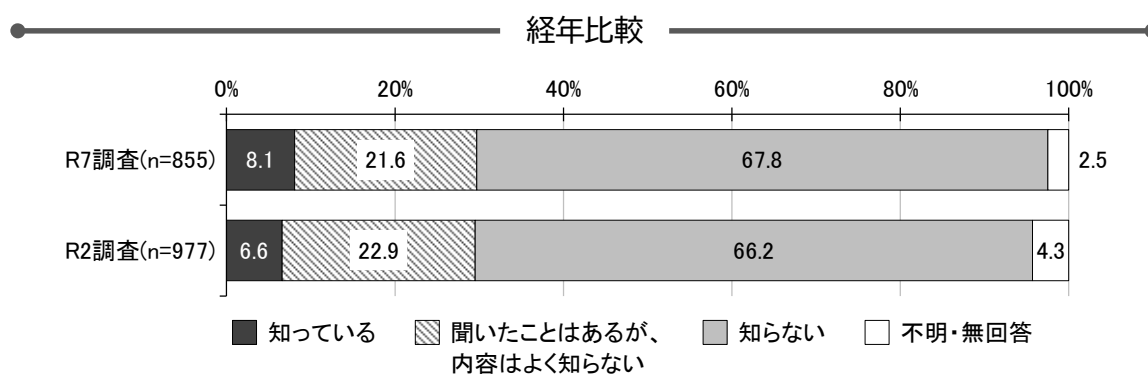
## 問 51 避難行動要支援者支援制度を知っていますか。<単数回答>

全体で「知っている」が8.1%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が21.6%、「知らない」が67.8%となっています。なお、R2 調査と比較すると、いずれの項目も同程度となっています。

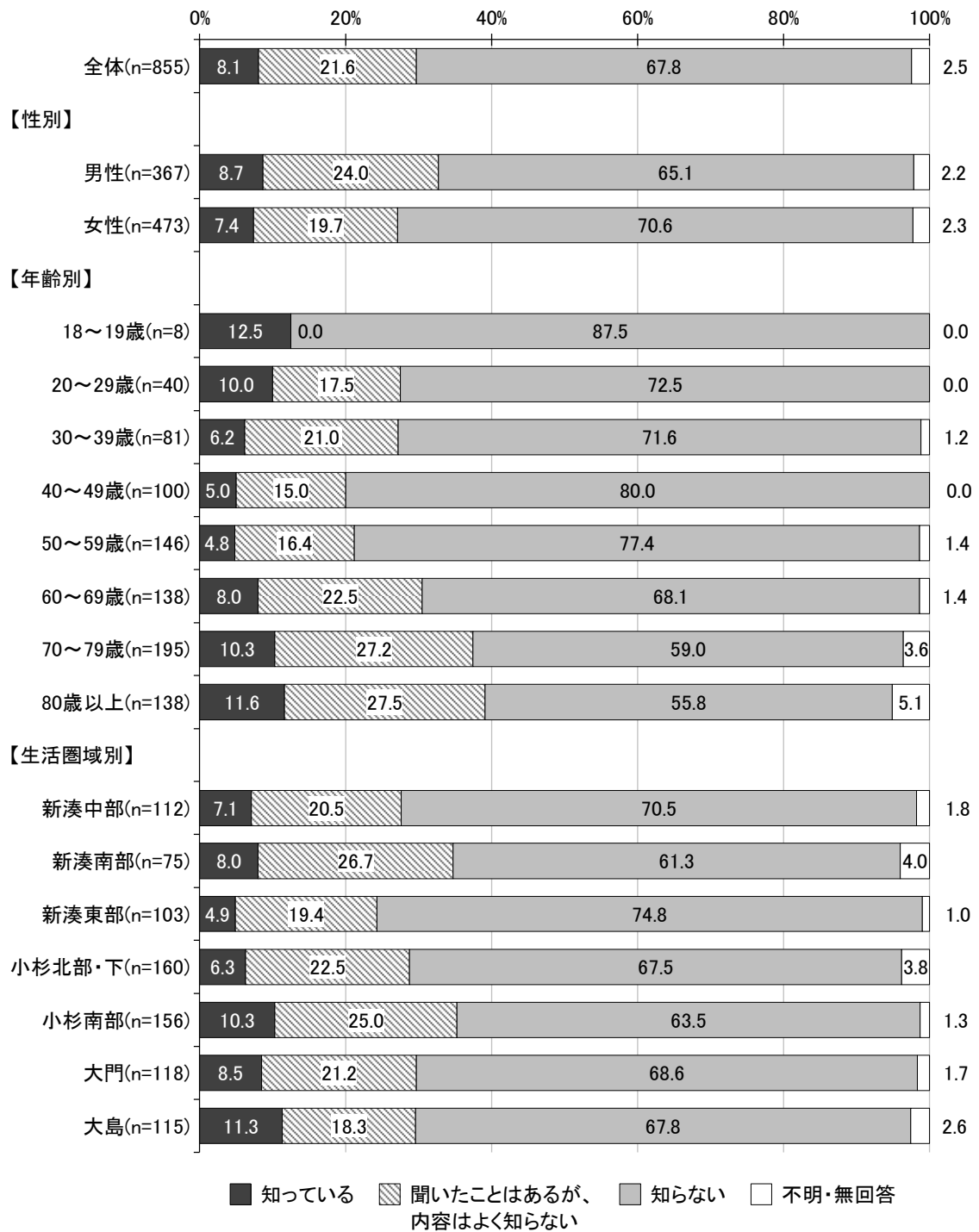
性別では、「知っている」が男性で8.7%、女性で7.4%となっています。

年齢別では、20～69 歳で「知らない」がそれぞれ約7～8割となっており、特に40～49 歳では80.0%と最も高くなっています。

生活圏域別では、「知らない」が新湊東部及び新湊中部でそれぞれ7割以上と、他の圏域と比べて低くなっています。



※R7 調査の各選択肢は、R2 調査では「名称も内容も知っている」「名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」「名称も内容も知らない」。



## 12. 認知症に関する意識について

問 52 あなたは「認知症」に関してどの程度知っていますか。〈単数回答〉

『知っている』 …「よく知っている」と「ある程度知っている」の合算

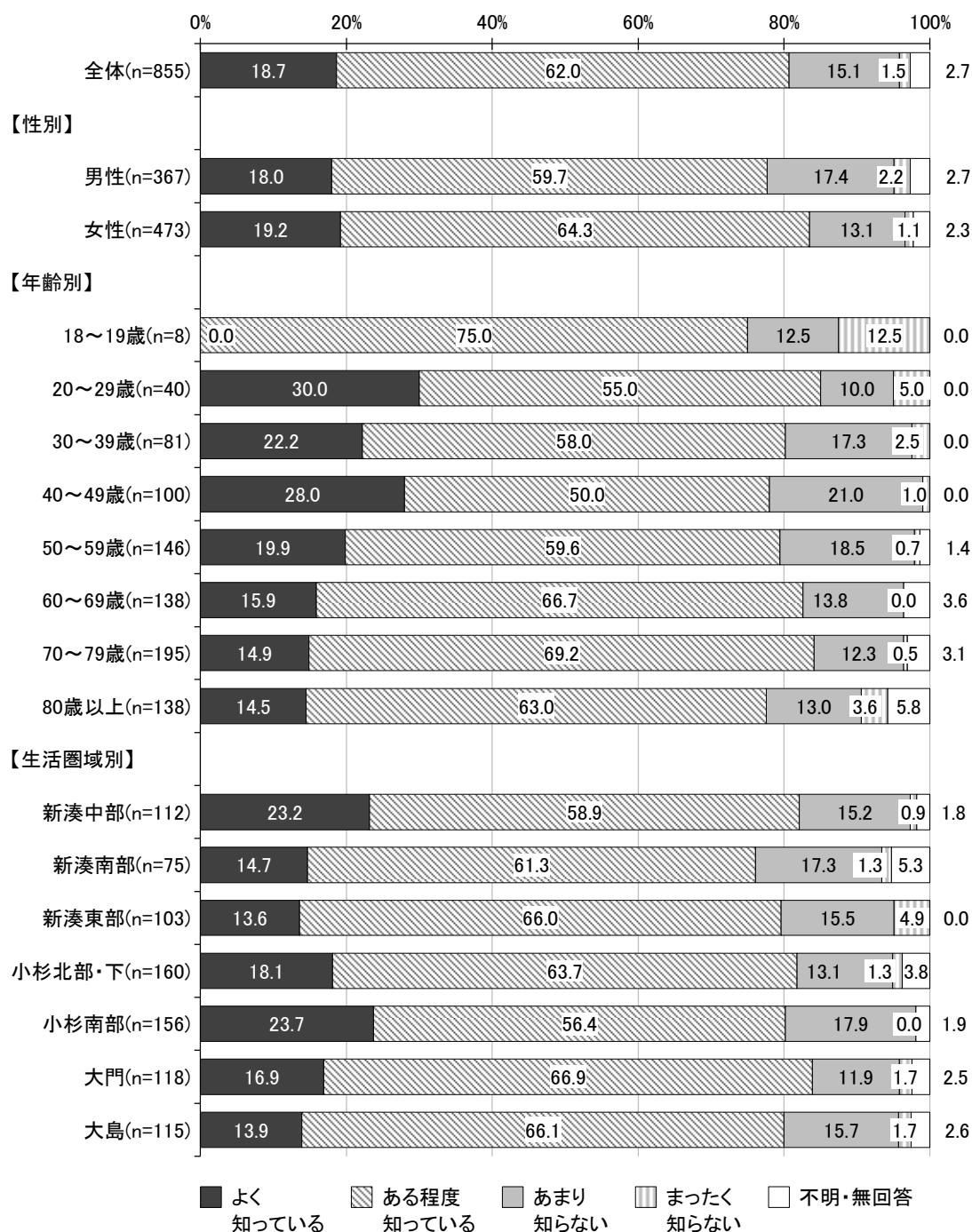
『知らない』 …「あまり知らない」と「まったく知らない」の合算

全体で『知っている』が80.7%、『知らない』が16.6%となっています。

性別では、『知っている』が男性で77.7%、女性で83.5%となっています。

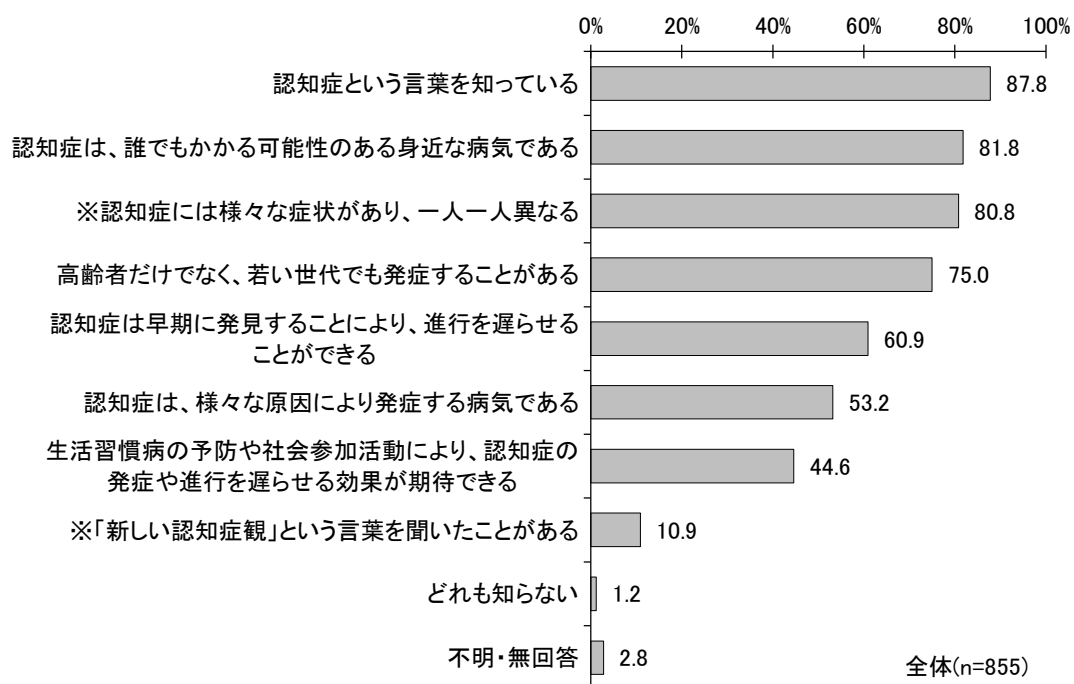
年齢別では、『知っている』が20歳以上でそれぞれ8割前後と高くなっている一方で、30～59歳で『知らない』がそれぞれ2割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、『知っている』がいずれの圏域でもそれぞれ8割前後と高くなっています。



### 問 53 認知症について知っていることを教えてください。<複数回答>

全体で「認知症という言葉を知っている」が87.8%と最も高く、次いで「認知症は、誰でもかかる可能性のある身近な病気である」が81.8%となっています。



※認知症には様々な症状があり、一人一人異なる

初期症状：理解・判断力の低下、時間・場所がわからない、人柄が変わる、不安感が強い、意欲がなくなるなど

※「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがある

認知症になってからも個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができるという考え方

性別では、男女ともに「認知症という言葉を知っている」「認知症には様々な症状があり、一人一人異なる」「認知症は、誰でもかかる可能性のある身近な病気である」「高齢者だけでなく、若い世代でも発症することがある」について、それぞれ7割以上と高くなっています。

年齢別では、20～29歳で「どれも知らない」が7.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

単位:%	n=	認知症という言葉を知っている	認知症は、様々な原因により発症する病気である	認知症には様々な症状があり、一人一人異なる	認知症は、誰でもかかる可能性のある身近な病気である	高齢者だけでなく、若い世代でも発症することがある	認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができる	生活習慣病の予防や社会参加活動により、認知症の発症や進行を遅らせる効果が期待できる	「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがある	どれも知らない	不明・無回答
【性別】											
男性	367	88.0	51.5	76.8	79.6	71.7	57.2	41.1	7.6	1.4	3.0
女性	473	88.6	55.4	84.8	84.4	78.6	64.7	47.6	13.3	1.1	2.1
【年齢別】											
18～19歳	8	87.5	25.0	75.0	62.5	62.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
20～29歳	40	80.0	57.5	77.5	72.5	67.5	47.5	35.0	0.0	7.5	0.0
30～39歳	81	84.0	58.0	74.1	75.3	74.1	49.4	38.3	11.1	1.2	2.5
40～49歳	100	87.0	61.0	85.0	86.0	78.0	56.0	45.0	12.0	1.0	1.0
50～59歳	146	87.7	52.1	82.9	84.2	84.2	63.0	44.5	9.6	0.7	2.1
60～69歳	138	90.6	60.9	90.6	90.6	84.1	67.4	49.3	7.2	0.0	1.4
70～79歳	195	90.3	53.3	82.1	82.1	74.9	68.2	51.8	13.8	0.5	3.6
80歳以上	138	89.9	39.1	70.3	75.4	59.4	60.1	39.1	15.2	1.4	5.1

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

---

#### 問 54 あなたがもし認知症になったら、どこで、どのように暮らしたいですか。〈単数回答〉

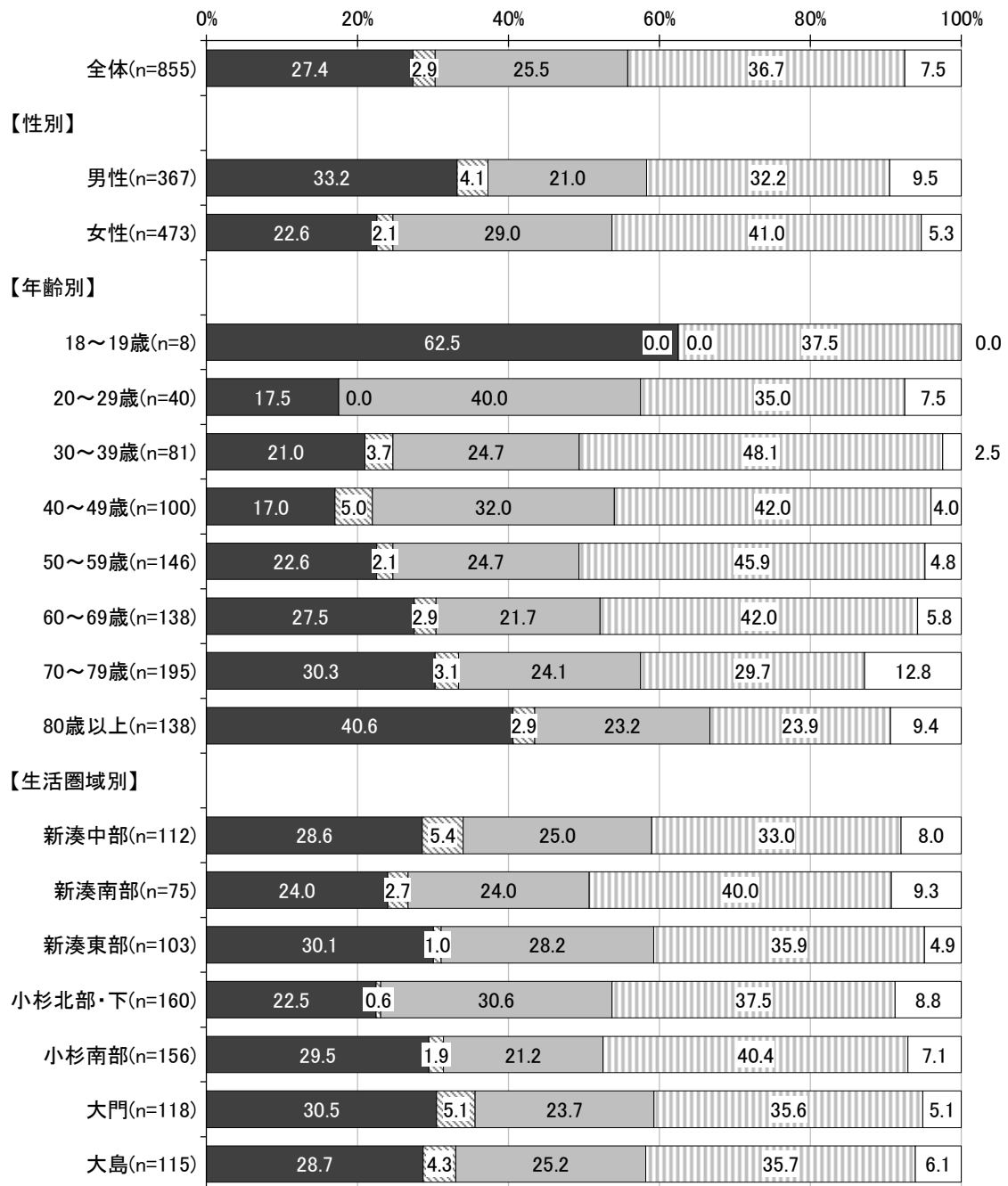
---

全体で「介護施設等で必要な支援・介護を受けながら、生活していきたい」が36.7%と最も高く、次いで「家族の介護を受けながら、今まで暮らしていた自宅で生活していきたい」が27.4%となっています。

性別では、男性で「家族の介護を受けながら、今まで暮らしていた自宅で生活していきたい」が33.2%と、女性と比べて10.6ポイント高くなっています。また、女性は「介護施設等で必要な支援・介護を受けながら、生活していきたい」が41.0%と、男性と比べて8.8ポイント高くなっています。

年齢別では、年代によって様々であり、20～29歳は「医療や介護サービスを受けながら、今まで暮らしていた地域で生活していきたい」が、30～69歳は「介護施設等で必要な支援・介護を受けながら、生活していきたい」が、70歳以上は「家族の介護を受けながら、今まで暮らしていた自宅で生活していきたい」が、それぞれ最も高くなっています。

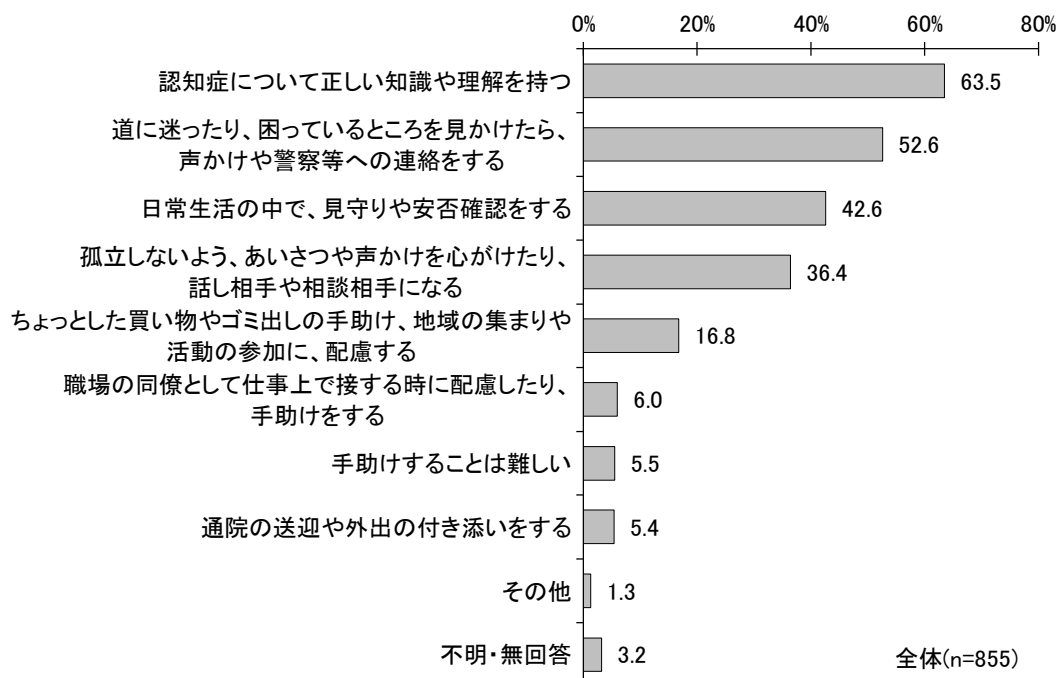
生活圏域別では、いずれの圏域でも「介護施設等で必要な支援・介護を受けながら、生活していきたい」がそれぞれ3～4割と最も高くなっています。



- 家族の介護を受けながら、今まで暮らしていた自宅で生活していきたい
- ▨ 地域の人たちの支援を受けながら、今まで暮らしていた地域で生活していきたい
- 医療や介護サービスを受けながら、今まで暮らしていた地域で生活していきたい
- ▨ 介護施設等で必要な支援・介護を受けながら、生活していきたい
- 不明・無回答

問 55 認知症になってからも暮らしやすい社会を築くために、あなたができると思うことは何ですか。<複数回答>

全体で「認知症について正しい知識や理解を持つ」が63.5%と最も高く、次いで「道に迷ったり、困っているところを見かけたら、声かけや警察等への連絡をする」が52.6%となっています。



性別では、「道に迷ったり、困っているところを見かけたら、声かけや警察等への連絡をする」が女性で55.6%と、男性と比べて6.6ポイント高くなっています。

年齢別では、「道に迷ったり、困っているところを見かけたら、声かけや警察等への連絡をする」が20～29歳及び40歳以上でそれぞれ4割以上と高くなっています。

生活圏域別では、いずれの圏域でも「日常生活の中で、見守りや安否確認をする」が4割前後となっています。

単位：%	n=	認知症について正しい知識や理解を持つ	日常生活の中で、見守りや安否確認をする	孤立しないよう、あいさつや声かけを心がけたり、話し相手や相談相手になる	ちょっとした買い物やゴミ出しの手助け、地域の集まりや活動の参加に、配慮する	通院の送迎や外出の付き添いをする	職場の同僚として仕事上で接する時に配慮したり、手助けをする	道に迷ったり、困っているところを見かけたら、声かけや警察等への連絡をする	その他	手助けすることは難しい	不明・無回答
【性別】											
男性	367	65.4	42.0	38.1	17.2	6.8	5.2	49.0	1.4	4.6	3.5
女性	473	62.8	43.6	34.7	16.7	4.4	6.8	55.6	0.8	6.1	2.5
【年齢別】											
18～19歳	8	75.0	50.0	62.5	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	40	72.5	40.0	27.5	22.5	2.5	15.0	47.5	2.5	2.5	0.0
30～39歳	81	66.7	32.1	32.1	9.9	7.4	7.4	33.3	2.5	9.9	1.2
40～49歳	100	70.0	35.0	36.0	17.0	5.0	16.0	48.0	4.0	4.0	0.0
50～59歳	146	67.1	47.9	32.9	15.8	6.2	10.3	54.1	0.7	6.8	1.4
60～69歳	138	63.0	48.6	32.6	17.4	5.1	3.6	55.8	1.4	3.6	2.2
70～79歳	195	61.5	43.1	40.5	18.5	4.1	0.0	60.0	0.5	5.1	4.6
80歳以上	138	55.1	42.0	42.8	18.1	7.2	2.2	53.6	0.0	6.5	6.5
【生活圏域別】											
新湊中部	112	56.3	44.6	29.5	15.2	4.5	4.5	50.9	1.8	7.1	4.5
新湊南部	75	58.7	45.3	41.3	13.3	5.3	9.3	57.3	0.0	2.7	5.3
新湊東部	103	60.2	39.8	31.1	12.6	4.9	3.9	57.3	2.9	8.7	1.9
小杉北部・下	160	69.4	40.6	39.4	19.4	4.4	7.5	48.1	1.3	6.3	3.1
小杉南部	156	64.1	42.3	40.4	17.9	5.8	5.8	55.1	1.3	3.8	2.6
大門	118	66.1	46.6	37.3	18.6	4.2	7.6	48.3	0.8	5.9	1.7
大島	115	67.0	41.7	35.7	19.1	8.7	4.3	55.7	0.0	3.5	2.6

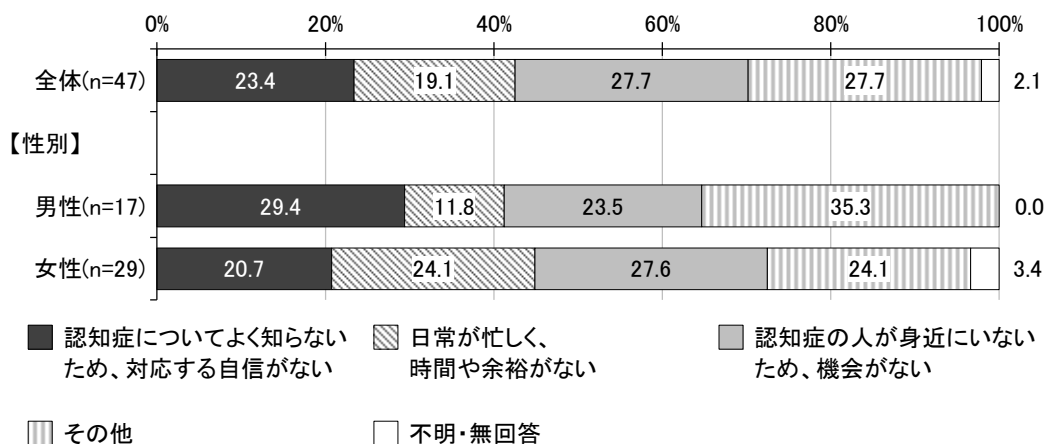
※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

問 55 で「9. 手助けすることは難しい」と答えた方

問 56 難しいと思う理由は何ですか。<単数回答>

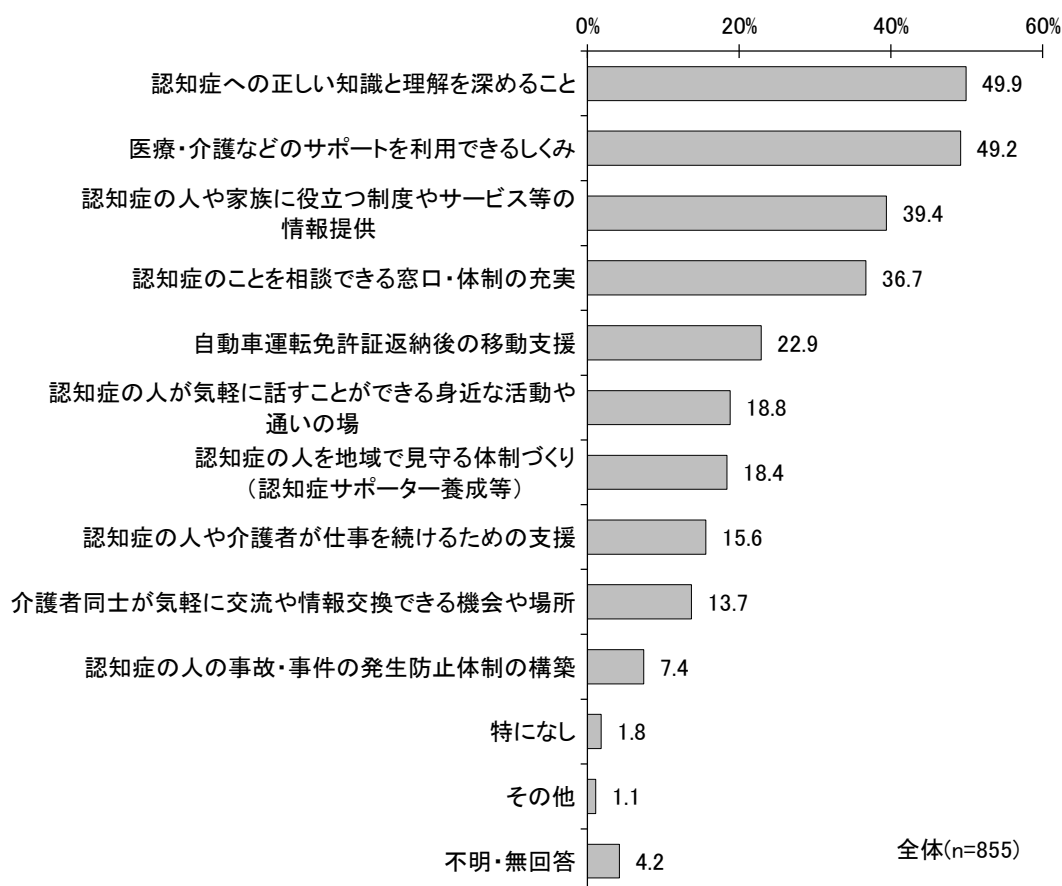
全体で「認知症の人が身近にいないため、機会がない」「その他」がそれぞれ 27.7%と最も高く、次いで「認知症についてよく知らないため、対応する自信がない」が 23.4%となっています。

性別では、「日常が忙しく、時間や余裕がない」が女性で 24.1%と、男性と比べて 12.3 ポイント高くなっています。



問 57 認知症になってからも暮らしやすい社会になるために、必要と思うことは何ですか。<複数回答>

全体で「認知症への正しい知識と理解を深めること」が 49.9%と最も高く、次いで「医療・介護などのサポートを利用できるしくみ」が 49.2%となっています。



性別では、「認知症の人や家族に役立つ制度やサービス等の情報提供」が女性で43.8%と、男性と比べて8.9ポイント高くなっています。

年齢別では、いずれの年代も「認知症への正しい知識と理解を深めること」「医療・介護などのサポートを利用できるしくみ」が、それぞれ上位となっています。

単位：%	n=	認知症への正しい知識と理解を深めること	認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	医療・介護などのサポートを利用できるしくみ	認知症の人や家族に役立つ制度やサービス等の情報提供	認知症の人の事故・事件の発生防止体制の構築	認知症の人を地域で見守る体制づくり (認知症サポーター養成等)	認知症の人が気軽に話すことができる 身近な活動や通いの場	介護者同士が気軽に交流や情報交換できる 機会や場所	認知症の人や介護者が仕事を続けるための支援	自動車運転免許証返納後の移動支援	特になし	その他	不明・無回答
		【性別】												
男性	367	52.3	37.6	49.3	34.9	11.2	21.0	18.3	12.0	15.0	24.0	2.2	0.5	4.1
女性	473	49.0	37.0	49.7	43.8	4.4	16.7	19.7	15.2	16.1	22.0	1.3	1.1	3.4
【年齢別】														
18～19歳	8	50.0	0.0	37.5	37.5	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
20～29歳	40	47.5	40.0	70.0	35.0	7.5	17.5	15.0	2.5	12.5	25.0	0.0	2.5	0.0
30～39歳	81	56.8	29.6	50.6	28.4	8.6	16.0	18.5	11.1	21.0	25.9	2.5	2.5	1.2
40～49歳	100	52.0	41.0	57.0	38.0	5.0	18.0	16.0	16.0	23.0	21.0	0.0	1.0	3.0
50～59歳	146	50.7	41.8	52.7	49.3	5.5	17.1	17.1	15.1	22.6	24.7	1.4	2.1	1.4
60～69歳	138	49.3	39.1	54.3	41.3	10.9	18.1	17.4	13.8	14.5	18.1	2.2	0.7	1.4
70～79歳	195	49.7	34.4	42.6	40.5	6.7	21.0	25.6	16.9	10.8	27.2	2.6	0.5	5.1
80歳以上	138	46.4	37.0	39.9	34.8	6.5	18.1	17.4	11.6	8.0	19.6	1.4	0.0	10.9

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

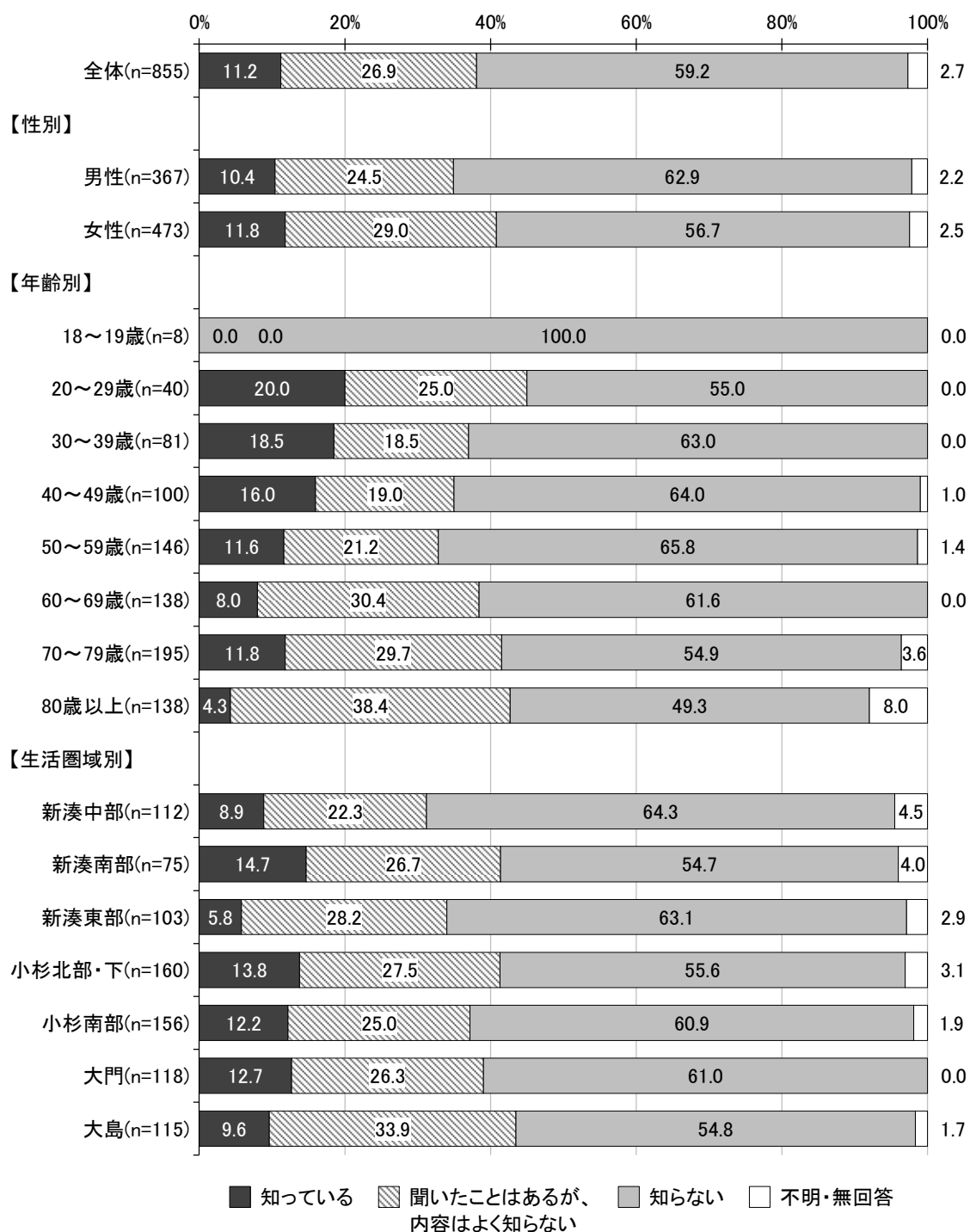
## 問 58 認知症サポーターについて知っていますか。<単数回答>

全体で「知っている」が11.2%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が26.9%、「知らない」が59.2%となっています。

性別では、「知っている」が男性で10.4%、女性で11.8%となっています。

年齢別では、「知っている」が20～29歳で20.0%と、他の年代と比べて高くなっています。

生活圏域別では、「知っている」が新湊南部の14.7%が最も高く、新湊東部は5.8%にとどまっています。



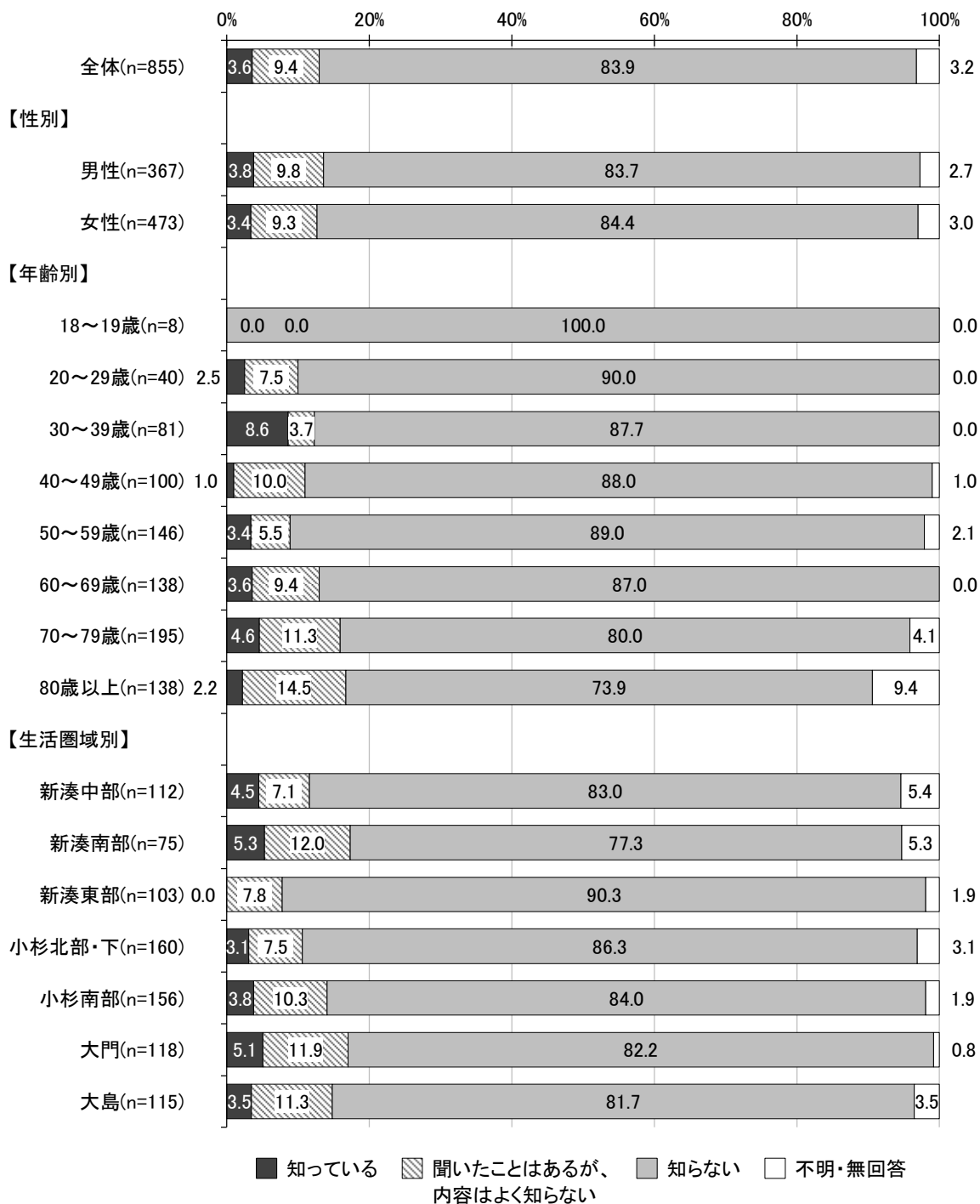
問 59 ささえ隊メイトについて知っていますか。<単数回答>

全体で「知っている」が3.6%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が9.4%、「知らない」が83.9%となっています。

性別では、「知っている」が男性で3.8%、女性で3.4%となっています。

年齢別では、30～39歳で「知っている」が8.6%で最も高く、他の年代はそれぞれ5%未満となっています。

生活圏域別では、新湊東部で「知っている」が0.0%、「知らない」が90.3%と、他の圏域と比べて顕著となっています。



問 60 射水市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちだと思いますか。<単数回答>

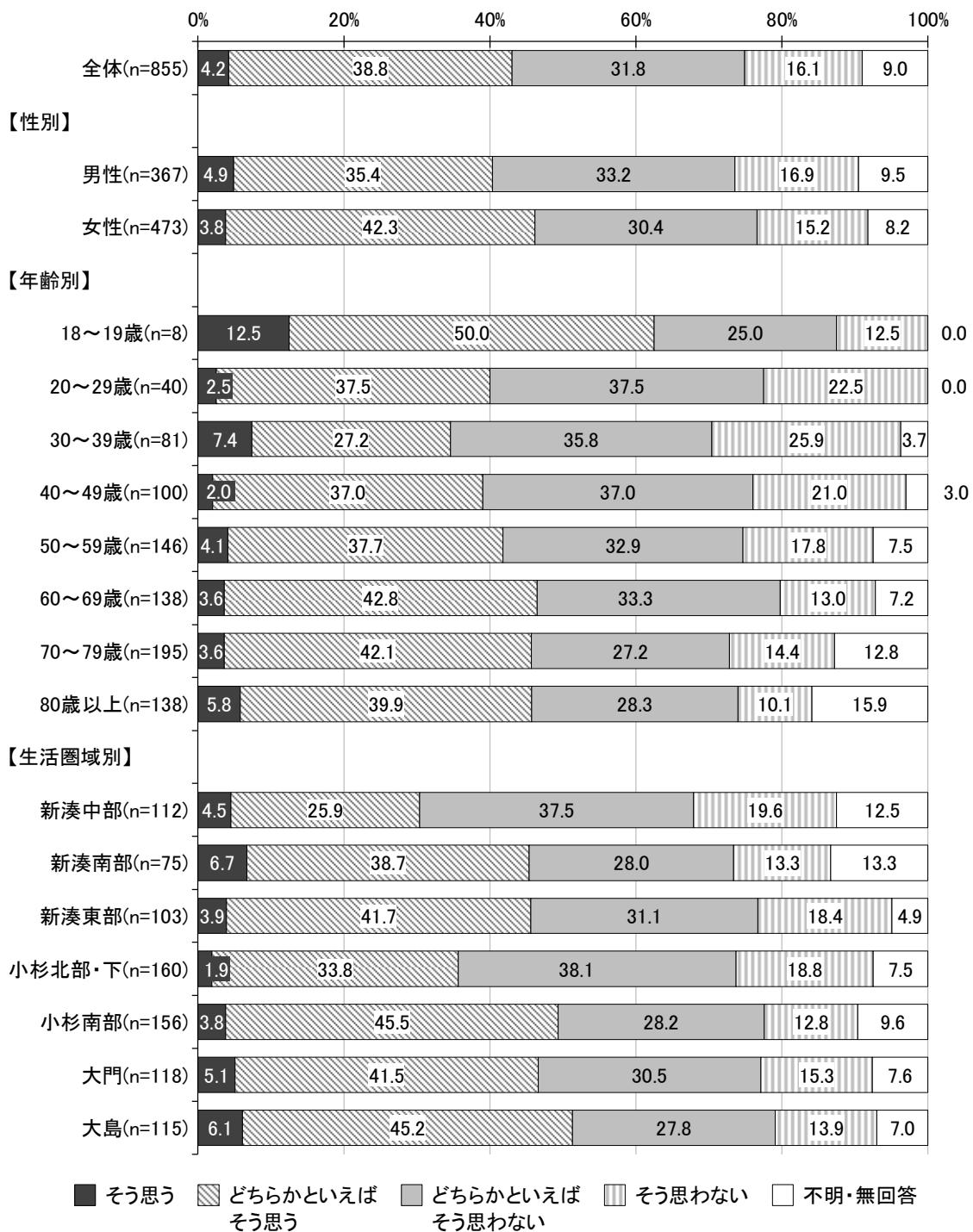
『そう思う』 …「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算  
 『そう思わない』 …「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算

全体で『そう思う』が43.0%、『そう思わない』が47.9%となっています。

性別では、『そう思う』が男性で40.3%、女性で46.1%となっています。

年齢別では、50歳以上で『そう思う』がそれぞれ4割以上となっており、60歳以上で『そう思わない』を上回っています。

生活圏域別では、新湊南部、小杉南部、大門及び大島で『そう思う』が『そう思わない』を上回っています。



## 13. 今後の市政運営について

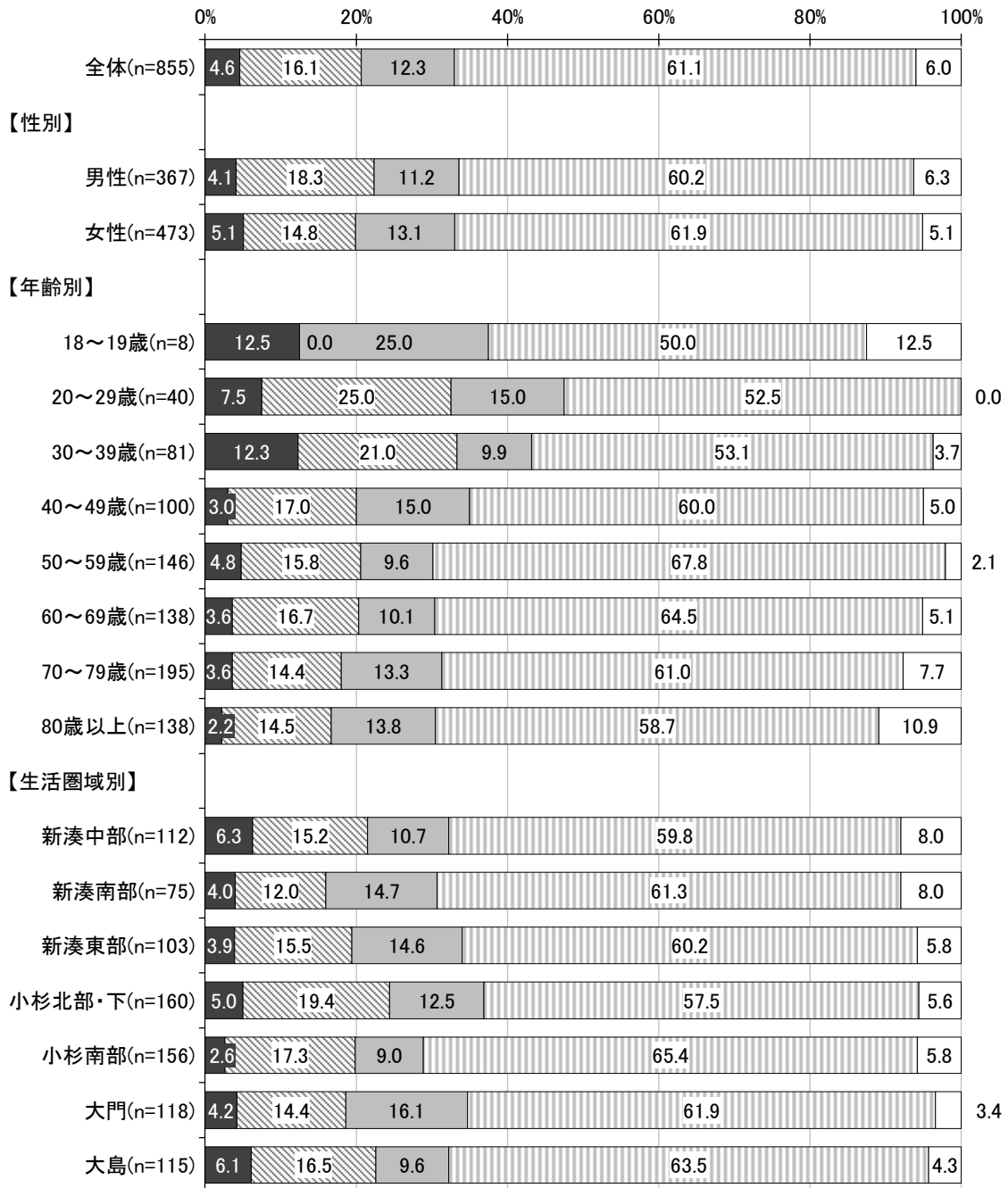
問 61 地域福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。〈単数回答〉

全体で「福祉課題については、行政と地域住民が協力して取り組むべきである」が61.1%と最も高く、次いで「行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力すべきである」が16.1%となっています。

性別では、男女ともに「福祉課題については、行政と地域住民が協力して取り組むべきである」が最も高く、男性で60.2%、女性で61.9%となっています。

年齢別では、いずれの年代も「福祉課題については、行政と地域住民が協力して取り組むべきである」が最も高く、特に50～59歳で67.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

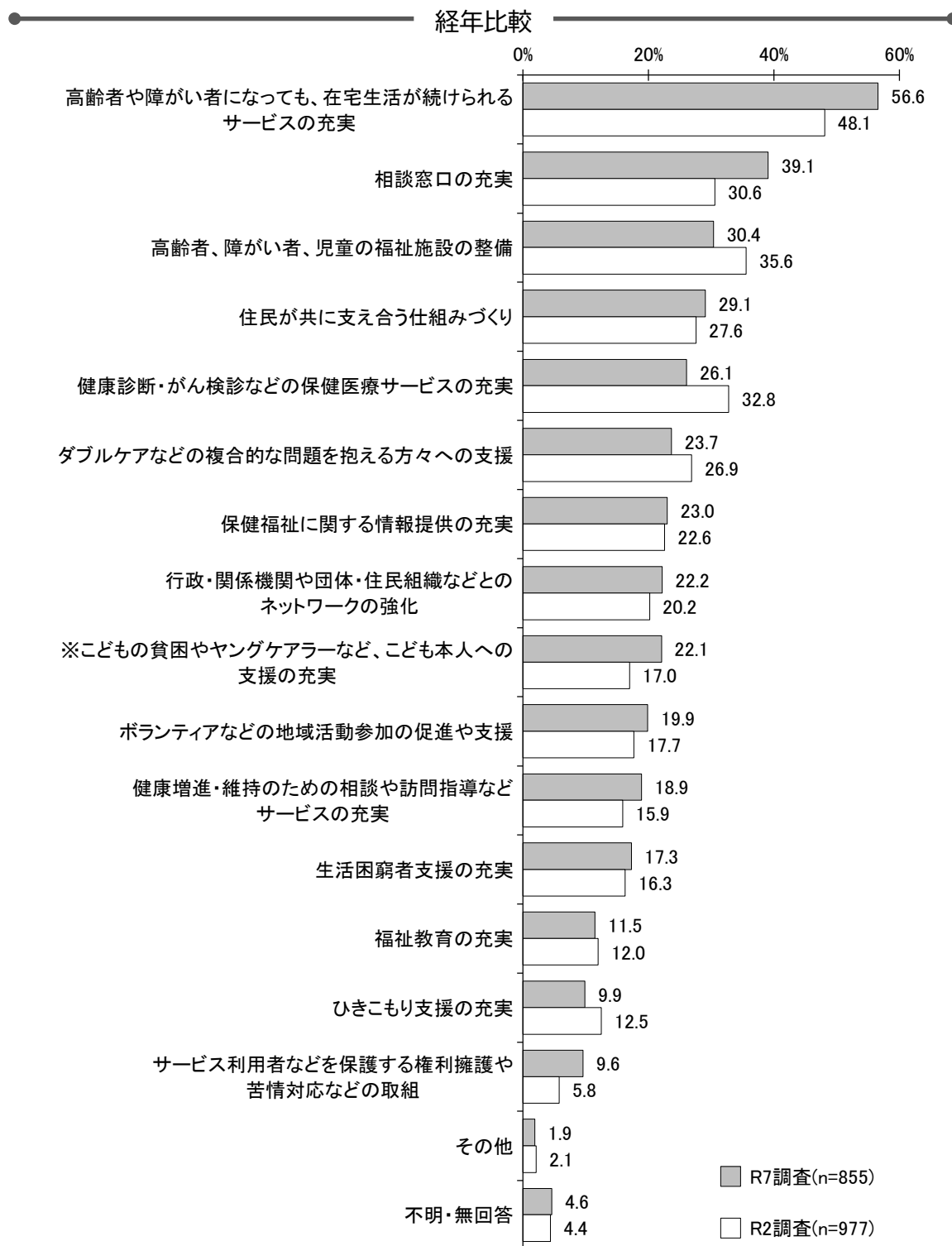
生活圏域別では、いずれの圏域でも「福祉課題については、行政と地域住民が協力して取り組むべきである」が最も高く、特に小杉南部で65.4%と、他の圏域と比べて高くなっています。



- 地域福祉の充実を進める責任は行政にあるので、住民は特に協力しなくてもよい
- ▨ 行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力すべきである
- 地域の福祉課題については地域住民どうしで助け合い、それでも解決しない場合には行政が援助すべきである
- ▨ 福祉課題については、行政と地域住民が協力して取り組むべきである
- 不明・無回答

問 62 今後、本市の福祉施策は、何を重視していく必要があると思いますか。<複数回答>

全体で「高齢者や障がい者になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が56.6%と最も高く、次いで「相談窓口の充実」が39.1%となっています。なお、R2調査と比較すると、「相談窓口の充実」「高齢者や障がい者になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が、それぞれ8.5ポイント高くなっています。



※「こどもの貧困やヤングケアラーなど、こども本人への支援の充実」は、R2調査では「こどもの貧困対策」。

性別では、男女ともに「高齢者や障がい者になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」「相談窓口の充実」が上位となっています。

年齢別では、30歳以上で「高齢者や障がい者になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」がそれぞれ最も高く、特に50歳以上ではそれぞれ6割前後または7割と高くなっています。

単位:%	n=	援 域活 動参 加の 促進 や支 援	ボ ラン ティア など の地 域	住 民が 共に 支え 合う 仕 組 み づ くり	相 談 窓 口 の 充 実	高 齢 者 や 障 が い 者 に な つ て も 、 在 宅 生 活 が 続 け ら れ る サ ー ビ ス の 充 実	保 健 福 祉 に 関 す る 情 報 提 供 の 充 実	サ ー ビ ス の 充 実	健 康 増 進 ・ 維 持 の た め の 相 談 や 訪 問 指 導 な ど の 充 実	健 康 診 断 ・ が ん 検 診 な ど の 保 健 医 療 サ ー ビ ス の 充 実	情 対 応 な ど の 取 組 み	サ ー ビ ス 利 用 者 な ど を 保 護 す る 権 利 擁 護 や 苦 情 対 応 な ど の 取 組 み	福 祉 教 育 の 充 実
【性別】													
男性	367	26.2	32.4	38.4	53.7	19.6	21.5	27.8	10.6	10.4			
女性	473	15.2	27.1	39.7	59.8	26.2	17.1	25.4	8.7	12.5			
【年齢別】													
18～19歳	8	25.0	25.0	50.0	37.5	12.5	0.0	50.0	12.5	12.5			
20～29歳	40	20.0	12.5	52.5	37.5	22.5	20.0	50.0	15.0	25.0			
30～39歳	81	16.0	24.7	25.9	34.6	23.5	12.3	27.2	6.2	18.5			
40～49歳	100	13.0	28.0	40.0	54.0	22.0	13.0	32.0	9.0	15.0			
50～59歳	146	18.5	23.3	42.5	56.8	28.8	15.8	26.7	8.2	11.0			
60～69歳	138	28.3	28.3	44.2	58.0	25.4	19.6	20.3	5.8	14.5			
70～79歳	195	19.0	34.9	35.9	61.5	22.1	21.0	23.1	11.8	7.2			
80歳以上	138	21.7	37.7	38.4	70.3	18.1	29.0	23.2	12.3	5.1			

単位:%	n=	高 齢 者 、 障 が い 者 、 児 童 の 福 祉 施 設 の 整 備	ダ ブ ル ケ ア な ど の 複 合 的 な 問 題 を 抱 え る 方 々 へ の 支 援	生 活 困 窮 者 支 援 の 充 実	こ ど も の 貧 困 や ヤ ン グ ケ ア ラ ー な ど 、 こ ど も 本 人 へ の 支 援 の 充 実	行 政 ・ 関 係 機 関 や 団 体 ・ 住 民 組 織 な ど の ネ ッ ト ワ ー ク の 強 化	ひ き こ も り 支 援 の 充 実	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
【性別】									
男性	367	30.8	20.4	20.4	19.9	26.2	12.3	3.0	4.6
女性	473	30.7	26.4	15.0	23.9	19.7	7.8	0.8	3.6
【年齢別】									
18～19歳	8	25.0	25.0	0.0	37.5	0.0	37.5	12.5	0.0
20～29歳	40	30.0	15.0	15.0	30.0	17.5	5.0	0.0	0.0
30～39歳	81	30.9	23.5	11.1	32.1	25.9	6.2	4.9	3.7
40～49歳	100	26.0	34.0	14.0	33.0	18.0	21.0	4.0	1.0
50～59歳	146	34.9	32.2	21.2	21.9	22.6	11.0	0.7	2.7
60～69歳	138	35.5	16.7	21.7	21.7	29.0	6.5	2.2	0.7
70～79歳	195	25.1	22.1	17.9	19.0	21.0	9.2	1.5	6.2
80歳以上	138	33.3	19.6	15.9	9.4	21.7	7.2	0.0	10.9

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。なお、年齢別回答者(n)が10件未満の場合は、順位の表記を省略しています。

生活圏域別では、いずれの圏域でも「高齢者や障がい者になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が最も高く、特に小杉南部及び新湊東部でそれぞれ6割以上と、他の圏域と比べて高くなっています。

単位:%	n=	ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援	住民が共に支え合う仕組みづくり	相談窓口の充実	高齢者や障がい者になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実	保健福祉に関する情報提供の充実	健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実	サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取組	福祉教育の充実
【生活圏域別】											
新湊中部	112	20.5	29.5	28.6	56.3	23.2	17.9	24.1	13.4	9.8	
新湊南部	75	16.0	28.0	44.0	54.7	28.0	20.0	22.7	5.3	13.3	
新湊東部	103	24.3	26.2	43.7	61.2	33.0	16.5	29.1	16.5	9.7	
小杉北部・下	160	16.9	24.4	31.9	55.6	18.1	22.5	24.4	6.3	14.4	
小杉南部	156	23.1	34.6	39.1	62.8	17.9	20.5	28.8	8.3	10.9	
大門	118	17.8	30.5	45.8	55.1	23.7	14.4	28.8	8.5	9.3	
大島	115	21.7	32.2	46.1	49.6	24.3	20.0	24.3	9.6	13.9	
単位:%	n=	高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備	ダブルケアなどの複合的な問題を抱える方々への支援	生活困窮者支援の充実	子どもの貧困やヤングケアラーなど、子ども本人への支援の充実	行政・関係機関や団体・住民組織などとのネットワークの強化	ひきこもり支援の充実	その他	不明・無回答		
【生活圏域別】											
新湊中部	112	33.0	18.8	23.2	17.0	25.9	5.4	2.7	8.9		
新湊南部	75	25.3	24.0	16.0	21.3	17.3	10.7	1.3	6.7		
新湊東部	103	35.0	26.2	22.3	20.4	22.3	6.8	1.0	1.9		
小杉北部・下	160	33.1	25.6	18.8	23.8	25.6	13.1	2.5	3.8		
小杉南部	156	31.4	25.0	16.0	26.3	15.4	12.2	0.6	3.8		
大門	118	28.8	24.6	12.7	26.3	27.1	7.6	2.5	1.7		
大島	115	27.0	22.6	13.0	17.4	23.5	11.3	0.9	3.5		

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

### Ⅲ. 調査結果のまとめ

---

## 1. 回答者の基本事項の概要

- 回答率は、年齢が下がるにつれて減少傾向。（18～20 歳代は 5.6%） [問 2]
- 生活圏域別の回答率は、小杉北部・下で 40 歳代（18.1%）が、大島、新湊東部で 50 歳代（23.5%、23.3%）が最も高い。 [問 2]

## 2. 調査結果の概要

### 1 住民の地域福祉への意識について

- 近所の人との付き合いの程度は、『親しく付き合っている』割合が、年齢が下がるにつれて減少傾向。一方、80 歳以上で「ほとんどしていない」と回答した人が 10.9%であり、中高年期の 50 歳代～70 歳代と比較して高い。 [問 8]
- 近所付き合いに対する考え方として、「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」（30.6%）は、R 2 調査から 3.2 ポイント減少。「わずらわしいと思うが、必要である」（50.4%）は、R 2 調査から 2.7 ポイント増加。合算すると 0.5 ポイント減少。  
また、近所付き合いを「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」は、年齢が下がるにつれて増加傾向。 [問 9]
- 地域社会で起こる諸問題に対して住民相互の支え合い・助け合いが『必要だと思わない』割合は、30 歳代・40 歳代で特に高い。必要だと思わない理由は、「近所付き合いがわずらわしいから」「何か起きたときに責任が持てないから」「自分自身や家族が解決すべきであるから」の割合が高い。 [問 11]
- 地域活動やボランティアに参加して、社会のために役立ちたいと「思う」割合は、R 2 調査と比較して、男性で約 10 ポイント高くなっている。 [問 18]
- 民生委員・児童委員の役割の認知度は、『知っている』が 45.7%と R 2 調査と比較して 10 ポイント近く増加している。  
また、民生委員・児童委員の役割の認知度は、年齢が下がるにつれて減少傾向。また、60 歳未満は半数以上が『知らない』と回答。 [問 27]

### 2 人材育成・確保について

- 地域活動やボランティアに『参加している』割合（38.0%）は、R 2 調査と比較して増加。 [問 15]
- 近所付き合いや地域活動・ボランティアへの参加は、男性の方が比較的積極的に参画している。  
[問 10, 問 15]
- 地域活動やボランティアに参加していない方に、参加してもらうために必要なことは、「一緒に活動する仲間」「活動に関する情報」「本人自身の健康」が上位 3 つに挙げられている。 [問 19]

---

### 3 社会福祉協議会の活動について

---

- 射水市社会福祉協議会の認知度は、「名前も活動内容も知っている」が15.2%と、R2調査と比較して1.0ポイント増加。また、「名前を聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」は61.8%と、R2調査と比較して5.7ポイント増加。[問29]
- 地区社会福祉協議会の認知度は、「名前も活動内容も知っている」が12.3%と、R2調査比較して変化なし。また、「名前も活動の内容もよく知らない」は37.2%と、射水市社会福祉協議会の同項目と比べても高い。[問30]

---

### 4 相談支援について

---

- 不安や悩みを相談したい相手は、「家族・親戚」「友人・知人」の割合が高く、市の職員や窓口等の公的機関、地域の団体・役員等はそれぞれ10%以下。なお、「だれにも相談しない」は7.1%、「どこに相談したらよいかわからない」は6.9%。[問22]
- 困った時に手助けをお願いできる人が「いない」は6.9%、「わからない」は16.3%。  
「いる」は、女性より男性(68.7%)の方がR2調査と比較して約10ポイント低く、年齢別では特に50歳代(63.7%)で低い。[問23]
- 射水市ふくし総合相談センター「すてっぷ」の認知度は、「名前も活動の内容もよく知らない」が74.5%。  
「名前も活動内容も知っている」と回答した年齢別の割合は、30歳代・40歳代で比較的高いものの、いずれも7%台。[問31]

---

### 5 権利擁護について

---

- 成年後見制度の認知度は、R2調査と比較して0.9ポイント減少。「利用したい」と思う割合は、R2調査と比較して変化なし。[問32]
- 成年後見制度を利用したいと思わない理由は、「後見人でなくても家族がいるから」が8割を超えているほか、他人に財産などを任せることへの不安や費用面等の不安要素が挙げられている。[問34]
- 市民後見人に「なりたいとは思わない」「わからない」が90%以上である。[問35]
- 市民後見人に「条件を整えばなりたい」人が求める条件とは、知識や技術の取得やサポート、時間的余裕や仕事に支障がないことが上位となっている。[問36]

---

### 6 更生支援について

---

- 更生保護の認知度は28.8%と、R2調査と比較して2.6ポイント増加。[問44]
- 犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思うかは、『協力したいと思う』が2.3ポイント減少。年齢別では、特に40~50歳代、70歳以上で低く、それぞれ15%未満。[問45]

---

## 7 制度の狭間の課題について

---

- ここ2～3年で近所や地域で見たり聞いたりしたことがある問題のある世帯は、「高齢者のみで構成された、主に世帯員同士が介護している世帯（老老介護）」（18.4%）が最も高い（「見たり聞いたりしたことはない」を除く。）。  
また、2番目は「近隣や地域と関わりをもたない世帯（孤立世帯）」（13.8%）。生活圏域別では、特に大門、新湊東部及び新湊中部で孤立世帯がそれぞれ17%前後と高い。〔問14〕
- ダブルケアの認知度は33.1%と、R2調査と比較して9.7ポイント増加。〔問39〕
- ダブルケアの経験者は10.2%。〔問40〕
- ひきこもりの認知度は77.4%と、R2調査と比較して3.4ポイント増加。〔問41〕
- ひきこもりの方に必要な支援として、「家族を支える支援」「理解や支援の普及啓発」「居場所の充実」が上位3つに挙げられている。〔問43〕

---

## 8 地域の環境整備について

---

- 日々の生活の中で「公共交通や移動手段」に不安や悩みを感じている割合は18.2%と、R2調査から1.1ポイント増加。生活圏域別では新湊東部（29.1%）が最も高い。〔問21〕
- 日々の生活の中で不安や悩みを感じることは、「災害」（22.7%）は第4位に挙げられている。〔問21〕
- 困った時に隣近所にしてほしい手助けは、「災害時の手助け」（31.1%）が最も高い。また、生活圏域別では7圏域中5圏域で3割を超えており、特に大島（37.4%）で最も高い。〔問25②〕
- 災害時における避難場所・避難経路の把握は、「ともに把握している」が41.5%であり、年齢が下がるにつれて把握している割合が低い。一方で、避難場所への経路の確認をしていない状況が約4割。〔問49〕
- 避難行動要支援者支援制度の認知度は、R2調査と比較して1.5ポイント増加。〔問51〕

---

## 9 認知症について

---

- 認知症に関して『知っている』は80.7%で、「よく知っている」は年齢が上がるにつれ減少。〔問52〕
- 認知症になってからも暮らしやすい社会を築くためにできることは、「認知症について正しい知識や理解を持つ」（63.5%）が最も高い。〔問55〕
- 認知症サポーターの認知度は11.2%であり、年齢が上がるほど認知度は減少。〔問58〕
- ささえ隊メイトの認知度は3.6%。〔問59〕
- 射水市は、認知症の人が自分らしく暮らせるまちかどうかについて、『そう思う』は43.0%。〔問60〕



いみず地域共生プラン中間見直しに係る市民アンケート調査  
【結果報告書】

---

発行年月：令和7年6月

発行・編集：射水市 福祉保健部 地域福祉課

〒939-0294 富山県射水市新開発 410 番地 1

TEL：0766-51-6625 FAX：0766-51-6657

社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0351 富山県射水市戸破 4200 番地 11

(救急薬品市民交流プラザ内)

TEL：0766-55-5202 FAX：0766-55-5209